CKVJ-1045

TOSHIBA

Leading Innovation

高機能インバータ TOSVERT™ VF-AS1

400V-500kWまで
ラインナップ

高機能インバータ TOSVERT™

VF-AS1

適応自在。

ノイズを低減したい。高調波を抑制したい!
パラメータ設定が少ない方が良い!
高トルクが必要。そしてフレキシビリティが必要!
環境への配慮をしたい!

そうした声にVF-AS1がお応えします。
インバータとしての進化、
製品としての成熟の結晶が
完成しました。

1

周辺機器への干渉が心配な機器に!

・高周波ノイズ低減*1、高調波低減*1
用途:業務用洗濯機、ランニングマシーン、店舗用冷凍機、医療機器、舞台装置など

2

シンプルな機能を必要とする機械に!

・EASYキー、基本パラメータ8個
用途:金属加工機、搬送機械、コンベア、半導体製造機器、カッティングマシーンなど

3

高トルク・大容量を必要とする機械に!

・0.3Hz−200%始動トルク*2、400Vクラス最大500kW
用途:クレーン、ホイスト、鉱山機械、冷凍機、プレス、コンプレッサ、破砕機など

4

フレキシビリティを要求される機器に!

・My機能、センサ付速度/トルク制御、RS485通信内蔵
用途:連続処理ライン、印刷機械、コイラ、アンコイラなど

*1 電圧・容量により異なります。
*2 東芝標準三相4極モータ(0.4〜3.7kW)を駆動した場合。
(ただし、電圧・容量により異なる場合があります。)

高機能インバータ TOSVERT™

VF-AS1

世界の主要規格(CEマーキング、UL、CSA)に適合

半導体製造設備規格であるSEMI規格F47に対応

*UL、CSA適合条件は一部標準仕様と異なりますのでお問い合せください。

電圧クラス(入力/定格出力)	適用モータ出力(kW)																									
	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	55	75	90	110	132	160	200	220	280	355	400	500
3φ200V/3φ200V	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■										
3φ400V/3φ400V																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

注1)1φ200V/3φ200V 0.4〜5.5kW:モータ容量よりも1枠上の容量の3φ200Vクラス標準インバータで対応します。

目次

周辺機器への干渉が心配な機器に!	P3	基本接続図	P17
シンプルな機能を必要とする機械に!	P4	端子機能説明	P18
高トルク・大容量を必要とする機械に!	P5	インバータをお使いになるお客様へ	P19
フレキシビリティを要求される機器に!	P6	周辺機器	P22
拡張性を必要とする機械に!	P7	内蔵オプション	P23
基本機能説明	P9	別置形オプション	P24
標準仕様	P10	標準価格/納期	P42
外形寸法	P13		

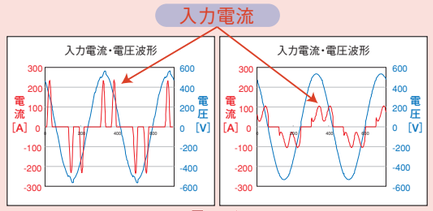
周辺機器への干渉が心配な機器に！

搭載されたノイズフィルタ*1、リアクトル*1で、インバータから発生する高周波ノイズ、高調波を低減し力率を向上させました。
周辺機器への配慮が必要な業務用洗濯機、ランニングマシーン、店舗用冷凍機、医療機器、舞台装置などの民生環境での用途に最適です。

*1:電圧・容量により異なります。
*2:機械写真はイメージです。

ポイント1 高調波抑制、力率改善

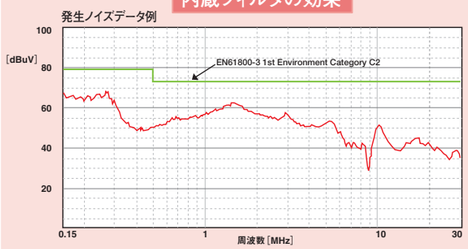
内蔵リアクトルの効果



・200Vクラス機種 11～45kW、400Vクラス機種 18.5～75kWまで小型、省スペースが可能な新型直流リアクトルを搭載しました。
高調波を抑制するとともに、入力電流を定格出力電流の110%以内とし、変圧器、ノーヒューズ遮断器、電線などの電源系統にやさしい設計としました。
なお、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」に適用される場合は、22ページをご参照ください。

ポイント2 高周波ノイズ低減

内蔵フィルタの効果



内蔵EMCフィルタ

・ノイズフィルタ内蔵機種は高周波ノイズを大幅に低減します。商業施設、オフィスなどから工場まで周辺機器への配慮が必要な場所に最適です。
フィルタ別置形と比較して、盤内の省スペース、省配線を実現できます。また、EMCノイズフィルタ内蔵タイプではインバータ単体で欧州EMC指令に対応します。

欧州EMC指令：IEC/EN61800-3、1st Environment、C2（200V-0.4～2.2kW / 400V-0.75～3.7kW）
または
IEC/EN61800-3、2nd Environment、C3

200Vクラス機種 0.4～7.5kW ：EMCノイズフィルタ（欧州EMC指令対応）を標準で内蔵。
国土交通省監修の公共建築工事標準仕様書（平成19年度版）記載のインバータ装置高周波ノイズ対策に適合。
200Vクラス機種 11～45kW ：国土交通省監修の公共建築工事標準仕様書（平成19年度版）記載のインバータ装置高周波ノイズ対策に適合。
400Vクラス機種 0.75～75kW：EMCノイズフィルタ（欧州EMC指令対応）を標準で内蔵。
国土交通省監修の公共建築工事標準仕様書（平成19年度版）記載のインバータ装置高周波ノイズ対策に適合。
400Vクラス機種 90～500kW ：EMCノイズフィルタ（欧州EMC指令対応）を標準で内蔵。

VF-AS1

シンプルな機能を必要とする機械に！

EASYキーによるクイックモードでは基本的な8個のパラメータのみ表示しますのでパラメータの選択、設定が簡単です。
また、設定により全パラメータの中から任意に選択した最大32個のパラメータのみを表示し、専用化することが可能です。
金属加工機、搬送機械、コンベア、半導体製造機器、カッティングマシン、木工機械などでシンプルな機能を必要とする場合に最適です。

*1:機械写真はイメージです。

ポイント3 EASYキーによる簡単設定

EASYキー

クイックモード（EASY）

タイトル	機能
AU4	おまかせ機能設定
Pt	V/f制御モード選択
FH	最高周波数
ACC	加速時間1
dEC	減速時間1
tHr	モータ用電子サーマル保護レベル1
FM	FM端子接続メータ調整
PSEL	登録パラメータ表示選択

・パネル部分のEASYキーによるクイックモードでは基本的な8個のパラメータを設定するだけで運転できます。
各機能を設定する場合にはEASYキーを押せばワンタッチで標準モードに移行し全てのパラメータにアクセスできます。

・また、設定により全パラメータの中から任意に選択した最大32個のパラメータをクイックモードに表示し、専用化することが出来ます。

・さらにEASYキーは設定により遠方操作と切換えるパネル／リモートキー、また任意の設定・表示画面にダイレクトにアクセス出来るショートカットキーとして使用できます。

ポイント4 据付、試運転調整、メンテナンスも簡単

サイド・バイ・サイド設置

着脱式制御端子台

サイド・バイ・サイド設置
・複数のインバータを密着して設置できるサイド・バイ・サイド設置が全容量で可能です。制御盤内を有効にご利用頂けます。また、オプションでフィン外出しに対応します。

着脱式制御端子台
・制御端子台は着脱式を採用しており、インバータ交換時の制御配線はそのままご使用頂けるため、メンテナンスも簡単です。

冷却ファンのON/OFF制御
・温度によるON/OFF制御で停止中の騒音低減、省エネ、さらに冷却ファンの寿命を延ばします。

寿命部品のモニタ・警報
・主回路コンデンサ、制御基板上のコンデンサ、冷却ファンの交換予定時期をモニタしたり警報を出せます。

高トルク・大容量を必要とする機械に！

0.3Hz−200%*2の始動トルクで低速から一気に加速します。
東芝独自のスマートベクトル制御で力行のみならず回生領域も安定しています。
昇降用機能としてブレーキシーケンス、軽負荷高速機能を装備しティーチングでパラメータ設定を簡単に行えます。
400Vクラス最大500kWまでの幅広い容量範囲をラインナップしています。
クレーン、ホイスト、鉱山機械、冷凍機、プレス、コンプレッサ、破砕機などの高トルク・大容量機械に最適です。

*1:機械写真はイメージです。
*2:東芝標準三相4極モータ（0.4〜3.7kW）を駆動した場合。

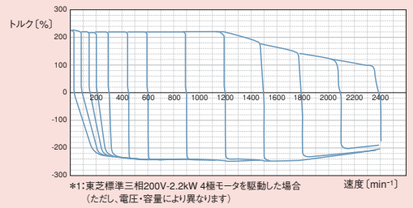
フレキシビリティを要求される機器に！

自由に論理演算、内部データ演算をプログラミングできるMy機能によりシステムや機械に合わせたカスタマイズが可能です。
また、センサレス、センサ付きで高精度な速度・トルク制御を実現します。
RS485（TOSHIBA/Modbus-RTUプロトコル）通信を標準装備し、オプションで各種のフィールドバスに対応します。通信ソフトウェアでパソコンからパラメータの編集、モニタ、データトレースが簡単にできます。
連続処理ライン、印刷機械、コイラ、アンコイラなどフレキシビリティを要求されるシステムに最適です。

*1:機械写真はイメージです。

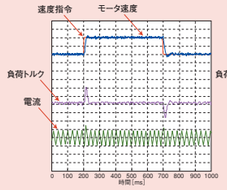
ポイント5 抜群のモータコントロール性能

トルク特性例



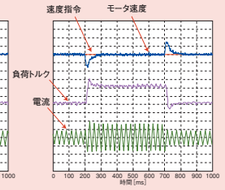
*1:東芝標準三相200V-2.2kW 4極モータを駆動した場合
（ただし、電圧・容量により異なります）

速度指令のステップ応答



素早く応答

インパクト負荷の外乱応答



急激な負荷変動に強い

・ベクトル制御に必要な定数はオートチューニングで簡単に設定でき、1:200*3の速度制御が可能です。さらにモータの温度に影響されにくいロバスト性を持ち合わせています。

・センサ付きでは零速から200%*3の高トルク運転ができ1:1000の速度制御範囲を実現しています。

・センサレス制御で40Hz、センサ付制御で50Hzの高速な応答周波数*4を実現し、負荷の急変にも一定速度を保持します。

・オプション対応により最大1000Hzの高周波出力が可能なため、木工機械、金属加工機などの主軸回転にも最適です。

*3:東芝標準三相4極モータ（0.4〜3.7kW）を駆動した場合。
*4:東芝標準三相 200V-2.2kW 4極モータを無負荷で駆動した場合の値です。
適用モータ容量、負荷条件により異なります。

ポイント6 搬送・昇降用途に最適な専用機能

ティーチングによる設定

ブレーキシーケンス、軽負荷高速機能

・外部モータのブレーキとタイミングを計り始動時、停止時にスムーズな運転を実現させるブレーキシーケンス機能、吊り上げ荷重により軽負荷時に自動的に速度を上げて搬送効率を向上させる軽負荷高速機能を標準で内蔵しています。また、この2つの機能は実際に動作をさせながら必要なパラメータを設定記憶するティーチング機能により簡単に調整できます。

発電制動用トランジスタ内蔵

・VF-AS1は160kWまで発電制動用のトランジスタを内蔵しており搬送・昇降用途に最適です。

ポイント7 My機能でカスタマイズ

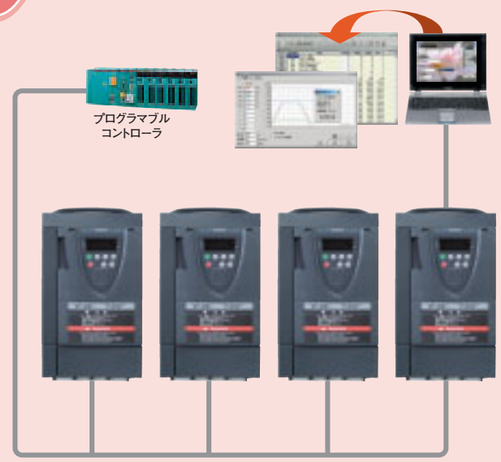
My機能

プログラムステップ数	：28ステップ
内部リレー	：8点
内部カウンタ	：2点
ロジック命令	：ST,STN,AND,ANDN,OR,ORN,SET,RSET,HOLD
データ命令	：EQ,NE,GT,GE,LT,LE,ASUB

・My機能は最大28ステップまでプログラミングできます。論理演算、内部データ演算、複合端子入力を実現し、さらにアナログ出力のミニマム・ピークホールド、アナログ入力によるパラメータ設定も可能にします。例えば…

（例1）インバータトリップ時に外部シーケンスなしに自動的に商用運転に切換える。
（例2）出力電流120%以上で周波数5Hz以下の場合に信号を出力する。
（例3）1端子の入力で“正転運転”と“多段速指令3”と“第2加減速”を同時にONする。
（例4）0〜10Vで加減速時間を変更する。

ポイント8 通信・ネットワーク対応



RS485通信

・RS485通信を標準装備し、従来のTOSHIBAプロトコルに加えModbus-RTUプロトコルにも対応しています。

ネットワークオプション

・通信オプションをご利用頂くとDeviceNet*1、PROFIBUS、CC-Link*2の主要なフィールドバスに対応します。

データトレース

・通信ソフトウェアPCM001Zでパソコンからパラメータの編集、モニタ、データトレースができ、インバータの立ち上げからメンテナンスまで簡単に対応できます。

*1:DeviceNetは、ODVA（Open DeviceNet Vender Association）の登録商標です。
*2:CC-Linkは三菱電機（株）の登録商標です。

VF-AS1

拡張性を必要とする機械に！

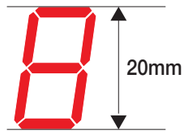
ポイント9 充実したオプション対応

LCD延長パネルオプション

LCD延長パネルは11文字8行表示でジョグダイヤルによるパラメータ選択により簡単に設定・モニタができ、日本語、英語、ドイツ語、ポルトガル語に対応しています。
盤面取付け用オプションとして、IP54対応アタッチメントを準備しています。また、本体にも取付け可能です。

LED延長パネルオプション

“遠くからでもよく見える表示器が欲しい”とのご要望にお答えして業界最大クラス20mmのLEDを使用し優れた視認性を確保しています。
延長パネルとしてまた表示器として使用する場合に簡単に盤面に取付けられる構造です。
さらに3機種のパラメータを記憶できるパラメータライタとしてもご利用頂けます。



形式：RKP002Z

拡張端子台オプション
フィールドバスオプション

多種多様なシステムに対応するために入出力端子台を追加しシステムアップできます。（2種類のオプションを用意しています。）

- 接点入力（4点）
- 接点出力（2点）
- アナログ入力（2点）
- アナログ出力（2点）
- PTC入力（1点）
- リレー出力（1回路）
- パルス列入力（1点）

主要なフィールドバスに対応し、上位コントローラとの組合せにより省配線、システムの集中管理を実現します。

- DeviceNet*1
- PROFIBUS
- CC-Link*2

*1：DeviceNetは、ODVA（Open DeviceNet Vendor Association）の登録商標です。
*2：CC-Linkは三菱電機（株）の登録商標です。

エンコーダフィードバックオプション

センサ付ベクトル制御に対応するエンコーダフィードバックオプションを出力に合わせて4機種用意しています。

- ラインドライバ出力（RS422）
- オープンコレクタ/コンプリメンタリ出力（12V）
- オープンコレクタ/コンプリメンタリ出力（15V）
- オープンコレクタ/コンプリメンタリ出力（24V）

ポイント10 幅広い用途に対応

安心の環境対応

周囲温度60℃
周囲温度50℃まで定格で使用でき、さらに電流低減した場合には60℃までの環境で使用できます。

エコ・デザイン
再資源率88%を達成し、欧州のWEEE基準の70%を満足した環境に配慮した設計です。

内外気を分離
全容量内外気を分離し、耐環境性に優れた製品となっています。

多様なドライブ性能

永久磁石形（PM）モータ駆動
東芝独自のスマートベクトル制御によりPMモータを高効率に駆動し省エネ、省スペースを実現します。（200V：0.4～45kW, 400V：0.75～75kWにて対応）注1）

高周波1000Hz出力オプション
オプション対応により最大1000Hzの高周波出力で木工機械、金属加工機に最適です。（200V：0.4～45kW, 400V：0.75～75kWにて対応）注2）

新・直流制動
新開発の直流制動機能で、従来機種と比べ停止時間を最短で1/4に短縮できます。

さらに充実した機能群

マルチPID制御
温度、圧力、流量などのプロセス型PID制御に加え追従運転、巻取りなどの速度フィードバックに対応する速度型PID制御も搭載しライン制御に対応します。

**・トラバース
・停電同時停止制御**
繊維機械で必須な巻取り時のトラバース制御に加え、停電時の断糸を防ぐ停電同時停止制御を実現します。

**・負荷分担機能
・速度ゲイン切換え
・停止保持機能
・ドウェル制御**
搬送機など2軸駆動の負荷分担を行うドルーピング、また運転中の慣性変化に対応する速度ゲイン切換え、停止時に零速度を保持する停止保持機能、重量物の搬送など加速・減速を一時停止できるドウェル制御を搭載しています。注3）

12相入力対応
355～500kWは標準で12相入力対応（入力電源スター結線とデルタ結線の接続が可能）により高調波電流を大幅に抑制できます。

注1）PMモータとの組合せは、事前に技術検討が必要となりますので、弊社窓口へお問い合せください。
注2）高周波運転時には、出力電流低減が必要です。また37kWを超えるモータとの組合せは、事前に技術検討が必要となりますので、弊社窓口へお問い合せください。
注3）停止保持機能はセンサ付ベクトル制御にて使用できます。

基本機能説明

インバータの制御特性を決める一つ一つの“設定項目”をパラメータと呼びます。
例えば、加速時間を変更したいときは、加速時間のパラメータ（タイトル ACC ）を変更します。

クイックモード（EASY）

パネル部分のEASYキーにてクイックモードでは基本パラメータ内の8個のパラメータを設定することが可能です。

タイトル	機能
AU4	おまかせ機能設定
Pt	V/f制御モード選択
FH	最高周波数
ACC	加速時間1
dEC	減速時間1
tHr	モータ用電子サーマル保護レベル1
FM	FM端子接続メータ調整
PSEL	登録パラメータ表示選択

標準モード

標準モードでは全てのパラメータを設定することが可能です。パラメータの詳細内容は取扱説明書を参照してください。

■基本パラメータ

タイトル	機能	調整範囲	初期値
FC	パネル運転周波数	LL - UL Hz	0

タイトル	機能	調整範囲	初期値
AUH	ヒストリ機能	*変更されたパラメータの最新5個を検索します。	—
AU1	おまかせ加減速	0:なし　1:自動設定　2:自動設定（加速時のみ）	0
AU2	おまかせトルクアップ	0:なし　1:自動トルクブースト＋オートチューニング1　2:センサレスベクトル制御＋オートチューニング1	0
AU4	おまかせ機能設定	0:機能なし　1:電圧で周波数設定　2:電流で周波数設定　3:外部端子による電圧/電流切換 4:パネルで周波数設定、端子で運転　5:パネルで周波数設定、運転	0
CMOd	コマンドモード選択	0:端子入力　1:パネル入力（LED/LCDオプション入力含む） 2:2線式RS485通信入力　3:4線式RS485通信入力　4:通信オプション入力	0
FMOd	周波数設定モード選択1	1:VI/II（電圧/電流入力）　2:RR/S4（ボリューム/電圧入力）　3:RX（電圧入力） 4:パネル入力（LED/LCDオプション入力含む）　5:2線式RS485通信入力 6:4線式RS485通信入力　7:通信オプション入力　8:オプションAI1（差動電流入力） 9:オプションAI2（電圧/電流入力）　10:アップダウン周波数　11:オプションRPパルス入力 12:オプション高速パルス入力	2
Pt	V/f制御モード選択	0:定トルク特性　1:二乗低減トルク特性　2:自動トルクブースト　3:センサレスベクトル制御1（速度） 4:センサレスベクトル制御2（速度/トルク）　5:V/f 5点設定　6:PM 制御　注1） 7:PGフィードバック制御　8:PGフィードバックベクトル制御	0
ub	手動トルクブースト量1	0.0～30.0%	機種別
UL	基底周波数1	25.0～500Hz	60.0
ULV	基底周波数電圧1	200Vクラス:50-330V　400Vクラス:50-660V	機種別
FH	最高周波数	30.0～500Hz	80.0
UL	上限周波数	0.0～FH Hz	60.0
LL	下限周波数	0.0～UL Hz	0.0
ACC	加速時間1	0.1～6000秒	機種別
dEC	減速時間1	0.1～6000秒	機種別
AUF2	RR/S4入力ポイント2の周波数	0.0～FH Hz	60.0
AIF2	VI/II入力ポイント2の周波数	0.0～FH Hz	60.0
Sr1	多段速運転周波数1	LL～UL Hz	0.0
⋮	⋮	⋮	⋮
Sr7	多段速運転周波数7	LL～UL Hz	0.0
Fr	正転/逆転選択（パネル運転時）	0:正転　1:逆転　2:正転（パネル正逆切換え可能）　3:逆転（パネル正逆切換え可能）	0
tHr	モータ用電子サーマル保護レベル1	10～100%	100
OLn	電子サーマル保護特性選択	0～3:標準モータ（過負荷保護、過負荷ストール選択）　4～7:定トルク用VFモータ（過負荷保護、過負荷ストール選択）	0
dSPU	電流電圧単位選択	0:%, 1:A（アンペア）/V（ボルト）	0
FMSL	FM端子接続メータ選択	0～76（0:出力周波数　1:周波数設定値　2:出力電流　3:直流部電圧　4:出力電圧指令値 など）	0
FM	FM端子接続メータ調整	—	—
AMSL	AM端子接続メータ選択	0～76（0:出力周波数　1:周波数設定値　2:出力電流　3:直流部電圧　4:出力電圧指令値 など）	2
AM	AM端子接続メータ調整	—	—
CF	PWMキャリア周波数	1.0～16.0kHz（200V-55kW以上、400V-90kW以上は、2.5～8.0kHz）	機種別
UuS	瞬停再始動制御選択	0:なし　1:瞬停再始動時、　2:ST入/切時、　3:1+2、　4:始動時	0
UuC	瞬停ノンストップ制御	0:なし　1:ノンストップ　2:停電時減速停止　3:同期加減速（同期加減速信号）　4:同期加減速（同期加減速+停電時）	0
Pb	発電制動動作選択	0:なし　1:あり（制動抵抗過負荷検出有り）　2:あり（制動抵抗過負荷検出なし）	0
Pbr	制動抵抗値	0.5～1000Ω	機種別
PbCP	制動抵抗連続許容値	0.01～600.0kW	機種別
tYP	標準出荷設定	0:—　1:50Hz標準設定　2:60Hz標準設定　3:標準出荷設定　4:トリップクリア 5:累積運転時間クリア　6:形式情報初期化　7:客先設定パラメータの記憶　8:7の再設定 9:累積ファン運転時間のクリア　10:加減速時間設定0.01秒～600.0秒　11:加減速時間設定0.1秒～6000秒	0
PSEL	登録パラメータ表示選択	0:電源立上げ時標準設定モード　1:電源立上げ時クイックモード　2:クイックモードのみ	0
F---	拡張パラメータ	*詳細なパラメータを設定します。	—
Gr.U	変更設定検索	*工場出荷時と異なるパラメータを検索します。	—

注1）200Vクラス 0.4～45kW、400Vクラス 0.75～75kWにて対応。PMモータとの組合せは、事前に技術検討が必要となりますので、弊社窓口へお問い合せください。

■ 拡張パラメータ

約500個の拡張パラメータがあります。拡張パラメータについては、東芝シュネデール・インバータ（株）ホームページ（http://www.inverter.co.jp/）をご覧ください。

モニタの表示について

モニタの表示について

操作パネルの表示器に使用しているLEDの表示は、動作・パラメータ等を表すために次のような記号を使用しています。

LED表示（数字）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	—
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	—

LED表示（アルファベット）

Aa	Bb	C	c	Dd	Ee	Ff	Gg	H	h	I	i	Jj	Kk	Ll
A	b	C	c	d	E	F	G	H	h	I	i	J	/	L

Mm	Nn	O	o	Pp	Qq	Rr	Ss	Tt	Uu	Vv	Ww	Xx	Yy	Zz
n	n	O	o	P	q	r	S	t	U	u	/	/	y	/

標準仕様

■機種別標準仕様（200Vクラス-0.4～45kW、400Vクラス-0.75～75kW機種）

200Vクラス

項目		内容														
適用モータ出力（kW）		0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
機器定格	形	VFAS1—													
	式	2004PL	2007PL	2015PL	2022PL	2037PL	2055PL	2075PL	2110PM	2150PM	2185PM	2220PM	2300PM	2370PM	2450PM
	出力容量（kVA）注1）	1.1	1.8	3.0	4.2	6.7	10	13	21	25	29	34	46	55	67
	出力電流（A）注2）	3.0 (3.0)	4.8 (4.5)	8.0 (8.0)	11 (10.5)	17.5 (16.6)	27.5 (25.0)	33 (33)	54 (49)	66 (64)	75 (66)	88 (75)	120 (88)	144 (120)	176 (140)
	出力電圧	三相200V～240V（最大出力電圧は、入力電源電圧と同じになります）													
	過負荷電流定格	150%—1分間、165%—2秒 注6）													
電気制動	発電制動回路	内蔵													
	発電制動抵抗器	外付けオプション対応													
電源	電圧・周波数	三相200～240V—50/60Hz													
	許容変動	電圧+10%—15% 注3）　周波数±5%													
保護構造（IEC60529）		IP20									IP00 注4）				
冷却構造		強制風冷													
冷却ファン騒音（dBA）		43	43	43	55	55	56	58	60	60	60	60	64	64	64
塗色		JIS表示記号　10B 2.5/1相当 注5）													
EMCフィルタ		内蔵							外付けオプション						
国土交通省仕様対応フィルタ		内蔵													
直流リアクトル		外付けオプション							内蔵						

400Vクラス

項目		内容														
適用モータ出力（kW）		0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	55	75
機器定格	形	VFAS1—														
	式	4007PL	4015PL	4022PL	4037PL	4055PL	4075PL	4110PL	4150PL	4185PL	4220PL	4300PL	4370PL	4450PL	4550PL	4750PL
	出力容量（kVA）注1）	1.8	3.1	4.4	8.0	11	13	21	25	31	37	50	60	72	88	122
	出力電流（A）注2）	2.3 (2.3)	4.1 (4.0)	5.8 (4.6)	10.5 (8.6)	14.3 (13)	17.6 (17)	27.7 (25)	33 (32)	41 (37)	48 (38)	66 (53)	79 (60)	94 (75)	116 (93)	160 (120)
	出力電圧	三相380V～480V（最大出力電圧は、入力電源電圧と同じになります）														
	過負荷電流定格	150%—1分間、165%—2秒 注6）														
電気制動	発電制動回路	内蔵														
	発電制動抵抗器	外付けオプション対応														
電源	電圧・周波数	三相380～480V—50／60Hz														
	許容変動	電圧+10%—15% 注3）　周波数±5%														
保護構造（IEC60529）		IP20									IP00 注4）					
冷却構造		強制風冷														
冷却ファン騒音（dBA）		43	43	43	55	56	56	58	60	60	60	64	64	64	64	64
塗色		JIS表示記号　10B 2.5/1相当 注5）														
EMCフィルタ		内蔵														
国土交通省仕様対応フィルタ		内蔵														
直流リアクトル		外付けオプション							内蔵							

注1）定格出力容量は出力電圧が200Vクラスで220V、400Vクラスで440Vの場合を示します。
注2）PWMキャリア周波数（パラメータ CF ）が4kHz以下の場合の値です。（　）内の値は、12kHzに設定した場合の定格電流となります。
注3）連続使用（100%負荷）時は±10%となります。
注4）200Vクラス18.5kW以上、400Vクラス22kW以上は配線口カバーがなく、大きく開口しておりユニット内には外部ケーブルの曲げスペースを設けておりません。
注5）JIS相当色を示しています。実際の塗色は、RAL7016（ドイツ規格色）です。
注6）インバータ過負荷特性選択により、周囲温度が50℃以下の場合、過負荷電流定格をのばすことができます。

標準仕様

■機種別標準仕様（200Vクラス-55,75kW、400Vクラス-90～500kW機種）

200Vクラス

項　目		内　容	
適用モータ出力（kW）		55	75
機器定格	形	VFAS1ー	
	式	2550P	2750P
	出力容量（kVA）注1）	84	109
	出力電流（A）注2）	221	285
	出力電圧	三相200V～240V（最大出力電圧は、入力電源電圧と同じになります）	
	過負荷電流定格	150%ー1分間、165%ー2秒 注8）	
電気制動	発電制動回路	内蔵	
	発電制動抵抗器	外付けオプション対応	
電源	電圧・周波数	三相200～240Vー50/60Hz	
	許容変動	電圧＋10%ー15% 注3）　周波数±5%	
保護構造（IEC60529）		IP00 注4）	
冷却構造		強 制 風 冷	
冷却ファン騒音（dBA）		61	72
塗色		JIS表示記号　10B 2.5/1相当 注7）	
EMCフィルタ		外付けオプション	
国土交通省仕様 対応フィルタ		外付けオプション	
直流リアクトル		外付けオプション（本体上部取付け形） 注5）	

400Vクラス

項　目		内　容									
適用モータ出力（kW）		90	110	132	160	200	220	280	355	400	500
機器定格	形	VFAS1ー									
	式	4900PC	4110KPC	4132KPC	4160KPC	4200KPC	4220KPC	4280KPC	4355KPC	4400KPC	4500KPC
	出力容量（kVA）注1）	136	164	197	239	295	325	419	511	578	717
	出力電流（A）注2）	179	215	259	314	387	427	550	671	759	941
	出力電圧	三相380V～480V（最大出力電圧は、入力電源電圧と同じになります）									
	過負荷電流定格	150%ー1分間、165%ー2秒 注8）									
電気制動	発電制動回路	内蔵				外付けオプション対応					
	発電制動抵抗器	外付けオプション対応									
電源	電圧・周波数	注6）	三相380～440Vー50Hz 三相380～480Vー60Hz								
	許容変動	電圧＋10%ー15% 注3）　周波数±5%									
保護構造（IEC60529）		IP00 注4）									
冷却構造		強 制 風 冷									
冷却ファン騒音（dBA）		61	72	73	73	76	76	76	76	76	78
塗色		JIS表示記号　10B 2.5/1相当 注7）									
EMCフィルタ		内蔵									
国土交通省仕様 対応フィルタ		外付けオプション									
直流リアクトル		外付けオプション（本体上部取付け形） 注5）							外付け（本体上部取付け形） 注5）		

注1）定格出力容量は出力電圧が200Vクラスで220V、400Vクラスで440Vの場合を示します。
注2）PWMキャリア周波数（パラメータ［F］）が2.5kHz以下の場合の値です。
注3）連続使用（100%負荷）時は±10%となります。
注4）200Vクラス18.5kW以上、400Vクラス22kW以上は配線口カバーがなく、大きく開口しておりユニット内には外部ケーブルの曲げスペースを設けておりません。
注5）200Vクラス55kW以上、400Vクラス90kW以上の機種は直流リアクトルを必ず取付けてください。ただし、直流入力仕様の場合は不要となります。
　　400V-355～500kWは標準で直流リアクトルが同梱されています。
注6）4900PCは、三相380～480Vー50／60Hzです。
注7）JIS相当色を示しています。実際の塗色は、RAL7016（ドイツ規格色）です。
注8）インバータ過負荷特性選択により、周囲温度が50℃以下の場合、過負荷電流定格をのばすことができます。

■共通仕様

項　目			内　容
制御仕様	制御方式		正弦波PWM制御
	出力電圧調整		主回路電圧フィードバック制御。（自動調整、固定および制御OFFの切り替え可能）
	出力周波数範囲		0.01～500Hz設定、出荷時は出力周波数0.01～60Hzに設定 最高周波数（30～500Hz）調整
	周波数設定分解能		操作パネル・通信指令:0.01Hz アナログ指令:0.03Hz（最高周波数60Hzベース、11ビット／0～10Vdc）
	周波数精度		デジタル設定:出力周波数に対して±0.01%±0.022Hz アナログ設定:最高出力周波数に対して±0.2%以内（25℃±10℃）
	電圧／周波数特性		V／f一定、二乗低減トルク、自動トルクブースト、ベクトル演算制御、PMモータ制御 注6）、基底周波数（25～500Hz）1・2・3・4調整、V／f任意5点設定、トルクブースト（0～30%）調整、 始動周波数（0～10Hz）調整、停止周波数（0～30Hz）調整
	周波数設定信号		3kΩボリウム（1k～10kΩ定格のボリウム接続可能） 0～10Vdc（入力インピーダンスZin:30kΩ） 0～±10Vdc（Zin:22kΩ） 4～20mAdc（Zin:242Ω）
	端子台基準周波数入力		2ポイントの設定で任意の特性に設定。アナログ入力（RR、VI/II、RX、AI1、AI2）、パルス入力の計6種類に対応可能。（＊AI1、AI2:オプション）
	周波数ジャンプ		3カ所に設定、ジャンプ周波数・幅の設定。
	上限・下限周波数		上限周波数:0～最高周波数、下限周波数:0～上限周波数
	PWMキャリア周波数		200V　45kW以下、400V　75kW以下は1.0k～16kHzで調整可 200V　55kW以上、400V　90kW以上は2.5k～8kHzで調整可 （標準出荷設定:15kW以下は12.0kHz、200V　18.5kW～45kW、400V　18.5kW～75kWは4.0kHz、200V　55kW以上、400V　90kW以上は2.5kHz）
	PID制御		比例ゲイン、積分時間、微分時間、遅れフィルタの調整
	トルク制御		電圧指令入力仕様:DC0～±10V
運転仕様	加速・減速時間		0.01～6000秒、加減速時間1・2・3・4の切換、おまかせ加減速機能、S字加減速1・2パターンの調整。
	直流制動		制動開始周波数（0～120Hz）調整、制動量（0～100%）調整、制動時間（0～20秒）調整、緊急停止制動機能、モータ軸固定制御機能付き
	正転・逆転 注1）		F―CC間“閉”で正転、R―CC間“閉”で逆転、両方“閉”で停止、ST―CC間“開”でフリーラン停止、パネルまたは端子台から非常停止
	ジョギング運転 注1）		JOGモード選択によりパネルからJOG運転が可能。 パラメータ設定により端子台運転可能。
	多段速運転 注1）		S1、S2、S3、RR/S4ーCC間の開閉の組合せにより、設定周波数＋15段速度運転。 設定周波数別の加減速時間・トルクリミット・V／fの選択が可能。
	リトライ		保護動作が働いた場合、主回路素子をチェック後、再始動。最大10回まで任意に設定可能。待機時間（0～10秒）調整。
	ソフトストール		過負荷時の自動負荷低減制御。（出荷時OFF）
	冷却ファンON／OFF		冷却ファンの長寿命化のため、不要なときは自動的にファンを停止。
	パネルキー操作ON/OFF制御		STOPキーのみやモードキーのみ等のキー禁止選択可能。すべてのキー禁止も可能。
	瞬停ノンストップ制御		モータからの回生エネルギーを利用して瞬停時でも運転を継続させます。（出荷時OFF）
	瞬停再始動運転		フリーラン中のモータを回転速度と回転方向に合わせて再始動します。（出荷時OFF）
	簡易パターン運転		2グループ各8パターンを15段速度運転周波数より選択可能。最大16種類のパターン運転可能。端子台制御／繰り返し運転可能。
	商用インバータ切換		モータの商用電源による運転とインバータによる運転の切換運転可能。
	軽負荷高速運転		モータの負荷を検出し軽負荷時にモータ回転速度を上げて機械の稼動効率を上げることが可能。
	ドルーピング機能		複数台のインバータで1つの負荷を運転する場合、アンバランスによる負荷の集中を防ぐ機能です。
	オーバライド機能		設定された周波数指令値に対して外部入力信号による調整ができます。
保護機能	保護機能		ストール防止、カレントリミット、過電流、過電圧、負荷側短絡、負荷側地絡（注5）、不足電圧、瞬時停電（15ms以上）、瞬時停電時ノンストップ制御、 電子サーマルによる過負荷、始動時アーム過電流、始動時負荷側過電流、発電制動抵抗器過電流・過負荷、過熱、非常停止
	電子サーマル特性		標準モートル／定トルク用VFモートル切換、電子サーマル・ストール防止レベルの調整。
	リセット		1a接点“閉”（または1b接点“開”）にてリセット、またはパネルでリセット。または電源OFF／ON。トリップ状態の保持とクリアの設定。
表示機能	4桁7セグメントLED	警報表示	運転中のストール防止、過電圧制限、過負荷、電源側不足電圧、直流回路不足電圧、設定異常、リトライ中、上限リミット、下限リミット
		故障原因	過電流、過電圧、過熱、負荷側短絡、負荷側地絡、インバータ過負荷、始動時アーム過電流、始動時負荷側過電流、CPU異常、EEPROM異常、 RAM異常、ROM異常、通信異常、（発電制動抵抗器過電流／過負荷）、（非常停止）、（不足電圧）、（低電流）、（過トルク）、（モータ過負荷）、（入力欠相）、（出力欠相）　（　）は選択可能
		モニタ機能	運転周波数、運転周波数指令、正転／逆転、出力電流、直流部電圧、出力電圧、補償後周波数、端子台入出力情報、CPUバージョン、 過去のトリップ履歴、累積運転時間、速度フィードバック、トルク、トルク指令、トルク電流、励磁電流、 PIDフィードバック値、モータ過負荷率、インバータ過負荷率、PBR過負荷率、PBR負荷率、入力電力、出力電力、ピーク出力電流、 ピーク直流部電圧、RR／S4入力、VI／II入力、RX入力、オプションAI2入力、オプションAI1入力、FM出力、AM出力、拡張端子台オプションカードCPUバージョン、 入力積算電力、出力積算電力、通信オプション受信カウンタ、通信オプション異常カウンタ
		フリー単位表示	出力周波数以外の任意の単位表示（回転速度、ラインスピードなど）、電流のアンペア／%切換、電圧のボルト／%切換
		オート編集機能	標準出荷設定値と異なるパラメータを自動検索。容易に変更箇所を発見可能。
		ユーザ初期設定	ユーザ用のパラメータ初期値の記憶可能。ユーザ用個別設定値へのデータリセットが簡単にできます。
	LED	充電表示	主回路コンデンサの充電表示。
入出力端子論理切換え			プログラマブル入出力端子機能のメニュー選択で正論理または負論理の選択が可能。注1）注2） （出荷時各入出力端子は正論理設定）
シンク・ソース切換			制御端子コモンのマイナスコモン（CC）とプラスコモン（P24）の切換が可能。 （出荷時マイナスコモン（CC））
出力信号	故障検出信号		1c接点の出力（250Vac-2A（cosφ=1）、30Vdc-1A、250Vac-1A（cosφ=0.4）））
	低速度・速度到達　信号出力 注2）		オープンコレクタ出力（24Vdc,最大50mA,出力インピーダンス:33Ω）
	上限・下限周波数　信号出力 注2）		オープンコレクタ出力（24Vdc,最大50mA,出力インピーダンス:33Ω）
	周波数計用出力/電流計用出力 注3）		アナログ出力。1mAdcフルスケール電流計または、7.5Vdcー1mAフルスケール電圧計
	パルス列周波数出力		オープンコレクタ出力（24Vdc,最大50mA）
通信機能			RS485標準2チャンネル装備（コネクタ:モジュラ8P、4線式・2線式各1チャンネル）、 CC-Link、DeviceNet、PROFIBUS-DPはオプション。
環境	使用環境		屋内／標高3000m以下（1000m超過で電流低減が必要）／直射日光、腐食性ガス、爆発性ガス、可燃性ガス、オイルミスト、じんあい等のないこと
	周囲温度		ー10～＋60℃ 注4）
	保存温度		ー25～＋70℃
	相対湿度		5～95%　（結露および蒸気のないこと）
	振動		5.9m／s²［0.6G］以下（10～55Hz）（JIS C60068ー2ー6準拠）

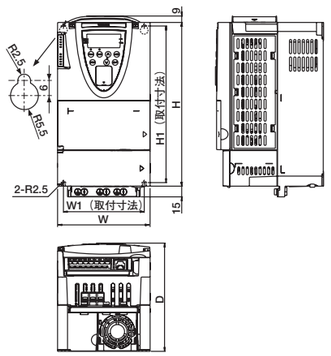
注1）16個の接点入力端子（内8つはオプション）は、プログラマブル接点入力端子で、136種の信号中から任意に選択可能です。
注2）プログラマブルON／OFF出力端子、166種類の信号中から任意に選択可能です。
注3）プログラマブルアナログ出力端子、51種類の信号中から任意に選択可能です。
注4）200Vクラス0.4～45kW、400Vクラス0.75～75kW ： 50℃以上で使用する場合は、上部カバーを取り外しのうえ、出力電流の低減が必要となります。
　　200Vクラス55～75kW、400Vクラス90～500kW　： 50℃以上で使用する場合は、出力電流の低減が必要となります。
注5）出力回路の地絡による過電流に対しインバータを保護します。
注6）200Vクラス0.4～45kW、400Vクラス0.75～75kWにて対応。PMモータとの組合せは、事前に技術検討が必要となりますので、弊社窓口へお問い合せください。

VF-AS1

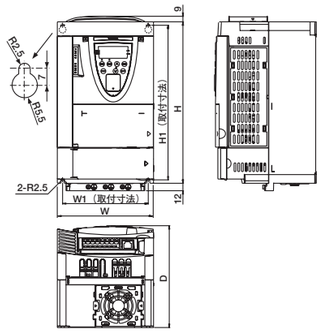
外形寸法

■200Vクラス-0.4～55kW、400Vクラス-0.75～90kW機種

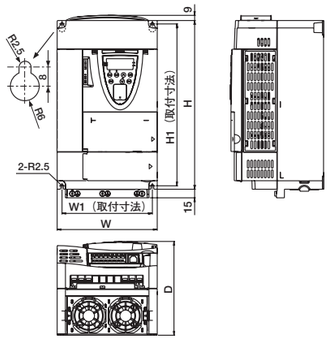
A図



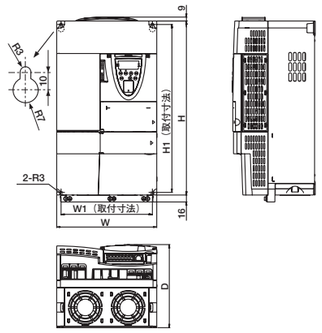
B図



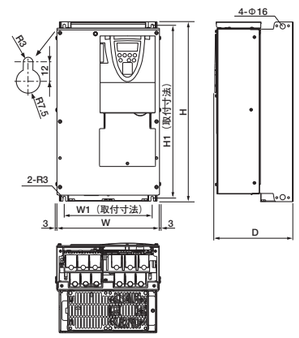
C図



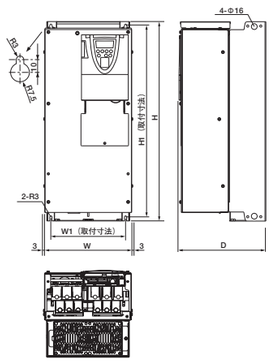
D図 E図



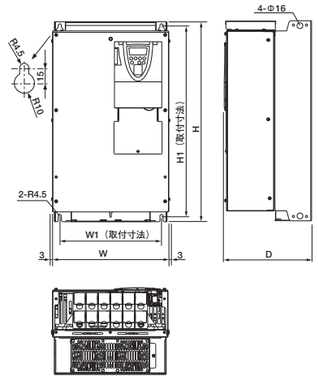
F図



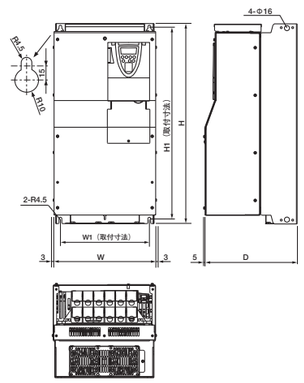
G図



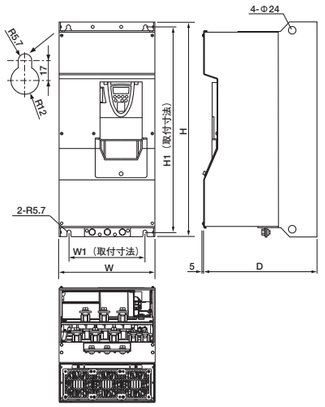
H図



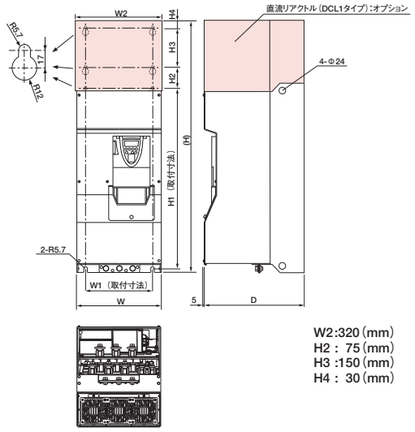
I 図



J図



J'図



W2:320（mm）
H2： 75（mm）
H3 :150（mm）
H4： 30（mm）

入力電圧クラス	適用モータ容量（kW）	インバータ形式	寸法（mm）					外形図	概略質量（kg）
			W	H	D	W1	H1		
200V	0.4	VFAS1-2004PL	130	230	152	114	220	A	3
	0.75	VFAS1-2007PL							3
	1.5	VFAS1-2015PL							3
	2.2	VFAS1-2022PL	155	260	164	138	249	B	4
	3.7	VFAS1-2037PL							4
	5.5	VFAS1-2055PL	175	295	164	158	283	C	5.5
	7.5	VFAS1-2075PL	210	295	191	190	283	D	7.5
	11	VFAS1-2110PM	230	400	191	210	386	E	14
	15	VFAS1-2150PM							14
	18.5	VFAS1-2185PM	240	420	212	206	403	F	21
	22	VFAS1-2220PM							21
	30	VFAS1-2300PM	320	550	242	280	525	H	41
	37	VFAS1-2370PM							41
	45	VFAS1-2450PM							41
	55	VFAS1-2550P	310	680（920）	370	250	650	J（J'）	59（87）
400V	0.75	VFAS1-4007PL	130	230	152	114	220	A	3
	1.5	VFAS1-4015PL							3
	2.2	VFAS1-4022PL							3
	3.7	VFAS1-4037PL	155	260	164	138	249	B	4
	5.5	VFAS1-4055PL	175	295	164	158	283	C	5.5
	7.5	VFAS1-4075PL							5.5
	11	VFAS1-4110PL	210	295	191	190	283	D	8
	15	VFAS1-4150PL	230	400	191	210	386	E	13
	18.5	VFAS1-4185PL							16
	22	VFAS1-4220PL	240	420	212	206	403	F	21
	30	VFAS1-4300PL	240	550	242	206	529	G	29
	37	VFAS1-4370PL							29
	45	VFAS1-4450PL	320	630	290	280	605	I	48
	55	VFAS1-4550PL							48
	75	VFAS1-4750PL							48
	90	VFAS1-4900PC	310	680（920）	370	250	650	J（J'）	59（89）

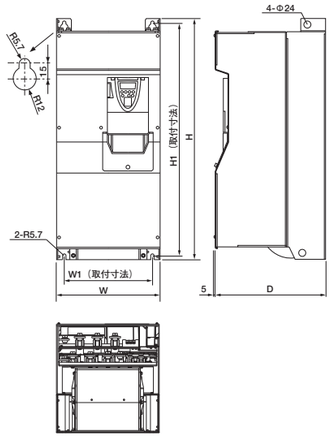
注）（ ）内の値は、直流リアクトル（オプション）を本体の上部に取付けした場合の数値です。

VF-AS1

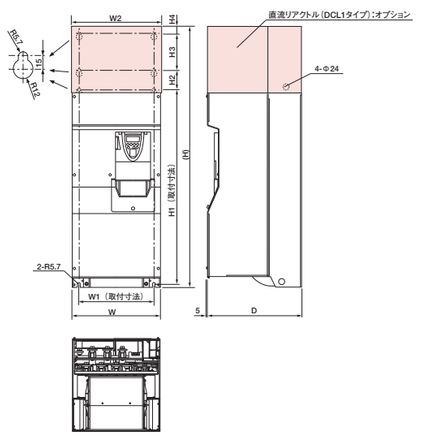
外形寸法

■200Vクラス-75kW、400Vクラス-110～500kW機種

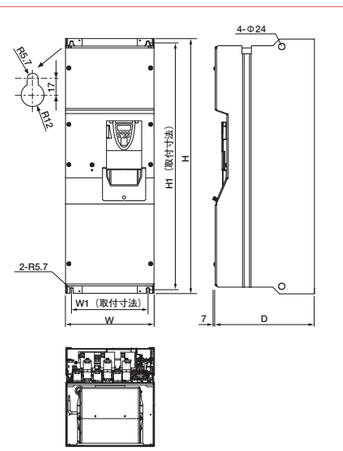
K図



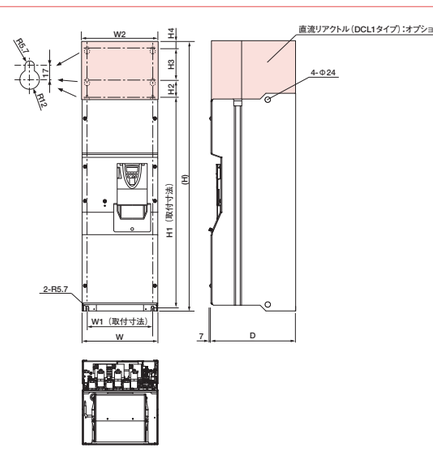
K'図



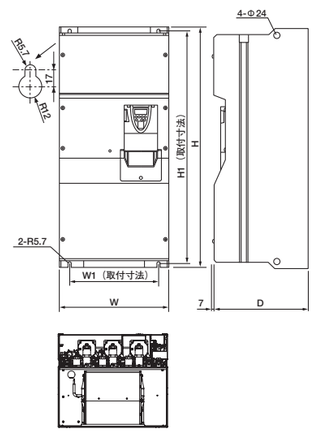
L図



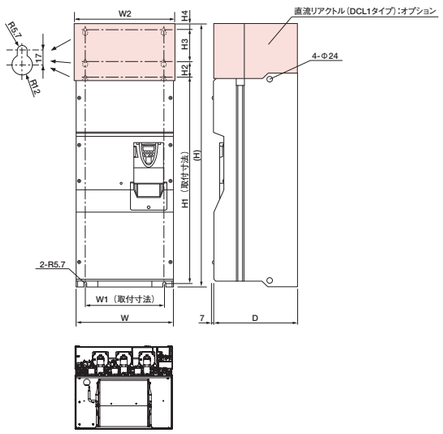
L'図



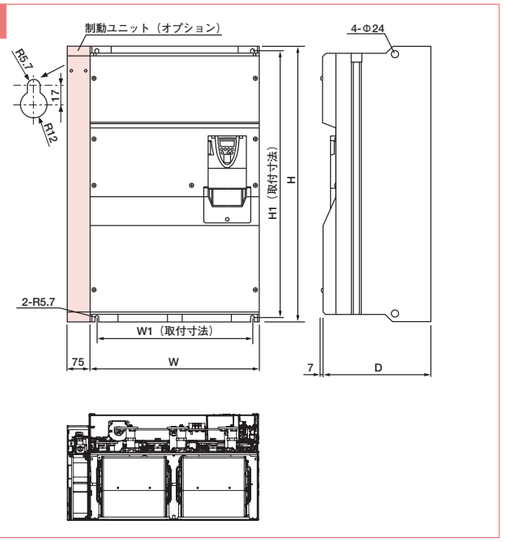
M図



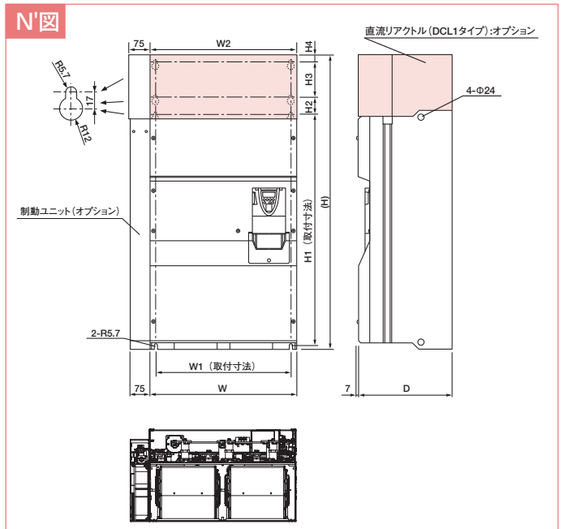
M'図



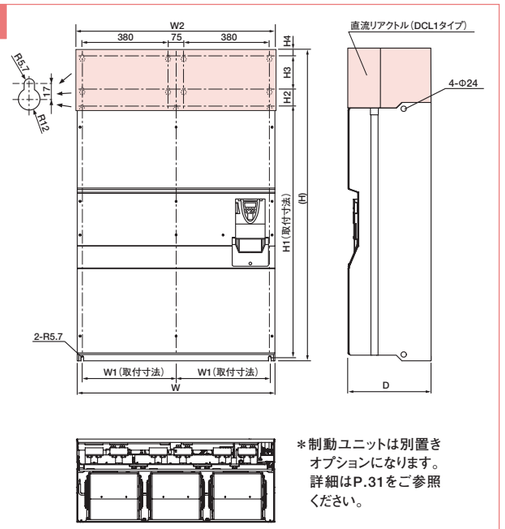
N図



N'図

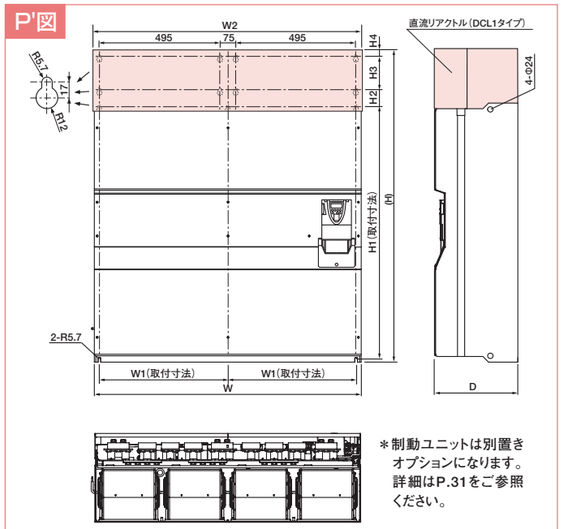


O'図



＊制動ユニットは別置きオプションになります。詳細はP.31をご参照ください。

P'図



＊制動ユニットは別置きオプションになります。詳細はP.31をご参照ください。

入力電圧クラス	適用モータ容量（kW）	インバータ形式	寸法（mm）									外形図	概略質量（kg）
			W	H	D	W1	H1	W2	H2	H3	H4		
200V	75	VFAS1-2750P	350	782（1022）	370	298	758	360	72	150	30	K（K'）	72（103）
400V	110	VFAS1-4110KPC	350	782（1022）	370	298	758	360	72	150	30	K（K'）	74（108）
	132	VFAS1-4132KPC	330	950（1190）	370	285	920	340	75	150	30	L（L'）	82（118）
	160	VFAS1-4160KPC	430	950（1190）	370	350	920	440	75	150	30	M（M'）	104（161）
	200	VFAS1-4200KPC	585	950（1190）	370	540	920	598	75	150	30	N（N'）	134（194）
	220	VFAS1-4220KPC											136（204）
	280	VFAS1-4280KPC											
	355	VFAS1-4355KPC	880	（1390）	370	418	1120	890	75	150	30	（O'）	260（370）
	400	VFAS1-4400KPC											
	500	VFAS1-4500KPC	1108	（1390）	370	533	1120	1120	75	150	30	（P'）	330（462）

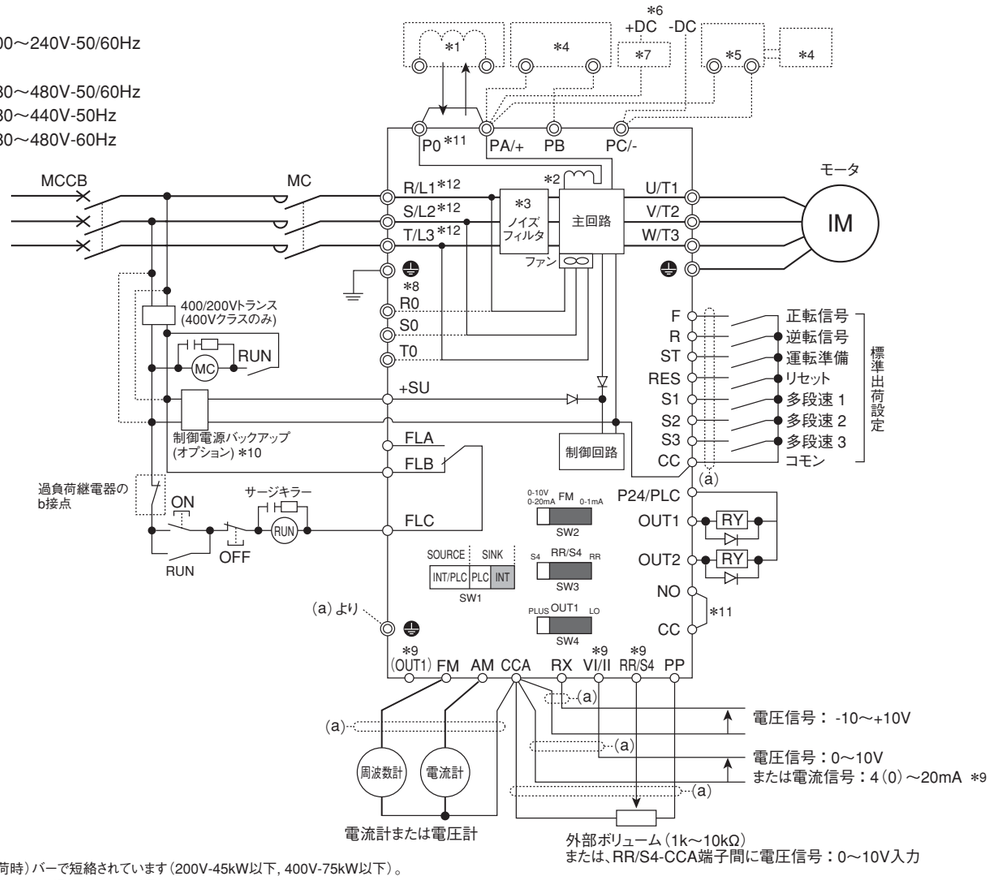
注）（　）内の値は、直流リアクトル（オプション）を本体の上部に取付けした場合の数値です。
ただし、400V-355～500kW（O'図およびP'図）は、直流リアクトルを本体の上部に取付けしたタイプです。標準で直流リアクトルが同梱されています。

基本接続図

■ シンク（ネガティブ）ロジック側での接続例

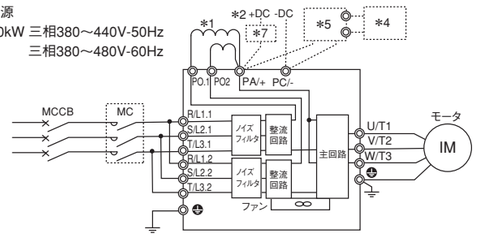
主回路電源

200Vクラス：
0.4～75kW　三相200～240V-50/60Hz
400Vクラス：
0.75～90kW　三相380～480V-50/60Hz
110～500kW　三相380～440V-50Hz
三相380～480V-60Hz



*1：PO―PA/+端子間は（出荷時）バーで短絡されています（200V-45kW以下, 400V-75kW以下）。
　直流リアクトル（DCL）を取り付ける場合には、バーを取り外してください。
　200V-55kW以上、400V-90kW以上は必ず直流リアクトルを取り付けてください。PO―PA/+端子間は（出荷時）、短絡されていません。
*2：200V-11kW ～45kW, 400V-18.5kW ～75kWは直流リアクトルが内蔵されています。別置きの直流リアクトルも併用可能です。
*3：200V-45kW以下, 400V全容量はノイズフィルタが内蔵されています。
*4：外部制動抵抗器（オプション）。160kW以下は発電制動駆動回路（GTR7）が標準で内蔵されています。
*5：発電制動ユニット（オプション）。200kW以上は、外部制動抵抗器（オプション）を使用する場合、別途発電制動ユニット（オプション）が必要です。
*6：直流電源を入力する場合は、PA/+, PC/-へ接続してください。
*7：直流電源で使用する場合は、200Vは18.5kW以上、400Vは22kW以上のインバータについては、必ず突入電流を抑制するための回路が必要となりますので、お問い合わせください。
*8：200V-75kW、400V-110kW以上の機種は、直流電源で使用する場合にファン駆動用の三相電源入力が別途必要となります。また冷却ファン電源接続変更が必要です。
　推奨ファン電源容量：200V-75kW、400V-110～160kW：700VA、400V-200～280kW：1300VA、400V-355～400kW：1900VA、400V-500kW：2500VA
*9：OUT1, VI/II, RR/S4はスイッチおよびパラメータ設定で機能を切り換えることが可能です。
　制御電源が入っていない場合、端子VI/II-CCA間の内部インピーダンスは高い状態になっています。VI/II端子へ電流を入力する場合、外部回路による入力電流エラーの誤検出を防ぐために、
　抵抗（1/2W-500Ωまたは470Ω）をVI/II-CCA間に接続してください。
*10：制御電源はインバータ内部より供給されていますが、外部よりバックアップとして供給する場合は、制御電源バックアップオプション（CPS002Z）が必要となります。
　この場合インバータ内部電源と併用となります。制御電源バックアップオプションは200/400V共用です。
　制御電源バックアップを行う場合には、パラメータ **F647**（制御電源バックアップ異常監視）の設定をしてください。
*11：出力端子OUT1、OUT2をシンクロジックで使用する場合、端子NO-CC間を短絡してください。
*12：400V-355～500kWは電源接続用端子R/L1、S/L2、T/L3、および直流リアクトル接続用端子POは、それぞれ2個あります。接続については、下図を参照してください。

主回路電源
355～500kW 三相380～440V-50Hz
三相380～480V-60Hz



端子機能説明

■ 主回路端子の機能説明

端子記号	端子機能
⏚	インバータケースの接地端子です。
R/L1,S/L2,T/L3	200Vクラス： 0.4～75kW　三相200～240V-50/60Hz 400Vクラス： 0.75～90kW　三相380～480V-50/60Hz 110～500kW　三相380～440V-50Hz　三相380～480V-60Hz （355～500kWのユニットには、端子R/L1、S/L2、T/L3はそれぞれ2個あります）
U/T1,V/T2,W/T3	モータ（三相誘導電動機）に接続してください。
PA/+,PB	制動抵抗器を接続します。（制動ユニット使用時はPA/+―PC/-間に接続） 200kW以上の機種にはPB端子はありません。制動抵抗器を使用時は別途制動ユニットをご購入ください。
PC/-	内部直流主回路のマイナス電位端子です。PA/+端子（プラス電位）との間で直流コモン電源を入力できます。 直流電源を入力する場合、200V-18.5kW以上、400V-22kW以上の機種については、電源投入時の突入電流を抑制する回路が必要です。
PO,PA/+	直流リアクトル（DCL:別置きオプション）の接続用端子です。 出荷時短絡バーにて短絡されています（200V: 45kW以下 400V: 75kW以下）。 外部にDCLを取り付ける場合は短絡バーを外してください。　（400V-355～500kWのユニットには、端子POは2個あります）
RO,SO,TO	200Vクラス：75kW　400Vクラス:110kW～500kW インバータ冷却ファン用電源です。直流電源で使用する場合に三相電源を入力してください。冷却ファン電源接続変更が必要となります。 推奨ファン電源容量:200V-75kW、400V-110～160kW:700VA、400V-200～280kW:1300VA、400V-355～400kW:1900VA、400V-500kW:2500VA

■ 制御回路端子の機能説明

端子の機能は用途に応じて設定変更可能です。

端子記号	入出力種別	端子機能	電気的仕様
F	入力	多機能プログラマブル接点入力：F-CC間の短絡で正転運転、開放で減速停止します。（ST-CC間は短絡状態）	無電圧接点入力 24Vdc-5mA以下 微小電流信号です。接点を使用する場合には接触不良を防止するために微小電流用の接点をご使用ください。 *SW1にてシンク・ソース切換可 シンク入力　ソース入力 ON　：DC10V未満　ON　：DC11V以上 OFF　：DC16V以上　OFF　：DC5V未満 注）（シンクロジックで）外部電源使用時（SINK（PLC）設定時）につきましてもCC端子を外部電源の基準電位側（0V側）に接続してください。
R	入力	R-CC間の短絡で逆転運転、開放で減速停止します。（ST-CC間は短絡状態）	
ST	入力	ST-CC間の短絡で運転準備完了です。開放でフリーラン停止します。 インターロックに使用できます。	
RES	入力	RES-CC間の短絡→開放でインバータ保護機能動作時の保持リセットをします。 なお、インバータ正常時にRES-CC間を短絡→開放しても動作しません。	
S1	入力	S1-CC間の短絡で多段速運転します。	
S2	入力	S2-CC間の短絡で多段速運転します。	
S3	入力	S3-CC間の短絡で多段速運転します。	
RR/S4	入力	SW3:S4設定時S4-CC間の短絡で多段速運転します。	
P24/PLC	出力	24Vdc電源出力（SW1をPLC以外に設定）内部24Vを出力します。	24Vdc-200mA
	入力	外部電源使用時の共通端子として使用（SW1をPLCに設定）	—
CC※1	入出力共通	制御回路のデジタル信号の等電位（0V）端子かつ、 制御電源バックアップオプションの等電位（0V）端子です。	—
PP	出力	アナログ入力設定電源出力です。	10Vdc（許容負荷電流:10mAdc）
RR/S4	入力	SW3:RR設定時、多機能プログラマブルアナログ入力です。標準出荷設定では0～10Vdc入力、0～60Hz周波数設定となります。	10Vdc（内部インピーダンス:30kΩ）
VI/I I	入力	多機能プログラマブルアナログ入力です。 標準出荷設定では0～10Vdc、0～60Hz周波数設定となります。 また、パラメータ**F108**を**1**に設定することにより0（4）-20mAdc入力に変更できます。	10Vdc（内部インピーダンス:30kΩ） 4～20mA（内部インピーダンス:242Ω）
RX	入力	多機能プログラマブルアナログ入力です。標準出荷設定では0～±10Vdc入力、0～±60Hz周波数設定となります。	10Vdc（内部インピーダンス:22kΩ）
FM	出力	多機能プログラマブルアナログ出力です。標準出荷設定では運転周波数です。メータは1mAdcフルスケールの電流計を接続してください。また、0～10Vdcまたは0（4）-20mAdc出力に変更できます。SW2を0～10V/0～20mA側に設定することにより、0～10V（**F681**＝**0**）または0～20mA（**F681**＝**1**）出力に変更できます。	1mAフルスケール直流電流計、 7.5Vdc-1mAフルスケール直流電圧計、 10Vフルスケール直流電圧計、 または、0（4）～20mA直流電流計
AM	出力	多機能プログラマブルアナログ出力です。標準出荷設定では出力電流です。メータは1mAdcフルスケールの電流計または、7.5Vdc（10Vdc）-1mAフルスケールの電圧計を接続してください。	1mAフルスケール直流電流計または 7.5Vdc-1mAフルスケール直流電圧計
OUT1	出力	多機能プログラマブルオープンコレクタ出力です。標準出荷設定では低速度信号出力周波数を検出して出力します。SW4の切り換えにより1.00kHzから43.20kHzのパルスを出力します。標準出荷設定値は、3.84kHzです。パルス出力の場合はOUT1-CCへ配線してください。	オープンコレクタ出力 24Vdc-50mA *シンク・ソース切換可
OUT2		多機能プログラマブルオープンコレクタ出力です。標準出荷設定では加減速完了を検出して出力します。	
NO		制御回路のデジタル出力信号の等電位（0V）端子です。CC端子とは絶縁されています。	
CCA※1	入出力共通	制御回路のアナログ入出力信号の等電位（0V）端子です。	—
+SU	入力	制御回路を動作させるための直流電源入力です。+SUとCC間に制御電源バックアップオプションを入力してください。	電圧:24Vdc±10% 定格電流1.05A以上の電源を使用してください
FLA FLB FLC	出力	リレー接点出力です。インバータの保護機能の動作を検出します。FLA-FLC間は保護機能動作で閉、FLB-FLC間は保護機能動作で開の接点です。	250Vac-2A：抵抗負荷時（cosΦ=1） 30Vdc-1A　：抵抗負荷時 250Vac-1A：cosϕ=0.4

※1：CC端子とCCA端子は絶縁されていませんが、ロジック用とアナログ用で使い分けてください。

VF-AS1

インバータをお使いになるお客様へ

インバータの使用を検討するときに

諸注意事項

漏れ電流について

インバータはPWM制御により高速スイッチング素子を使用しています。
インバータ動力線の配線ケーブルの長い場合などケーブルと大地間やモータの静電容量を通じて、漏れ電流が流れて周辺機器に影響を与えることがあります。また、ラジオノイズフィルタの設置によっても漏れ電流が増加します。この漏れ電流はインバータのPWMキャリア周波数、入出力配線の長さなどによって左右されますので、次の対策をご検討ください。

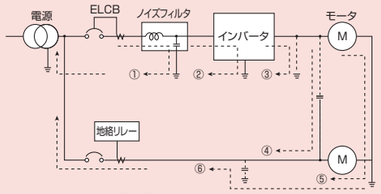
【漏れ電流による影響】

インバータを使用したときに増加する漏れ電流の伝わるルートとしては、以下のルートがあります。

①のルート…ノイズフィルタと大地間の静電容量によるもの
②のルート…インバータと大地間の静電容量によるもの
③のルート…インバータとモータ間配線と大地間の静電容量によるもの
④のルート…別系統のインバータとモータ間配線との静電容量によるもの
⑤のルート…モータの共通接地ラインからの回り込みによるもの
⑥のルート…大地間の静電容量を通じての別系統への回り込みによるもの

これらのルートから、以下のような漏れ電流による影響が発生することがあります。

- ●自系統または別系統の漏電遮断器が不要動作する。
- ●自系統または別系統の地絡リレーが不要動作する。
- ●別系統の電子機器の出力にノイズがでる
- ●インバータとモータ間に設置した外部サーマルリレーが定格電流以下で動作する。



漏れ電流の伝わるルート

【漏れ電流による影響への対策】

漏れ電流の影響への対策は、次の通りです。

(1) 漏電遮断器（ELCB）の不要動作への対策
①インバータのPWMキャリア周波数の設定を小さくします。(*)
②ラジオノイズ等の問題がない場合には、内蔵ノイズフィルタコンデンサを切離すか、コンデンサ容量小に切換えます。
③自系統および別系統の漏電遮断器に高周波対策付きのELCBを使用します。この場合には、本インバータはPWMキャリア周波数を上げた設定で使用できます。
④1つのELCBに複数のインバータが接続されるような場合には、ELCBの感度電流を大きくするか、ELCBに接続されるインバータの接続台数を減らしてください。

(2) 地絡リレーの不要動作への対策
①インバータのPWMキャリア周波数の設定を小さくします。(*)
②ラジオノイズ等の問題がない場合には、内蔵ノイズフィルタコンデンサを切離すか、コンデンサ容量小に切換えます。
③自系統および別系統の地絡リレーに高周波対策付きの地絡リレーを使用します。この場合には、本インバータはPWMキャリア周波数を上げた設定で使用できます。

(3) 他の電子機器へのノイズ対策
①影響を受けている電子機器の接地をインバータの接地経路と別にします。
②インバータのPWMキャリア周波数の設定を小さくします。(*)

(4) 外部サーマルリレーの誤動作への対策
①インバータの電子サーマル機能を使用して、外部サーマルリレーを取り外します（ただし、1台のインバータで複数台のモータを運転する場合には適用できません。サーマルリレーを取り外せない時の対応については、取扱説明書を参照してください）。
②インバータのPWMキャリア周波数の設定を小さくします。(*)

(5) 配線と接地方法の対策
①インバータと他の機器の各接地配線は専用接地とするか接地点までを各々個別に布設します。
②インバータとモータ間の配線長はできるだけ短くしてください。
③接地コンデンサ切り離しスイッチをOFFすることにより、漏れ電流を減らすことができます。ただし、この場合ノイズ減衰効果は小さくなりますので、ご注意ください。

(*) ベクトル制御時は2.0kHz未満には設定しないで下さい。
キャリア周波数を小さくすると、モータからの磁気騒音が大きくなりますので、ご注意ください。

地絡事故について

モータとインバータの間の誤接続やモータ短絡箇所がないか十分に調査した上で運転してください。スター結線のモータの中性点は接地しないでください。

電波障害について

[インバータが発生するノイズ]

インバータはPWM制御を採用しているため、その動作原理からノイズが発生し周辺機器の計装機器や電子機器などへ影響を与えることがあります。ノイズによる影響は、他の機器のノイズ耐量、配線の状態、インバータとの設置距離などによって大きく変わります。

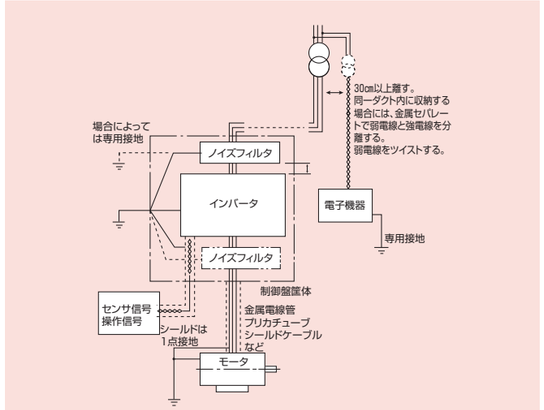
[ノイズの対策]

ノイズは伝わるルートにより、伝導ノイズ、誘導ノイズ、放射ノイズに分けられ、伝わる状況に応じた対策が必要になります。

[対策例]

- ●動力線と弱電信号線などを区別して、距離を離して配線してください。
- ●ノイズフィルタを設置してください。他の機器にもノイズフィルタを設置するとより効果的となります。
- ●金属電線管や金属製制御盤にて覆い、接地（シールド）してください。
- ●インバータと他の機器の電源を別系統にしてください。
- ●インバータの動力線の入出力線を離して配線してください。
- ●弱電回路や信号回路には、ツイストペアシールド線を使用し、片側を必ず接地してください。
- ●インバータと他の機器とは、別々に接地してください。接地線はできるだけ太くし、機器の近くで短くしてください。

200V 0.4～7.5kW、400V 0.75～75kWは、入力側に高減衰ノイズフィルタを内蔵しているため、ノイズを大幅に低減することができます。



力率改善用コンデンサについて

インバータの入力側および出力側には力率改善用コンデンサを設置しないでください。入力側もしくは出力側に力率改善用コンデンサを設置すると、コンデンサに高調波成分を含んだ電流が流れインバータが過電流トリップしたり、コンデンサに悪影響を与える場合があります。力率改善にはインバータの一次側に入力リアクトルまたは、直流リアクトルを設置してください。

入力リアクトルの設置について

入力リアクトルは、入力力率の改善、高調波成分の抑制に使用します。なお、次のような系統にインバータが接続される場合には入力リアクトルを設置してください。
(1) 電源容量が500kVA以上で、かつ、電源容量がインバータ容量の10倍以上の場合
(2) サイリスタ転流方式の制御装置と同一の系統にインバータが接続される場合
(3) アーク炉などの歪波発生源や、大容量インバータと同一の系統に接続されている場合

インバータの配線をするとき

配線上の注意

ノーヒューズ遮断器（MCCB）の設置

(1) 電源側には配線保護用としてノーヒューズ遮断器を設けてください。
(2) ノーヒューズ遮断器のON/OFFによる頻繁な運転/停止は避けてください。
(3) 頻繁な運転/停止を行う場合には、制御端子F（またはR）-CC間のON/OFFで行ってください。

電磁接触器(MC)の設置（一次側）

(1) 停電、過負荷継電器のトリップ、インバータの保護回路動作後の再始動防止を行う場合には、インバータの電源側に電磁接触器を設置します。
(2) 本インバータは故障検出リレーFLを内蔵しているので、この接点を一次側電磁接触器の操作回路に接触すればインバータ保護回路動作時に電磁接触器の開放が行えます。
(3) インバータは電磁接触器がなくても使用できます。この場合、インバータ保護回路動作時の一次側回路の開放はノーヒューズ遮断器で行ってください。（電圧引外し装置付き）
(4) 一次側電磁接触器のON/OFFによる頻繁な運転/停止は避けてください。
(5) 頻繁な運転/停止を行う場合には、制御端子F（またはR）-CC間のON/OFFで行ってください。
(6) 電磁接触器(MC)の励磁コイルにはサージキラーを付けてください。

電磁接触器の設置（二次側）

(1) 原則として、インバータとモータの間に電磁接触器を設けて、運転中にON/OFFにしないでください（運転時に二次側をON/OFFすると、インバータに大きな電流が流れて故障の原因になります）。
(2) インバータの停止中に、モータを切り換える場合や、商用電源との切り換えを行うために電磁接触器を設けることは支障ありません。
なお、商用電源がインバータ出力端子に印加されないように必ずインターロックをとってください。

外部信号

(1) リレーは微少電流用を使用してください。リレーの励磁コイルにはサージキラーを付けてください。
(2) 制御回路の配線はシールド線またはツイスト線を使用してください。
(3) 制御端子は（FLA、FLB、FLCを除く制御端子）は電子回路のため入力信号は必ず主回路と絶縁（回路的に）してください。

過負荷継電器の設置

(1) 本インバータは電子サーマルによる過負荷保護機能を内蔵しています。ただし、次のような場合には、電子サーマル動作レベルの調整や使用するモータに適した過負荷継電器をインバータとモータの間に設置してください。
(a) 標準仕様の適用モータ出力よりも小さなモータを単独で運転する場合
(b) 複数台のモータを同時に運転する場合
(2) 本インバータでは定トルクモータ「東芝VFモータ」を運転する場合は電子サーマルの保護特性をVFモータの設定に切り換えてください。
(3) モータを低速運転する場合の保護を十分に行うためには、巻線埋込形のサーマルリレー付モータの採用をお奨めします。

廃棄についてのお願い

本ユニットを廃棄する場合は、専門の産業廃棄物業者（*）に依頼してください。依頼せずに処理すると、コンデンサの爆発や有毒ガスの発生により、けがの原因となります。
（*）専門の廃棄物処理業者とは、「産業廃棄物収集運搬業者」、「産業廃棄物業者」を言います。産業廃棄物の収集・運搬および処分は認可を受けていない者が行うと、法律により罰せられます。（「廃棄物の処理並びに清掃に関する法律」）

モータを可変速するときに

標準モータの適用

振動

産業用インバータでの運転は、商用電源での運転と比較すると、軽負荷時の振動が若干大きくなります。振動は、モータ機械の基礎にしっかりとセットし、負荷運転を行うことでほとんど問題はなくなりますが、基礎が弱く、軽負荷の場合には、機械系との共振により振動が大きくなることがあります。

減速機、ベルト、チェーンなど

モータと負荷機械との間のオイル潤滑方式の減速機や変速機を使用している場合は、低速時のオイル潤滑が悪くなりますのでご注意ください。60Hzを越える高速範囲で運転する場合は、減速機、ベルト、チェーンなど動力伝達機構の騒音、強度、寿命などの問題が生じる場合があります。

周波数

60Hz以上で運転する場合には、許容運転範囲をモータメーカにお問い合わせください。

400V級モータへの適用

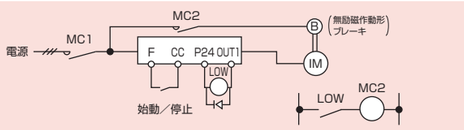
モータ端サージ電圧

400V級モータをインバータで駆動する場合、電源電圧、ケーブル定数、配線長などにより、モータ巻線の絶縁レベルを超過するサージ電圧が発生し、モータ巻線の絶縁劣化をひきおこすことがあります。
このような場合は、交流リアクトルを設置するか、あるいはP.32～33に記載のモータ端サージ電圧抑制オプションをご使用ください。交流リアクトルの設置については運転条件等により注意が必要となりますので、都度お問合わせください。

特殊モータの適用

ブレーキモータ

ブレーキモータを使用する場合、ブレーキ回路をそのままインバータの出力側に接続すると始動時に電圧が低くなるためブレーキの開放ができなくなります。ブレーキモータを使用する場合は、下図のようにブレーキ回路をインバータの電源側に接続してください。一般にブレーキモートルを使用した場合には、低速領域にて騒音が大きくなることがあります。



ギヤモータ

産業用インバータとギヤモータを組み合わせて使用する場合には、低速時の潤滑が問題となりますので、連続使用可能範囲はメーカにお問い合わせください。

ゴールドモータ（高効率節電形モータ）東芝産業機器製造(株)製

インバータ駆動による可変速運転でも、モータ効率が高いので、標準モータ運転時より高い効率で使用ができます。また、可変速範囲は、1:10（6～60Hz）の100%定トルク運転（4.6極で対応）が可能で可変速運転の機械への採用も容易で、大きな省エネ効果が得られます。

極数変換モータ

極数変換モータはインバータで運転できますが、極数の切り換えはモータが停止してから行ってください。

多極モータ

多極モータは定格電流が大きくなっておりますので、インバータ容量を選定するときは、モータの定格電流がインバータの定格電流以下になるようしてください。

単相モータ

単相モータには始動用の遠心力スイッチングやコンデンサが付属しているため、インバータ運転できません。電源が単相の場合には、単相電源入力用インバータで三相200Vを出力し三相モータを運転することができます。
（専用インバータと三相モータが必要です。）

インバータをお使いになるお客様へ

■配線機器の選定

電圧クラス	適用モータ(kW)	インバータ形式	入力電流(A)		ノーヒューズ遮断器(MCCB) 注2)、注3) 漏電遮断器(ELCB) 注12)				電磁接触器(MC) 注2)、注4)、注5)、注6)、注12)				電線サイズ 注7)、注8)					インバータ端子ネジサイズ注9)	
					リアクトルなし		直流リアクトルあり		リアクトルなし		直流リアクトルあり		主回路(mm²)		直流リアクトル(オプション)(mm²)	制動抵抗器/制動ユニット(オプション)(mm²) 注11)	接地線(mm²) 注18)	主回路端子 注10)	アース端子
			リアクトルなし	直流リアクトルあり	定格電流(A)	MCCB形式 ( )内はELCB形式 注1)	定格電流(A)	MCCB形式 ( )内はELCB形式 注1)	定格電流(A)	形式 注1)	定格電流(A)	形式 注1)	入力側(R,S,T)	出力側(U,V,W)					
200V	0.4	VFAS1-2004PL	3.5	2.1	5	NJ30E (NJV30E)	5	NJ30E (NJV30E)	20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)	M4	M5
	0.75	VFAS1-2007PL	6.1	3.2	10		5		20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	1.5	VFAS1-2015PL	11.5	6.4	15		10		20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	2.2	VFAS1-2022PL	15	9.3	20		15		20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	3.7	VFAS1-2037PL	26	15.5	30		30		32	CA20	20	CA13	3.5	3.5	2	2	2(3.5)		
	5.5	VFAS1-2055PL	35	22.5	50	NJ50EB (NJV50EB)	40	NJ50EB (NJV50EB)	50	CA25	32	CA20	5.5	5.5	3.5	5.5	3.5(5.5)	M5	
	7.5	VFAS1-2075PL	45	34.5	60	NJ100FB (NJV100FB)	40	NJ50EB (NJV50EB)	60	CA35	50	CA25	8	8	5.5	5.5	5.5(8)	M5	
	11	VFAS1-2110PM	—	53.5	—	—	75	NJ100FB (NJV100FB)	—	—	80	CA50	14	14	8	5.5	5.5(14)	M6	
	15	VFAS1-2150PM	—	72	—	—	100		—	—	80	CA50	14	14	14	5.5	5.5(14)		
	18.5	VFAS1-2185PM	—	77	—	—	100		—	—	80	CA50	22	22	22	8	5.5(22)		
	22	VFAS1-2220PM	—	88	—	—	125	NJ225FB (NJV225FB)	—	—	135	CA80	22	22	22	14	8(22)	M8	
	30	VFAS1-2300PM	—	125	—	—	150		—	—	135	CA80	38	38	38	14	8(22)		
	37	VFAS1-2370PM	—	140	—	—	175		—	—	150	CA125	60	60	60	22	14(38)	M12	M8
	45	VFAS1-2450PM	—	165	—	—	200		—	—	200	CA150	60	60	100	22	14(38)		
	55	VFAS1-2550P	—	200	—	—	250	NJ400F (NJV400F)	—	—	260	CA180	100	150	150	22	22(100)	M10 注10)	M10
	75	VFAS1-2750P	—	270	—	—	350		—	—	350	CA300	150	150	100×2 注16)	38	22(100)		
400V	0.75	VFAS1-4007PL	3.7	2.1	5	GV2-ME106 注13)	4	GV2-ME086 注13)	20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)	M4	M5
	1.5	VFAS1-4015PL	5.8	3.8	10	GV2-ME146 注13)	6.3	GV2-ME106 注13)	20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	2.2	VFAS1-4022PL	8.2	5.7	14	GV2-ME166 注13)	10	GV2-ME146 注13)	20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	3.7	VFAS1-4037PL	14	8.7	18	GV2-ME206 注13)	14	GV2-ME166 注13)	20	CA13	20	CA13	2	2	2	2	2(3.5)		
	5.5	VFAS1-4055PL	20.5	12.7	32	GV2-ME326 注13)	25	GV2-ME226 注13)	32	CA20	32	CA20	2	2	2	2	3.5(3.5)	M5	
	7.5	VFAS1-4075PL	27	16.3	32		25		32	CA20	32	CA20	3.5	3.5	2	2	3.5(3.5)		
	11	VFAS1-4110PL	36.5	21.5	50	NJ50EB (NJV50EB)	30	NJ30E (NJV30E)	50	CA25	32	CA20	5.5	5.5	3.5	2	3.5(5.5)		
	15	VFAS1-4150PL	48	33.5	60	NJ100FB (NJV100FB)	40	NJ50EB (NJV50EB)	60	CA35	50	CA25	8	8	5.5	2	5.5(8)	M6	
	18.5	VFAS1-4185PL	—	45.5	—	—	60	NJ100FB (NJV100FB)	—	—	60	CA35	8	8	5.5	5.5	5.5(8)	M8	
	22	VFAS1-4220PL	—	50	—	—	60		—	—	60	CA35	8	8	8	5.5	5.5(8)		
	30	VFAS1-4300PL	—	66	—	—	100		—	—	80	CA50	14	14	14	5.5	5.5(14)		
	37	VFAS1-4370PL	—	84	—	—	100		—	—	135	CA80	22	22	22	14	5.5(22)		
	45	VFAS1-4450PL	—	105	—	—	125	NJ225FB (NJV225FB)	—	—	135	CA80	38	38	22	14	8(22)	M12	M8
	55	VFAS1-4550PL	—	120	—	—	150		—	—	135	CA80	38	38	38	14	8(22)		
	75	VFAS1-4750PL	—	165	—	—	200		—	—	200	CA150	60	60	60	14	14(38)		
	90	VFAS1-4900PC	—	170	—	—	200		—	—	200	CA150	100	100	100	14	14(60)		
	110	VFAS1-4110KPC	—	200	—	—	250	NJ400F (NJV400F)	—	—	260	CA180	100	100	150	22	22(60)	M10 注10)	M10
	132	VFAS1-4132KPC	—	240	—	—	300		—	—	260	CA220	150	150	60×2	22	22(100)		
	160	VFAS1-4160KPC	—	290	—	—	350		—	—	350	CA300	100×2 注16)	100×2 注16)	100×2 注16)	22	22(100)	M12	M12
	200	VFAS1-4200KPC	—	360	—	—	500	NJ600F (NJV600F)	—	—	450	CA400	100×2	100×2	150×2 注16)	60	38(100)		
	220	VFAS1-4220KPC	—	395	—	—	500		—	—	450	CA400	100×2	100×2	150×2 注16)	60	38(100)		
	280	VFAS1-4280KPC	—	495	—	—	700	NJ800F (NJV800F)	—	—	660	CA600	150×2	150×2	150×2 注14) 16)	60	60(150)		
	355	VFAS1-4355KPC	—	637	—	—	1000	ESH1000	—	—	660	CA600	100×2×2 注15) 16)	150×3 注16)	100×2×2 注15) 16)	100	60(150×2)		
	400	VFAS1-4400KPC	—	709	—	—			—	—	800	CA800	100×2×2 注15) 16)	150×3 注16)	150×2×2 注15) 16)	100	60(150×2)		
	500	VFAS1-4500KPC	—	876	—	—	1200	ESH1200	—	—	1000	注17)	150×2×2 注15)	150×4 注16)	150×2×2 注15) 16)	150	100(150×2)		

注1) 東芝産業機器システム(株)製品の推奨形式を示します。
注2) 入力200V/400V-50Hzで東芝標準4極モータを使用した場合の選定です。
注3) MCCBの選定は、入力電源容量によります。ULとCSA規格に適合するには、ヒューズが必要となります。
注4) 商用切換えなどにより商用電源でモータ駆動する場合、AC-3クラスのモータ定格電流に適した電磁接触器をご使用ください。
注5) 電磁接触器、リレーの励磁コイルにはサージキラーを取り付けてください。
注6) 電磁接触器MCの補助接点2aのものを制御回路に使用する場合は、2a接点を並列に使用して接点の信頼性を上げてください。
注7) 電線の種類は600V HIV絶縁電線、主回路電線サイズは入力側R、S、T出力側U、V、Wの電線サイズを示します。インバータとモータ間の配線距離は30m以下として選定しています。30mを超える場合には電線サイズのアップをしてください。
注8) 制御回路の電線は、0.75mm²以上のシールド線を使用してください。
注9) 制御端子のネジサイズはM3です。
注10) VFAS1-2550～2750P、4900PC～4132KPCの端子PO、PA/+、PC/-はM12となります。
注11) 外付け制動抵抗器を使用する場合の推奨電線サイズです。高頻度回生用制動抵抗器の電線サイズは別途お問合わせください。
注12) 200Vクラス55kW以上、400Vクラス90kW以上の機種は直流リアクトル(オプション)を必ず取付けてください。
注13) 400Vクラスの7.5kW以下は、遮断容量の大きいGV2シリーズを推奨します。
注14) 本電線には、600V架橋ポリエチレン絶縁電線(90℃連続許容)をご使用ください。
注15) 配線の構成を示しています。
例えば100×2×2の場合
100×2×2 ← 端子台の並列線
1端子台あたりの電線本数
電線サイズ100mm²
注16) 圧着端子は次のJST製相当品を使用してください。
100mm²-M12端子:100-L12、150mm²-M12端子:150-L12
注17) 定格電流相当品をご使用ください。
注18) JEAC 8001-2005(内線規程)より求めています。( )内はIECより求めています。

インバータの容量(機種)を選ぶときに

選定について

容量選定
標準仕様に記載している適用モータ出力を参考に、モータ定格電流の1.05～1.1倍がインバータ定格出力電流値以下になるようにインバータを選定してください。複数のモータを並列運転する場合には、モータ定格電流の合計値の1.05～1.1倍がインバータ定格出力電流値以下になるようにインバータを選定してください。

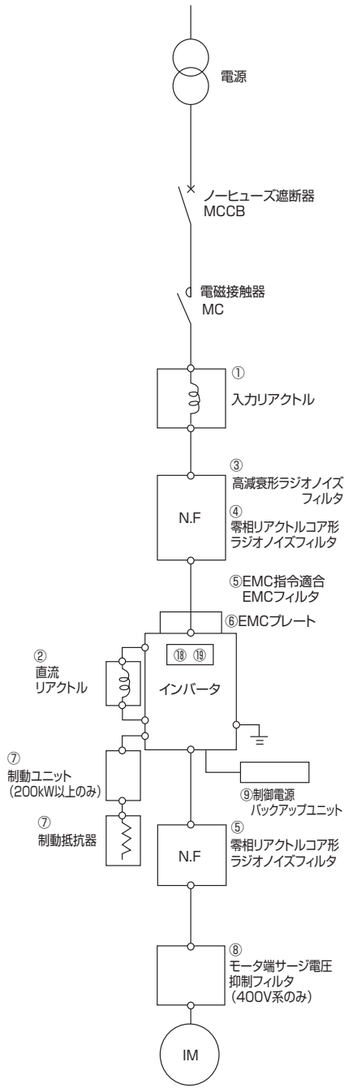
加減速時間
インバータ駆動時の実際の加減速時間は、負荷トルクと慣性モーメントによって決まり、次式で計算できます。インバータの加減速時間は、それぞれ設定できますが、次式にて求めた値より長く設定してください。

許容トルク特性
標準モータをインバータと組み合わせて可変速運転すると、インバータの出力電圧は、正弦波(近似)PWM波形のため、商用電源で運転する場合と比較すると、モータの温度上昇が若干高くなります。また、低速では冷却効果が悪くなるため周波数に応じてトルク低減が必要です。低速において、連続100%トルクが必要な場合には東芝インバータ専用モータ(VFモートル)をご使用ください。

始動特性
インバータ駆動時はインバータの過負荷電流定格による制約があり、商用電源駆動時の始動特性と異なりなす。インバータ駆動時の始動トルクは商用電源駆動時より小さな値となりますが、電圧/周波数(V/f)パターンのトルクブースト量の調整やベクトル制御の採用で始動トルクを改善することができます。(モータ特性で変わりますが、センサレスベクトル制御時に200%)さらに大きな始動トルクを必要とする場合は、インバータ容量をアップするとともにモータ容量もアップすることを検討してください。

	SI単位系
加速時間	$ta = \frac{(J_M+J_L)\times\triangle N}{9.56\times(T_M-T_L)}$ (秒)
減速時間	$ta = \frac{(J_M+J_L)\times\triangle N}{9.56\times(T_B+T_L)}$ (秒)
条件	J_M :モータ慣性モーメント(kg·m²) J_L :負荷慣性モーメント(モータ軸換算値)(kg·m²) $\triangle N$:加減速前後の回転速度の差(min⁻¹) T_L :負荷トルク(N·m) T_M :1.2～1.3×モータの定格トルク(N·m)…V/f制御 :1.5×モータの定格トルク(N·m)…ベクトル演算制御 T_B :0.2×モータの定格トルク(N·m) (制動抵抗や制動抵抗ユニットを使用した場合 0.8～1.0×モータの定格トルク(N·m))

周辺機器



■別置きオプション

No.	名称	機能・目的など	参照ページ
①	入力リアクトル	インバータ電源側の入力力率改善、高調波低減または、外来サージを抑制する場合に使用します。 電源容量が500kVA以上で、かつ、電源容量がインバータ容量の10倍以上の場合や、同一の配電線にサイリスタ機器などの歪波発生源、大容量インバータが接続されている場合に設置します。 なお、効果の大きさは、リアクトルのインピーダンスにより変わりますので弊社へお問い合せください。 リアクトル: 入力リアクトル / 直流リアクトル 効果: 力率改善 / 高調波 / 外来サージ抑制 入力リアクトル: ○ / ○ / ○ 直流リアクトル: ○大 / ○大 / × ○大:効果大 ○:効果あり ×:効果なし	P25
②	直流リアクトル	力率改善度合いは直流リアクトルの方が入力リアクトルよりあります。なお、インバータを適用する設備が高い信頼性を要求されるような場合には、外来サージ抑制効果のある入力リアクトルの併用を推奨します。 200V-11～45kW、400V-18.5～75kWには標準で直流リアクトルを内蔵しています。 200V-55kW以上、400V-90kW以上は必ず直流リアクトルを取付けてください。	P26
③	ラジオノイズ低減フィルタ 高減衰形(LCフィルタ)	200V-7.5kW以下、400V-75kW以下では、高減衰相当のノイズフィルタを内蔵していますが、さらにノイズを抑制させる必要がある場合本フィルタをご使用ください。 ●インバータの近くで使用する音響機器などへの電波傷害防止に効果があります。 ●インバータの入力側に設置します。 ●AMラジオ帯域から10MHzまで幅広く減衰性があります。 ●ノイズに弱い機器が周辺に設置される場合に使用します。	P27
④	ラジオノイズ低減フィルタ 零相リアクトル(誘導性フィルタ)コア形	●インバータの近くで使用する音響機器などへの電波傷害防止に効果があります。 ●インバータの入力側および出力側のノイズ低減にも効果があります。 ●AMラジオ帯域から10MHzまでの周波数帯域で数dBの減衰特性があります。	P28
⑤	EMC指令適合 EMCフィルタ(欧州対応)	EMCフィルタを設置し、適切な配線を行うことによってEMC指令に適合することができます。200V-0.4～7.5kW、400V-0.75～500kW機種は、EMCノイズフィルタを標準で内蔵しています。EMCフィルタを付加することで、さらに効果があがります。	P28-29
⑥	EMCプレート	インバータ動力配線のシールドケーブルのアース線を接地したり、外部からのアース線を接地するための板金材です。	P29
⑦	制動抵抗器／制動ユニット	急減速や停止を頻繁に行う場合や慣性の大きい負荷で減速時間を短くしたい場合に使用します。 発電制動時にエネルギーを消費させるための抵抗器です。 ただし、200kW以上は、制動抵抗器に加えて、制動ユニットが必要です。	P30-31
⑧	モータ端サージ電圧抑制フィルタ(400V系のみ)	400V級の汎用モータを、超高速スイッチングデバイス(IGBTなど)使用の電圧形PWM方式インバータで運転するシステムでは、ケーブル長、ケーブル布設方法、ケーブル定数などに依存するサージ電圧がモータ巻線の絶縁劣化を引き起こす場合がありますので、インバータ出力端に交流リアクトル、サージ抑制フィルタなどを設置するなどにより、サージ電圧抑制の対策を行います。	P32-33
⑨	制御電源バックアップユニット	インバータ内部で主回路電源より制御電源を供給していますので、制御電源を別で入力する必要がありません。主回路をしゃ断した時に、制御電源のみバックアップする場合に本オプションを使用します。 200/400V共用で+24Vdc出力です。(形式:CPS002Z)	P33
⑩	LED延長パネル(パラメータライタ機能付)	延長用操作パネルユニットです。LED表示部、RUN/STOPキー、UP/DOWNキー、MODEキー、ENTキー、EASYキーがついています。設定パラメータを3台分記憶することができます。(形式:RKP002Z、RKP006Z)	P34
⑪	LCD延長パネル(本体取付可能)	延長または本体取付の操作パネルユニットです。11文字8行のひらがな、漢字表記によりパラメータ設定が簡単にできます。インバータとの接続ケーブルはLCD延長パネル専用ケーブル(CAB007*)が必要です。 (形式:RKP004Z、盤面取付アタッチメントSBP006Z)	P34
⑫	USB通信変換ユニット	コンピュータに接続してデータ通信を行うことができます。接続ケーブルを使ったパラメータの調整やデータの保管・書き込みが簡単にできます。(形式:USB001Z) ■モニタ機能 ■パラメータ設定機能 ■コマンド機能 ■付加機能	P33
⑬	通信用ケーブル	通信用接続ケーブルです。LED延長パネルおよびUSB通信変換ユニット用の接続ケーブルです。 (形式:CAB0011、CAB0013、CAB0015)	P33
⑭	LCD延長パネル用ケーブル	LCD延長パネルを本体から延長して使用する場合の専用ケーブルです。(形式:CAB0071、CAB0073、CAB0075、CAB0710)	P34
⑮	操作盤	周波数計、周波数設定器およびRUN-STOP(正転、逆転)スイッチを内蔵しています(形式:CBVR-7B1)。	P37
⑯	フィン外出しオプション	盤内部の発熱の低減が行えます。	P35-36
⑰	直流リアクトル接続端子外出しキット	インバータ上部にスペースがなく、専用の直流リアクトル(DCL1-****)が取付けできない場合に使用します。 インバータ左側面に直流端子台(PA、PO)を配置でき、別置き直流リアクトル(DCL-****)と接続できます。 (対象機種:200V-55,75kW、400V-90～280kW) 注)上部取付け形の専用直流リアクトル(DCL1-****)は不要となります。	P37

■内蔵オプション

No.	名称	機能・目的など
⑱	拡張端子台オプションカード1	入出力端子台の追加ができます。(形式:ETB003Z)
	拡張端子台オプションカード2	入出力端子台の追加およびその他の機能追加ができます。(形式:ETB004Z)
	CC-Link通信オプションカード	プログラマブルコントローラなど上位コントローラとCC-Link通信が行えます。(形式:CCL001※1)
	DeviceNet通信オプションカード	プログラマブルコントローラなど上位コントローラとDeviceNet通信が行えます。(形式:DEV002Z)
	PROFIBUS通信オプションカード	プログラマブルコントローラなど上位コントローラとPROFIBUS通信が行えます。(形式:PDP002Z)
⑲	エンコーダオプションカード(コンプリメンタリ出力/ラインドライバ出力)	センサ付きモータとの組み合わせでさらに高性能な運転ができます。 (形式:VEC004Z(12Vタイプ)、VEC005Z(15Vタイプ)、VEC006Z(24Vタイプ)、VEC007Z(RS422タイプ)) (速度制御、トルク制御)

注)⑱の内蔵オプションを取付けた場合、本体の奥行き寸法が増加する機種があります。P23をご参照ください。

電源への高調波と高調波抑制対策ガイドライン

■電源への高調波とその影響について
高調波とは、商用電源の正弦波波形(基本周波数:50Hzまたは60Hz)の整数倍の周波数成分を持つ波形のことを示しています。商用電源に高調波が含まれた波形は、ひずみ波となります。
ひずみ波の発生源は、機器の入力側の整流回路と平滑回路です。機器から発生した高調波が電気設備およびその他の機器に影響(進相コンデンサやリアクトルの過熱など)を及ぼす場合があります。

■高調波抑制対策ガイドライン
インバータなどの高調波発生機器からの高調波電流が電源側や同一電力系統に接続されている他の機器へ影響を与えるため、平成6年9月に高調波抑制対策ガイドラインが制定されました。インバータは全容量機種が『高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン』の適用対象機器です。
『高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン』
高圧又は特別高圧で受電する需要家において、高調波発生機器を新設、増設又は更新する際にその需要家から流出する高調波電流の上限値を規定したものです。高調波発生機器がこのガイドラインで定めている等価容量の限度値や高調波流出電流の上限値を超える場合には、上限値になるような対策を施すことが必要になります。

■インバータの高調波抑制指針
上記ガイドラインに該当しない需要家に対して、社団法人日本電機工業会では、総合的な高調波抑制を啓発していくとの見地から、入力電圧が100Vクラス又は200Vクラスで、かつ入力電流20A以下のインバータについて高調波電流に対する指針を設けています。この指針に対応するために、入力リアクトルまたは、直流リアクトルを接続することを推奨しています。
本高調波抑制指針には次の容量が該当します。
①単相100Vクラス0.75kW以下 ②単相200Vクラス2.2kW以下 ③三相200Vクラス3.7kW以下

■内蔵リアクトル機種のガイドラインへの適用について
内蔵リアクトルにより、入力電流抑制、高調波抑制、力率改善が行えます。
ただし、特定需要家向け高調波ガイドラインを満足させる場合は、必要に応じて別置きのリアクトルを接続してください。
内蔵リアクトルのみの場合は、リアクトルなしの高調波係数3.4より改善され、2.3となります。
各次数の高調波発生量は、別途お問い合わせください。

内蔵オプション

内蔵オプションとして、以下のものが用意されています。アドオンタイプと差込みタイプがあります。

オプション一覧

オプション名		機能・目的	形式	装着方式
拡張端子機能	拡張端子台オプションカード1	入出力端子の拡張を行うことができます。	ETB003Z	アドオン
	拡張端子台オプションカード2		ETB004Z	アドオン
通信機能	CC-Link 通信オプション	CC-Linkネットワークへ接続して制御することができます。	CCL001Z1	アドオン
	DeviceNet 通信オプション	DeviceNetネットワークへ接続して制御することができます。	DEV002Z	アドオン
	PROFIBUS-DP 通信オプション	PROFIBUS-DPネットワークへ接続して制御することができます。	PDP002Z	アドオン
PG フィードバックオプション	プッシュプル 12V	モータパルス列速度指令やセンサ付きベクトル制御を行うことができます。	VEC004Z	差込み
	プッシュプル 15V		VEC005Z	差込み
	プッシュプル 24V		VEC006Z	差込み
	RS422-5V		VEC007Z	差込み

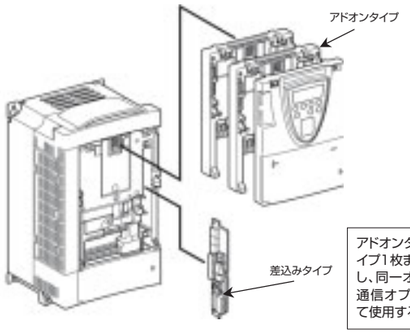
内蔵形オプションは、アドオンタイプを2種類と差込みタイプを1種類を最大で内蔵できます。

拡張端子台オプションの機能

形　式	ETB003Z	ETB004Z
多機能プログラマブル接点入力	多機能プログラマブル接点入力：4点 無電圧接点入力（24Vdc−5mA以下） シンク入力（コモン電圧24V時） ON：10Vdc 未満 OFF：16Vdc 以上	ソース入力 ON：11Vdc 以上 OFF：5Vdc 未満
多機能プログラマブルオープンコレクタ出力	多機能プログラマブルオープンコレクタ出力：2点 駆動電流：外部電源使用時、最大50mA 内部電源使用時、最大20mA 駆動電圧：12V min〜30V max	
多機能プログラマブルリレー接点出力	1C接点構成 250Vac−2A（cosφ=1）、250Vac−1A（cosφ=0.4）、30Vdc−1A	
差動電流入力	不可	電流入力：20mA以下 電圧入力：差動電圧5V以下、 -10V以上+10V以下
アナログ入力	不可	電流入力：20mA以下 電圧入力：0V〜10V
モニタ出力	不可	電圧出力：-10V〜10V、0V〜10V 電流出力：0mA〜20mA
パルス列入力	不可	入力パルス仕様 電圧：5V max 電流：15mA max 周波数：30kHz max デューティ：50±10%
外部サーマルトリップ入力	TH+、TH-間抵抗値 異常：約70Ω以下 または 約2.5kΩ以上 異常リセット：約1.6kΩ	TH+、TH-間抵抗値 異常：約50Ω以下 または 約3kΩ以上 異常リセット：約1.8kΩ
24V電源出力	24Vdc - 60mA max	
-10V電源出力	-10Vdc−10mA	
接点入力共通端子	接点入力端子のコモン	

装着方法

装着方法はアドオンタイプと差込みタイプで異なります。
下図の通り装着します。



アドオンタイプ2枚＋差込みタイプ1枚まで装着できます。但し、同一オプション2枚および通信オプション2枚を接続して使用することはできません。

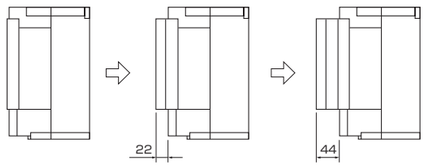
PGフィードバックオプションの機能

形　式	VEC004Z, VEC005Z, VEC006Z	VEC007Z
センサ付きベクトル運転	速度制御運転：零速 - 150%トルク 速度制御範囲：1:1000（1000ppr PG） トルク制御運転：トルク制御精度：±10% トルク制御範囲：-100% 〜 +100%	
PG 方式	コンプリメンタリ方式, オープンコレクタ方式	ラインドライバ方式
PG 配線長	最大100m（コンプリメンタリ方式）	最大30m
PG 用供給電源	VEC004Z：12V-160mA VEC005Z：15V-150mA VEC006Z：24V-90mA	5V-160mA
最大パルス入力周波数	300kHz以下 パルスデューティ：50±10%	
パルス入力電圧	12Vdc〜24Vdc	ラインドライバ（LTC485相当）

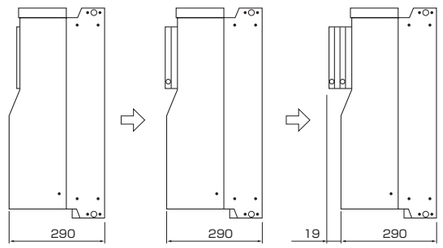
オプション装着時の奥行き寸法

アドオンタイプは、装着することで容量によって奥行き寸法が増加する場合があります。
（差込みタイプは、装着しても外形寸法は変化しません。）

200V　0.4〜45kW／400V　0.75〜37kW

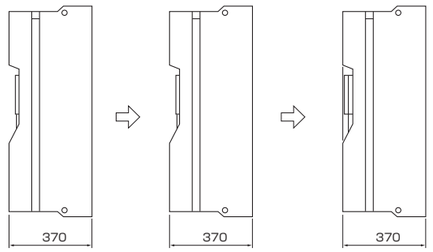


400V　45〜75kW



200V　55, 75kW／400V　90〜500kW

注）本容量は、標準でアドオンタイプのオプションケースが装着されています。
アドオンオプション取付け時は、このケースを取外してから取付けとなります。



標準タイプ　／　標準タイプ＋アドオン1枚　／　標準タイプ＋アドオン2枚

別置形オプション

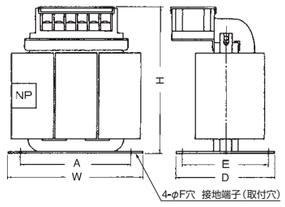
電　圧クラス	適用モータ（kW）	インバータ形式	入力リアクトル形　式	直流リアクトル形　式 注6）注7）	ラジオノイズ低減フィルタ 高減衰形	ラジオノイズ低減フィルタ コア形 注1）	制動抵抗器形式 注3）注4）	モータ端サージ電圧抑制フィルタ 注5）注9）	モータ騒音低減リアクトル
200V クラス	0.4	VFAS1-2004PL	PFL-2005S	DCL2-2004	フィルタがインバータ本体に内蔵されています。	RC9129	PBR-2007	–	–
	0.75	VFAS1-2007PL		DCL2-2007					
	1.5	VFAS1-2015PL	PFL-2011S	DCL2-2015			PBR-2022		
	2.2	VFAS1-2022PL		DCL2-2022					
	3.7	VFAS1-2037PL	PFL-2018S	DCL2-2037			PBR-2037		
	5.5	VFAS1-2055PL	PFL-2025S	DCL2-2055			PBR3-2055		
	7.5	VFAS1-2075PL	PFL-2050S	DCL2-2075			PBR3-2075		
	11	VFAS1-2110PM		直流リアクトルがインバータ本体に内蔵されています。別置きの直流リアクトルを併用する場合の選定については、P.26をご参照ください。	NF3050A-MJ		PBR3-2110		
	15	VFAS1-2150PM	PFL-2100S		NF3080A-MJ		PBR3-2150		注10）
	18.5	VFAS1-2185PM							
	22	VFAS1-2220PM			NF3100A-MJ		PBR3-2220		
	30	VFAS1-2300PM	PFL-2150S		NF3150A-MJ				
	37	VFAS1-2370PM					PBR-222W002		注11）
	45	VFAS1-2450PM	PFL-2200S		NF3200A-MJ				NRL-2220
	55	VFAS1-2550P	PFL-2300S	DCL1-2550	NF3250A-MJ				NRL-2300
	75	VFAS1-2750P	PFL-2400S	DCL1-2750	NF3200A-MJ×2個並列接続		DGP600W-B1 [DGP600W-C1]		
400V クラス	0.75	VFAS1-4007PL	PFL-4012S	DCL2-4007	フィルタがインバータ本体に内蔵されています。	RC9129	PBR-2007	MSF-4015Z	–
	1.5	VFAS1-4015PL		DCL2-4015					
	2.2	VFAS1-4022PL		DCL2-4022			PBR-4037	MSF-4037Z	
	3.7	VFAS1-4037PL		DCL2-4037					
	5.5	VFAS1-4055PL	PFL-4025S	DCL2-4055			PBR3-4055	MSF-4075Z	
	7.5	VFAS1-4075PL		DCL2-4075			PBR3-4075		
	11	VFAS1-4110PL		DCL2-4110			PBR3-4110	MSF-4150Z	
	15	VFAS1-4150PL	PFL-4050S	DCL2-4150			PBR3-4150		
	18.5	VFAS1-4185PL		直流リアクトルがインバータ本体に内蔵されています。別置きの直流リアクトルを併用する場合の選定については、P.26をご参照ください。			PBR3-4220	MSF-4220Z	
	22	VFAS1-4220PL							
	30	VFAS1-4300PL	PFL-4100S				PBR-417W008	MSF-4370Z	
	37	VFAS1-4370PL							
	45	VFAS1-4450PL						MSF-4550Z	
	55	VFAS1-4550PL	PFL-4150S						
	75	VFAS1-4750PL						MSF-4750Z	
	90	VFAS1-4900PC	PFL-4300S	DCL1-4900	NF3200C-MJ		DGP600W-B2 [DGP600W-C2]	モータ端サージ電圧抑制正弦波フィルタSWFをご使用ください。選定については、P.33をご参照ください。	NRL-4230
	110	VFAS1-4110KPC		DCL1-4110K	NF3250C-MJ				NRL-4300
	132	VFAS1-4132KPC	PFL-4400S	DCL1-4132K	NF3200C-MJ ×2個並列接続				NRL-4350
	160	VFAS1-4160KPC		DCL1-4160K	NF3200C-MJ ×2個並列接続				NRL-4460
	200	VFAS1-4200KPC	PFL-4600S	DCL1-4200K	NF3250C-MJ ×2個並列接続	FT-1KM F200160PB	PB7-4200K 注8） DGP600W-B3 [DGP600W-C3]		NRL-4550
	220	VFAS1-4220KPC		DCL1-4280K					
	280	VFAS1-4280KPC	PFL-4800S		NF3250C-MJ ×3個並列接続		PB7-4200K 注8） DGP600W-B4 [DGP600W-C4]		–
	355	VFAS1-4355KPC	PFL-4450S ×2個並列	直流リアクトルが標準で付属されます。	VW3A4411 ×2個並列接続		PB7-4400K 注8） DGP600W-B3 ×2並列 [DGP600W-C3 ×2並列]		
	400	VFAS1-4400KPC							
	500	VFAS1-4500KPC	PFL-4613S ×2個並列				PB7-4400K 注8） DGP600W-B4 ×2並列 [DGP600W-C4 ×2並列]		

注1）電源ライン線の3相を一括して4ターン以上巻きつけてください。なお、出力側にも同様に使用できます。
22mm²以上の電線サイズの場合には、4個以上直列に設置してください。また、丸タイプ（形式:RC5078）もあります。
注2）■：注文対応です。
注3）[　]内の形式はドリップカバー付きの場合を示します。
注4）400V 200kW以上の機種で外部に制動抵抗器（DGP600シリーズ）と組み合わせる場合には、制動抵抗駆動回路を内蔵した制動ユニット（PB7）が別途必要となります。
注5）90kW以上の機種で、出力側ケーブルの長さが100m以上の場合は別途ご相談ください。
注6）リアクトル（形式:DCL2-****）の代わりに、旧形リアクトル（形式:DCL-****）も使用できます。外形寸法が異なりますので、詳細はお問い合せください。（但し在庫限りの対応とさせて頂きます。）
注7）200V−55kW以上、400V−90kW以上の機種には、必ず直流リアクトルを接続してください。（直流電源入力の場合は不要）
200V−55kW以上、400V−90〜280kWの機種で従来機種からの置換えの場合は、直流リアクトル接続端子外出しキット（オプション）を使用して、
従来機種で使用していましたリアクトル（形式:DCL-****）を使用することができます。
その場合は、本表のリアクトルは不要となります。
注8）制動ユニットの形式です。
注9）SWFを使用する場合、モータ容量に対して適用インバータ容量を1ランクアップしてください。
注10）モータ騒音を低減するためには、1容量上のインバータを使用し、キャリア周波数パラメータ（CF）を8kHz程度に設定してください。
注11）モータ騒音を低減するためには、2容量上のインバータを使用し、キャリア周波数パラメータ（CF）を8kHz程度に設定してください。

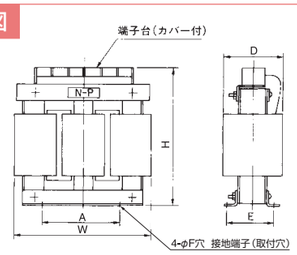
入力リアクトル

■ 外形図

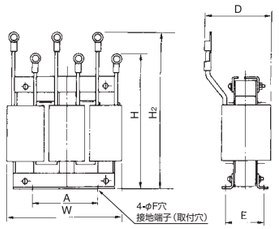
A図



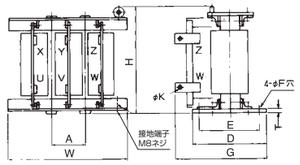
B図



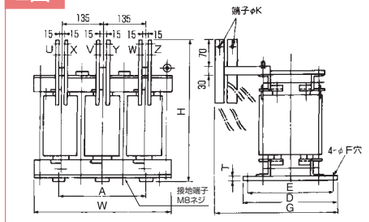
C図



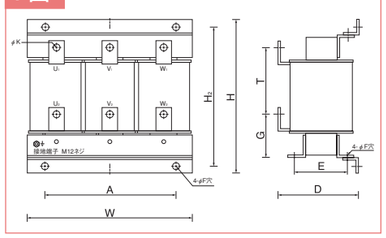
D図



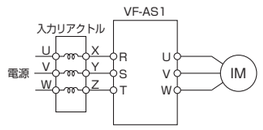
E図

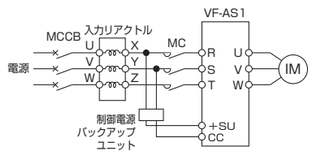


F図

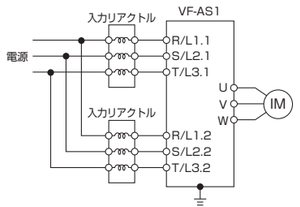


■ 接続図





注）制御電源バックアップユニット（オプション）を使用する場合は、本接続を推奨します。



400Vクラス355～500kWの機種の場合、入力リアクトルを2台並列に接続してください。

リアクトル形式	定格	適用インバータ形式	寸法(mm) W	H	D	H2	A	E	F	G	T	K	図	端子	概略質量(kg)
PFL-2005S	三相200Vクラス-5.5A-50/60Hz	VFAS1-2004PL、2007PL	105	115	65	—	90	55	5	—	—	—	A	ハーモニカ端子 M3.5	1.2
PFL-2011S	三相200Vクラス-11A-50/60Hz	VFAS1-2015PL、2022PL	130	140	70	—	115	60	5	—	—	—	A	ハーモニカ端子 M4	2.3
PFL-2018S	三相200Vクラス-18A-50/60Hz	VFAS1-2037PL	130	140	70	—	115	60	5	—	—	—	A	ハーモニカ端子 M4	2.5
PFL-2025S	三相200Vクラス-25A-50/60Hz	VFAS1-2055PL	125	130	100	—	50	83	7	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M4	2.6
PFL-2050S	三相200Vクラス-50A-50/60Hz	VFAS1-2075PL～VFAS1-2110PM	155	140	115	—	50	95	7	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M6	3.4
PFL-2100S	三相200Vクラス-100A-50/60Hz	VFAS1-2150PM、2185PM、2220PM	230	210	150	—	60	90	8	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M8	8.2
PFL-2150S	三相200Vクラス-150A-50/60Hz	VFAS1-2300PM、2370PM	175	220	160	290	60	110	8	—	—	—	C	圧着端子 60-10	11.3
PFL-2200S	三相200Vクラス-200A-50/60Hz	VFAS1-2450PM	195	240	170	320	65	115	10	—	—	—	C	圧着端子 80-10	15.1
PFL-2300S	三相200Vクラス-300A-50/60Hz	VFAS1-2550P	235	280	200	370	75	128	10	—	—	—	C	圧着端子 150-10	23.1
PFL-2400S	三相200Vクラス-400A-50/60Hz	VFAS1-2750P	260	330	230	—	90	200	12	300	9	13	D	φ13	30
PFL-4012S	三相400Vクラス-12.5A-50/60Hz	VFAS1-4007PL～VFAS1-4037PL	125	130	95	—	50	79	7	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M4	2.3
PFL-4025S	三相400Vクラス-25A-50/60Hz	VFAS1-4055PL～VFAS1-4110PL	155	155	110	—	50	94	7	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M4	4.9
PFL-4050S	三相400Vクラス-50A-50/60Hz	VFAS1-4150PL、4185PL、4220PL	155	165	140	—	50	112	7	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M6	6.6
PFL-4100S	三相400Vクラス-100A-50/60Hz	VFAS1-4300PL、4370PL、4450PL	235	250	170	—	75	105	10	—	—	—	B	ハーモニカ端子 M8	17.6
PFL-4150S	三相400Vクラス-150A-50/60Hz	VFAS1-4550PL、4750PL	235	280	190	360	75	115	10	—	—	—	C	圧着端子 80-10	20.3
PFL-4300S	三相400Vクラス-300A-50/60Hz	VFAS1-4900KPC、4110KPC	260	380	230	—	90	200	12	280	9	13	D	φ13	38
PFL-4400S	三相400Vクラス-400A-50/60Hz	VFAS1-4132KPC、4160KPC	260	380	230	—	90	200	12	300	9	13	D	φ13	42
PFL-4600S	三相400Vクラス-600A-50/60Hz	VFAS1-4200KPC、4220KPC	440	465	290	—	280	250	15	445	12	18	E	φ18	75
PFL-4800S	三相400Vクラス-800A-50/60Hz	VFAS1-4280KPC	440	540	290	—	280	250	15	445	12	18	E	φ18	90
PFL-4450S	三相400Vクラス-450A-50/60Hz	VFAS1-4355KPC 注1)、4400KPC 注1)	320	385	250	340	225	170	11	86	150	13	F	φ13	68
PFL-4613S	三相400Vクラス-613A-50/60Hz	VFAS1-4500KPC 注1)	385	440	265	400	300	165	13.5	130	190	13	F	φ13	84.5

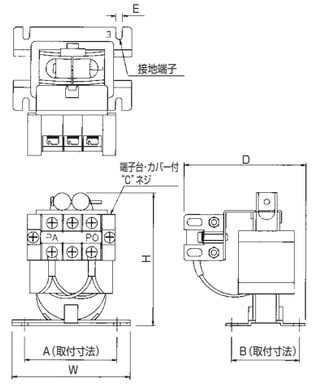
注1）2個並列で使用してください。

直流リアクトル

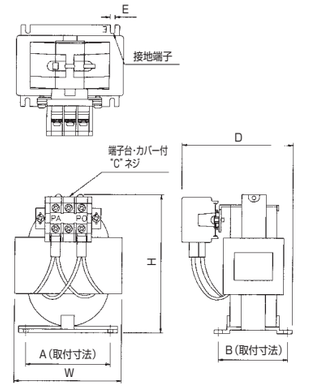
200Vクラス11～45kW、400Vクラス18.5～75kWは直流リアクトルを内蔵しています。さらに力率改善、高調波抑制の効果をたかめる必要がある場合にご利用ください。

■ 外形図

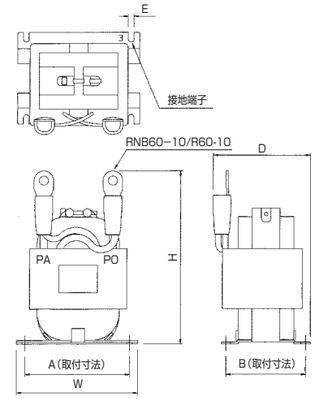
A図



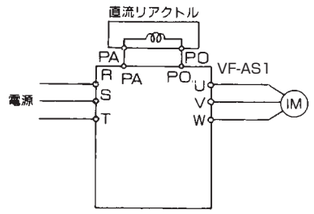
B図



C図



■ 接続図



リアクトル形式	定格電流（A）	適用インバータ形式	寸法(mm) W	H	D	A	B	C	E	図	概略質量(kg)
DCL2-2004	4	VFAS1-2004PL	72	92	75	57	42	M3.5	4.5	A	0.6
DCL2-2007	6	VFAS1-2007PL	72	94	80	57	42	M3.5	4.5	A	0.7
DCL2-2015	9.5	VFAS1-2015PL	75	99	79	60	42	M3.5	4.5	A	0.9
DCL2-2022	13	VFAS1-2022PL	74	101	81	59	47	M3.5	4.5	A	1.0
DCL2-2037	21	VFAS1-2037PL	81	115	99	65	56	M4	5.0	A	1.6
DCL2-2055	33	VFAS1-2055PL	94	124	116	78	61	M5	5.0	A	2.3
DCL2-2075	40	VFAS1-2075PL	94	119	116	78	61	M5	5.0	A	2.3
DCL2-2110	65	VFAS1-2110PM	124	124	131	108	71	M8	5.0	A	3.3
DCL2-2150	80	VFAS1-2150PM	124	122	131	108	71	M8	5.0	A	3.4
DCL2-2185	90	VFAS1-2185PM	125.5	114	147	109.5	81	M8	5.0	A	3.7
DCL2-2220	105	VFAS1-2220PM	129.5	115	147	110.5	84	M8	6.5	B	3.8
DCL2-2300	145	VFAS1-2300PM	123.5	135	150	104.5	84	M8	6.5	B	4.6
DCL2-2370	175	VFAS1-2370PM	132.5	195	115	113.5	84	—	6.5	C	6.0
DCL2-2450	215	VFAS1-2450PM	148	205	120	129	86	—	6.5	C	7.0
DCL2-4007	3	VFAS1-4007PL	69	104	80	55	42	M3.5	4.5	A	0.7
DCL2-4015	5	VFAS1-4015PL	72	109	81	57	42	M3.5	4.5	A	1.0
DCL2-4022	7	VFAS1-4022PL	74	108	86	59	47	M3.5	4.5	A	1.2
DCL2-4037	13	VFAS1-4037PL	83	119	99	66	61	M3.5	5.5	B	1.9
DCL2-4055	17	VFAS1-4055PL	83	119	103	66	61	M4	5.5	B	2.0
DCL2-4075	21	VFAS1-4075PL	90	134	108	73	61	M4	5.5	B	2.5
DCL2-4110	33	VFAS1-4110PL	103	149	121	84	66	M5	5.5	B	3.6
DCL2-4150	45	VFAS1-4150PL	109	152	128	91	73	M5	5.5	B	4.3
DCL2-4185	50	VFAS1-4185PL	128	152	127	112	71	M5	5.5	B	4.4
DCL2-4220	60	VFAS1-4220PL	138	137	141	119	84	M5	6.5	B	5.0
DCL2-4300	80	VFAS1-4300PL	155	146	152	136	84	M8	6.5	B	6.0
DCL2-4370	95	VFAS1-4370PL	138	169	145	119	84	M8	6.5	B	7.0
DCL2-4450	115	VFAS1-4450PL	148	180	145	129	86	M8	6.5	B	8.0
DCL2-4550	140	VFAS1-4550PL	160	177	165	125	114	M8	6.5	B	8.0
DCL2-4750	190	VFAS1-4750PL	170	269	120	150	86	—	6.5	C	11.0

注）200V-55kW以上、400V-90kW以上機種は必ず直流リアクトルを接続してください。リアクトル形式（DCL1-****）はP24のオプション選定表、寸法・質量はP13～P16のインバータ外形寸法をご参照ください。

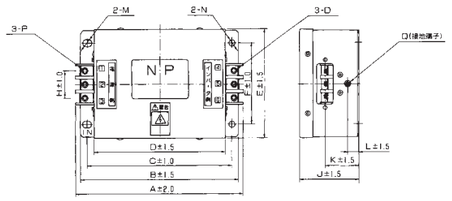
ラジオノイズ低減フィルタ

200Vクラス0.4～7.5kW、400Vクラス0.75～500kWはEMCノイズフィルタを内蔵しています。さらにノイズを抑制させる必要がある場合にご利用ください。

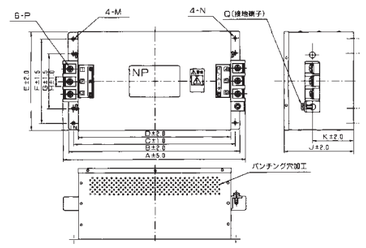
（1）高減衰形（双信電機株式会社製）

■ 外形図

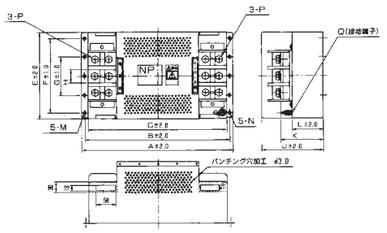
A図



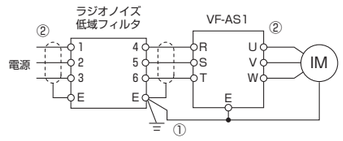
B図

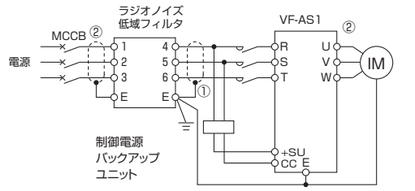


C図



■ 接続図





注）制御電源バックアップユニット（オプション）を使用する場合

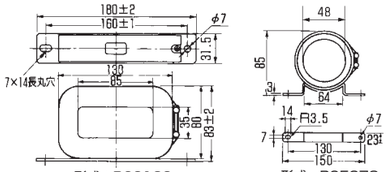
備考：①ラジオノイズ低減フィルタはインバータの主回路と制御回路の1次側に接続することを推奨します。
②電源配線と出力配線は離して設置してください。

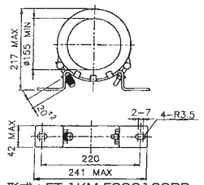
形　式	定格電流（A）	適用インバータ形式	寸法（mm） A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	図	概略質量（kg）
NF3005A-MJ	5	VFAS1-2004PL～VFAS1-2007PL	174.5	160	145	130	110	80	—	32	70	20	45	R2.75 長サ7	φ5.5	M4	M4	A	1.0
NF3015A-MJ	15	VFAS1-2015PL、2022PL																	1.6
NF3020A-MJ	20	VFAS1-2037PL																	
NF3030A-MJ	30	VFAS1-2055PL																	
NF3040A-MJ	40	VFAS1-2075PL	217.5	200	185	170	120	90		44			43			M5			2.7
NF3050A-MJ	50	VFAS1-2110PM	267.5	250	235	220	170	140	—	44	90	60	30	R3.25 長サ8	φ6.5	M6			4.6
NF3080A-MJ	80	VFAS1-2150PM、2185PM	294.5	280	260	240	200	150		57	100	65				M8	M6		7
NF3100A-MJ注1)	100	VFAS1-2220PM	383.5	370	350	330	210	170	110		155	95	—					B	11.5
NF3150A-MJ注1)	150	VFAS1-2300PM、2370PM	400	380	360	—			90	23	160	124	95				M8	C	14.5
NF3200A-MJ注1)	200	VFAS1-2450PM、2750P注2)	450	430	410		230	190	100	33	180	134	100			M10			20.5
NF3250A-MJ注1)	250	VFAS1-2550P								40		140							
NF3010C-MJ	10	VFAS1-4004～4037PL	174.5	160	145	130	110	80	—	32	70	20	45	R2.75 長サ7	φ5.5	M4	M4	A	1.4
NF3015C-MJ	15	VFAS1-4055PL																	1.6
NF3020C-MJ	20	VFAS1-4075PL																	
NF3030C-MJ	30	VFAS1-4110PL	214	200	185	170	120	90					43						
NF3040C-MJ	40	VFAS1-4150PL、4185PL	217.5							44		43	20			M5			2.7
NF3050C-MJ注1)	50	VFAS1-4220PL	267.5	250	235	220	170	140	—		90	60	30	R3.25 長サ8	φ6.5	M6			4.6
NF3060C-MJ注1)	60	VFAS1-4300PL															M6		6
NF3080C-MJ注1)	80	VFAS1-4370PL	294.5	280	260	240	200	150		57	100	65				M8			7
NF3100C-MJ注1)	100	VFAS1-4450PL	383.5	370	350	330	210	170	110		155	95	—					B	11.5
NF3150C-MJ注1)	150	VFAS1-4550PL、4750PL	400	380	360	—			90	23	160	124	95				M8	C	14.5
NF3200C-MJ注1)	200	VFAS1-4132KPC注2)、4160KPC注2) 4200KPC注2)	450	430	410		230	190	100	33	180	134	100			M10			20.5
NF3250C-MJ注1)	250	VFAS1-4110KPC、4220KPC注2) 4280KPC注3)								40		140							

注1）NF3100A-MJ～NF3250A-MJ、NF3050C-MJ～NF3250C0MJは注文対応製品です。
注2）2個並列で使用してください。
注3）3個並列で使用してください。

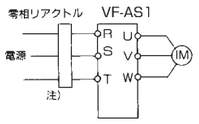
（2）零相リアクトルコア形ラジオノイズ低減フィルタ（双信電機株式会社製／日立金属株式会社製）

■ 外形図





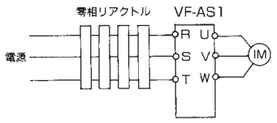
■ 接続図（a）



注）電源ライン線を零相リアクトルに4ターン以上巻きつけてください。出力側にも同様に使用できます。
RC5078は3.7kW以下の機種に使用してください。

■ 接続図（b）

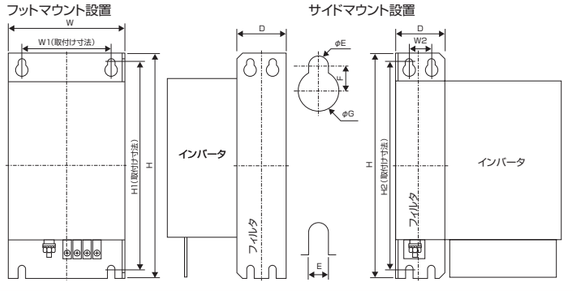
電線ケーブル22mm²以上の場合



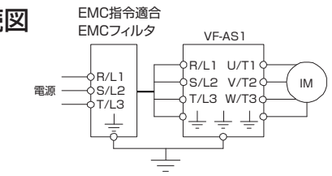
注）巻きつけずに貫通させて使用してください。
（4個以上）
400Vクラス200kW以上の機種はFT-1KM F200160PBを使用してください。
使用するケーブルの種類、サイズにより、使用できない場合があります。

EMC指令適合EMCフィルタ

（1）フットマウント形EMCフィルタ（シュネデールエレクトリック社製）



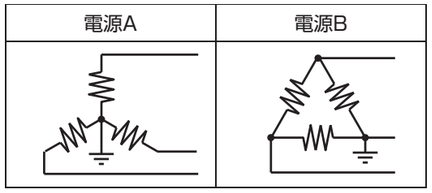
■ 接続図



インバータの背面または側面に取り付ける方式の（フットマウントまたはサイドマウント可能な）設置スペースを取らない高減衰形EMCノイズフィルタです。本フィルタを設置することによって、欧州のEMC指令に適合可能です。
本フィルタにはインバータの入力端子と接続するためのケーブルはついています。

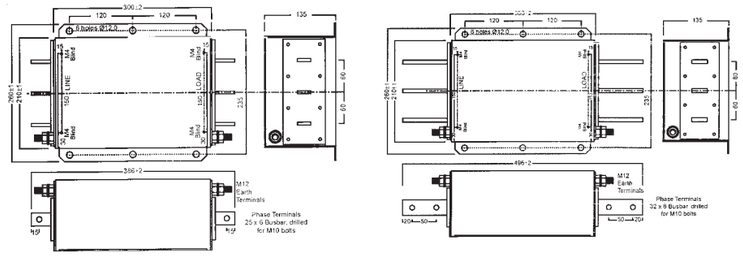
フィルタ形　式	定格電流（A）	適用インバータ形式	寸法（mm）注2) W	H	D	W1	H1	W2	H2	E	F	G	漏れ電流参考値（mA）注1) 電源A	電源B	概略質量（kg）
VW3A4401	12	VFAS1-2004PL～2015PL	130	290	39	105	275	—	275	4.5	11	10	5	35	2.5
		VFAS1-4007PL～4022PL											9	70	
VW3A4402	26	VFAS1-2022PL～2037PL	155	324	49	130	309	—	309	4.5	11	10	6	42	3.5
		VFAS1-4037PL											11	83	
VW3A4403	35	VFAS1-2055PL	175	370	59	150	355	—	355	5.5	11	11	4	25	5.0
		VFAS1-4055PL, 4075PL											6	44	
VW3A4404	46	VFAS1-2075PL	210	380	59	190	365	—	365	5.5	11	11	12	91	6.0
		VFAS1-4110PL											24	183	
VW3A4405	72	VFAS1-2110PM,2150PM	230	498.5	62	190	460	—	479.5	6.6	11	12	25	195	11
		VFAS1-4150PL, 4185PL											52	390	
VW3A4406	90	VFAS1-2185PM,2220PM	240	521.5	79	200	502.5	40	502.5	6.6	11	12	36	268	15
		VFAS1-4220PL											70	535	
VW3A4407	92	VFAS1-4300PL,4370PL	240	650	79	200	631	40	631	6.6	11	12	70	535	16
VW3A4408	180	VFAS1-2300PM～2450PM	320	750	119	280	725	80	725	9	18	18	70	537	40
		VFAS1-4450PL～4750PL											142	1075	

注1）電源周波数が60Hz、電源電圧が200Vクラスは200V、400Vクラスは400Vの条件でのフィルタ単体の値です。漏れ電流は電源周波数や電圧が大きいほど大きくなります。
注2）W2寸法が"—"で記載の機種は、サイドマウント設置時の取付け部が上下中央に各1ケ所のみあります。

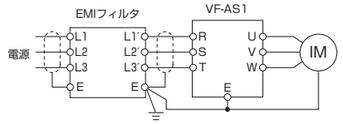


(2) EMIフィルタ（シュネデールエレクトリック社製）

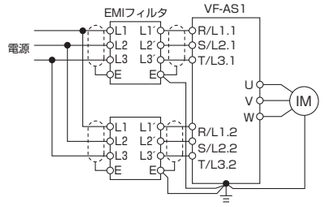
■ 外形図



■ 接続図

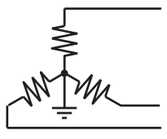
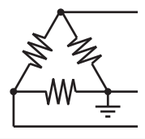


200Vクラス55kW～75kW、
400Vクラス90kW～280kWの機種の場合



400Vクラス355kW～500kWの機種の場合

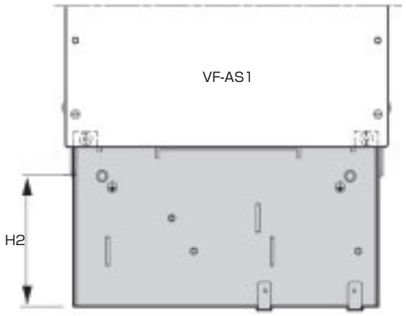
フィルタ形式	定格電流（A）	適用インバータ形式	配線用端子		概略質量（kg）	漏れ電流参考値（mA）注2）	
			主回路端子	接地端子		電源A	電源B
VW3A4410	300	VFAS1-2550P,2750P	ブスバー 25＊6 M10ボルト	M12ネジ	14.8	3	180
		VFAS1-4900PC～4132KPC				5	350
VW3A4411	580	VFAS1-4160KPC～4280KPC, 4355KPC 注1),4400KPC 注1), 4500KPC 注1)	ブスバー 32＊8 M10ボルト	M12ネジ	16.6	5	350

電源A	電源B
	

注1）2個並列で使用してください。
注2）電源周波数が60Hz、電源電圧が200Vクラスは200V、400Vクラスは400Vの条件でのフィルタ単体の値です。
漏れ電流は電源周波数や電圧が大きいほど大きくなります。

EMCプレート

■ 外形図



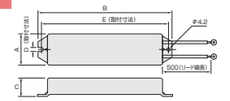
形　式	適用インバータ形式	寸法（mm）
		H2
EMP101Z	VFAS1-2004～2015PL VFAS1-4007～4022PL	55
EMP102Z	VFAS1-2022～2037PL VFAS1-4037PL	
EMP103Z	VFAS1-2055PL, 2075PL VFAS1-4055～4110PL	65
EMP104Z	VFAS1-2110,2150PM VFAS1-4150, 4185PL	
EMP105Z	VFAS1-2185,2220PM VFAS1-4220PL	120
EMP106Z	VFAS1-4300,4370PL	
EMP107Z	VFAS1-2300～2450PM	
EMP108Z	VFAS1-4450～4750PL	

EMCプレートには、取付けネジ、およびシールドケーブルをEMCプレートに止め付けるためのEMCクランプを添付しています。

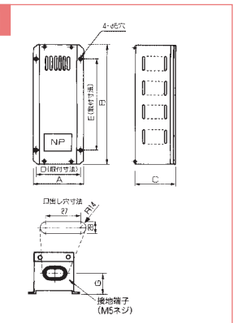
制動抵抗器

■ 外形図

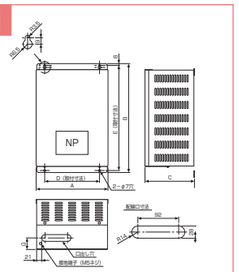
A図



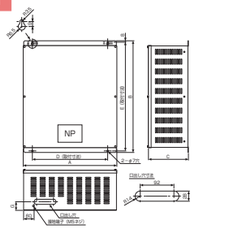
B図



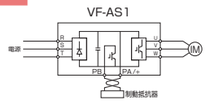
C図



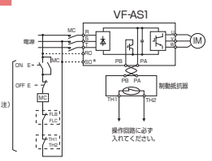
D図



E図

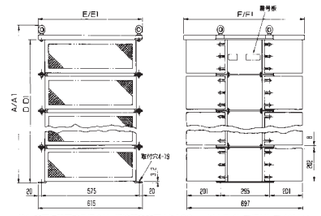


F図



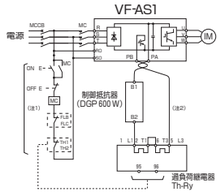
注）400Vクラスのインバータの場合、制御トランスや200V電源を使用して操作回路を200Vクラスとなるようにしてください。

G図



注）床面に設置する場合は、抵抗器を床面より100mm以上高くして据付してください。

H図



200kW以上の機種には制動ユニットが必要です。

■ 制動抵抗器（ユニットタイプ）

電圧クラス	タイプ	制動抵抗器形式 注2）	定格 注3）注4）	寸法（mm） A	B	C	D	E	G	外形図	接続図	概略質量（Kg）
200V	標準タイプ	PBR-2007	120W-200Ω	42	182	20	4.2	172	—	A	E	0.28
		PBR-2022	120W-75Ω									
		PBR-2037	120W-40Ω									
		PBR3-2055	20Ω-240W (40Ω-120W×2P)	120	320	115	110	230	50	B	F	4
		PBR3-2075	15Ω-440W (30Ω-220W×2P)		350	190			150			4.5
		PBR3-2110	10Ω-660W (30Ω-220W×3P)									5
		PBR3-2150	7.5Ω-880W (30Ω-220W×4P)									5.5
		PBR3-2220	3.3Ω-1760W (27Ω-220W×8P)	248	430	200	190	414	47	C		13
		PBR-222W002	2Ω-2200W(20Ω-220W×10P)	297	445	200	220	429	47			13
	200Wクラス	PBR-202W □□□	40Ω，75Ω-240W	120	320	115	110	230	50	B		3
	500Wクラス	PBR-208W □□□	15Ω，20Ω，40Ω，75Ω-880W		350	190			150			6
	1.5kWクラス	PBR-217W □□□	15Ω，20Ω，40Ω，75Ω-1760W	248	430	200	190	414	47	C		13
	2.5kWクラス	PBR-226W □□□	2Ω，3.3Ω，7.5Ω，10Ω，15Ω，20Ω，40Ω-2640W	297	445	200	220	429	47			14
	3.5kWクラス	PBR-235W □□□	3.3Ω，7.5Ω，15Ω，20Ω-3520W	397	445	200	320	429	47	D		19
	5kWクラス	PBR-252W □□□	2Ω，3.3Ω，7.5Ω，15Ω-5280W	520	616	220	420	600	47			36
400V	標準タイプ	PBR-2007	120W-200Ω	42	182	20	4.2	172	—	A	E	0.28
		PBR-4037	120W-160Ω									
		PBR3-4055	80Ω-240W (160Ω-120W×2P)	120	320	115	110	230	50	B	F	4
		PBR3-4075	60Ω-440W (120Ω-220W×2P)		350	190			150			4.5
		PBR3-4110	40Ω-660W (120Ω-220W×3P)									5
		PBR3-4150	30Ω-880W (120Ω-220W×4P)									5.5
		PBR3-4220	15Ω-1760W (30Ω-220W×4P2S)	248	430	200	190	414	47	C		13
		PBR-417W008	8Ω-1760W (16Ω-220W×4P2S)									13
	200Wクラス	PBR-402W □□□	160Ω-240W	120	320	115	110	230	50	B		3
	500Wクラス	PBR-408W □□□	40Ω，60Ω，80Ω，160Ω-880W		350	190			150			6
	1.5kWクラス	PBR-417W □□□	30Ω，40Ω，60Ω，80Ω-1760W	248	430	200	190	414	47	C		13
	2.5kWクラス	PBR-426W □□□	8Ω，15Ω，30Ω，40Ω-2640W	297	445	200	220	429	47			14
	3.5kWクラス	PBR-435W □□□	15Ω，30Ω，40Ω-3520W	397	445	200	320	429	47	D		19
	5kWクラス	PBR-452W □□□	8Ω，15Ω，30Ω，40Ω-5280W	520	616	220	420	600	47			36

注1）　　：注文対応製品です。
注2）形式の□□□は数字になります。次ページの「■制動抵抗器　選定表」をご参照ください。
注3）定格は合成抵抗値（Ω）と合成抵抗容量（ワット）を表します。表の（　）内は抵抗素子の構成を示します。
注4）連続回生電力許容容量は抵抗の耐量により、容量、抵抗ごとに異なります。次ページの「■制動抵抗器　選定表」をご参照ください。

■ 制動抵抗器（DGP600シリーズ）

制動抵抗器形式 標準形	制動抵抗器形式 ドリップカバー付き 注1）	定格	寸法（mm）注2） A/A1	D/D1	E/E1	F/F1	外形図	接続図	過負荷継電器（Th-Ry） 調整電流値（参考値）（A）	過負荷継電器（Th-Ry） 形式 注3）	概略質量（kg）
DGP600W-B1	DGP600W-C1	1.7Ω-3.4kW	283/303	207/192	620/700	725/780	G	H	46	TH65U(34～50A)	50
DGP600W-B2	DGP600W-C2	3.7Ω-7.4kW	493/513	417/402	620/700	725/780			44	TH65U(34～50A)	100
DGP600W-B3	DGP600W-C3	1.9Ω-8.7kW	703/723	627/612	620/700	725/780			71	TH125U(65～95A)	150
		2.5Ω-10.5kW							65	TH125U(65～95A)	150
		5Ω-10kW							45	TH65U(34～50A)	150
DGP600W-B4	DGP600W-C4	1.4Ω-14kW	913/933	837/822	620/700	725/780			110	TH125U(65～125A)	200
		1.7Ω-10kW							77	TH125U(65～95A)	200

注1）制動抵抗器は屋内仕様ですが、鉛直方向から同方向に水滴などの落下のある場合には、ドリップカバー付きをご使用ください。なお、防滴保護にはなっておりません。
注2）A、D、E、Fは標準形の寸法です。A1、D1、E1、F1はドリップカバー付きの場合の寸法です。
注3）制動抵抗器保護用の過負荷継電器を設置する場合には、CTと組合わせた過負荷継電器のご使用は避けてください。東芝産業機器システム（株）製品の推奨形式を表示します。

注1）400Vクラスのインバータの場合、制御トランスや200V電源を使用して操作回路を200Vとなるようにしてください。なお、制動抵抗器の端子はB1/B2となっています。
注2）配線の長さは、仕上がり長で4m以下としてください。10cm程度のピッチを目安として配線をより合わせてください。
また制御線や操作回路配線とは、20cm以上離してください。
注3）過負荷継電器Th-Ryの端子2/T1と6/T3間を8mm²の電線で短絡してください。

■ 制動抵抗器　選定表

急減速や減速停止を頻繁に行なう場合や慣性の大きい負荷で減速時間を短くしたい場合に使用します。
発電制動時に回生エネルギーを消費させるための抵抗器です。
昇降機の下降時などの連続的な回生状態になる用途や、負荷慣性モーメントの大きな機械を減速停止させる場合、
または、制動抵抗器を使用した減速停止を頻繁に行なう（3%ＥＤ超える）場合には、下表（　）内の連続回生電力許容容量（ワット）にて選定してください。

電圧クラス	適用モータ(kW)	インバータ形式 注2)	制動抵抗器形式 注3)							
			標準タイプ 注4)	DGP600シリーズ 注2) 注5)		高頻度回生用制動抵抗器				DGP600シリーズ
				標準形	ドリップカバー付き 注6)	500Wクラス	1.5kWクラス	2.5kWクラス	3.5kWクラス	5kWクラス	10kWクラス 注2) 注5)
200V	0.4	VFAS1-2004PL	PBR-2007 (200Ω-90W)	–	–	PBR-208W075 (75Ω-540W)	–	–	–	–	–
	0.75	VFAS1-2007PL		–	–		PBR-217W075 (75Ω-1200W)	–	–	–	–
	1.5	VFAS1-2015PL	PBR-2022 (75Ω-90W)	–	–	PBR-208W040 (40Ω-570W)	PBR-217W040 (40Ω-1160W)	PBR-226W040 (40Ω-1630W)	–	–	–
	2.2	VFAS1-2022PL		–	–				–	–	–
	3.7	VFAS1-2037PL	PBR-2037 (40Ω-90W)	–	–				–	–	–
	5.5	VFAS1-2055PL	PBR3-2055 (20Ω-96W)	–	–	PBR-208W020 (20Ω-270W)	PBR-217W020 (20Ω-950W)	PBR-226W020 (20Ω-1580W)	PBR-235W020 (20Ω-2330W)	–	–
	7.5	VFAS1-2075PL	PBR3-2075 (15Ω-130W)	–	–	–	PBR-217W015 (15Ω-840W)	PBR-226W015 (15Ω-1350W)	PBR-235W015 (15Ω-2080W)	PBR-252W015 (15Ω-3330W)	–
	11	VFAS1-2110PM	PBR3-2110 (10Ω-200W)	–	–	–	PBR-217W010 (10Ω-470W)	PBR-226W010 (10Ω-1250W)	PBR-235W010 (10Ω-1960W)	PBR-252W010 (10Ω-3200W)	–
	15	VFAS1-2150PM	PBR3-2150 (7.5Ω-270W)	–	–	–	–	PBR-226W7R5 (7.5Ω-870W)	PBR-235W7R5 (7.5Ω-1380W)	PBR-252W7R5 (7.5Ω-3210W)	–
	18.5	VFAS1-2185PM		–	–	–	–				–
	22	VFAS1-2220PM	PBR3-2220 (3.3Ω-610W)	–	–	–	–	–	–	PBR-252W3R3 (3.3Ω-1760W)	–
	30	VFAS1-2300PM		–	–	–	–	–	–		–
	37	VFAS1-2370PM	PBR-222W002 (2Ω-1000W)	–	–	–	–	–	–	PBR-226W7R5 ×3個並列 (2.5Ω-2610W)	DGP600W-B4/C4 (1.7Ω-10kW)
	45	VFAS1-2450PM		–	–	–	–	–	–		
	55	VFAS1-2550P		–	–	–	–	–	–		
	75	VFAS1-2750P	–	DGP600W-B1 (1.7Ω-3.4kW)	DGP600W-C1 (1.7Ω-3.4kW)	–	–	–	–	–	
400V	0.75	VFAS1-4007PL	PBR-2007 (200Ω-90W)	–	–	PBR-408W160 (160Ω-570W)	–	–	–	–	–
	1.5	VFAS1-4015PL		–	–		–	–	–	–	–
	2.2	VFAS1-4022PL		–	–	PBR-408W080 (80Ω-270W)	PBR-417W080 (80Ω-1090W)	–	–	–	–
	3.7	VFAS1-4037PL	PBR-4037 (160Ω-90W)	–	–		PBR-417W060 (60Ω-1000W)	PBR-426W040 (40Ω-1250W)	PBR-435W040 (40Ω-1900W)	PBR-452W040 (40Ω-2250W)	–
	5.5	VFAS1-4055PL	PBR3-4055 (80Ω-96W)	–	–						–
	7.5	VFAS1-4075PL	PBR3-4075 (60Ω-130W)	–	–	–					–
	11	VFAS1-4110PL	PBR3-4110 (40Ω-190W)	–	–	–	PBR-417W040 (40Ω-480W)				–
	15	VFAS1-4150PL	PBR3-4150 (30Ω-270W)	–	–	–	–	PBR-426W030 (30Ω-870W)	PBR-435W030 (30Ω-1680W)	PBR-452W030 (30Ω-2700W)	–
	18.5	VFAS1-4185PL		–	–	–	–				–
	22	VFAS1-4220PL	PBR3-4220 (15Ω-540W)	–	–	–	–	–	–	PBR-452W015 (15Ω-1740W)	–
	30	VFAS1-4300PL		–	–	–	–	–	–		–
	37	VFAS1-4370PL	PBR-417W008 (8Ω-1000W)	–	–	–	–	–	–	PBR-426W030 ×3個並列 (10Ω-2610W)	–
	45	VFAS1-4450PL		–	–	–	–	–	–		–
	55	VFAS1-4550PL		–	–	–	–	–	–		DGP600W-B3/C3 (5Ω-10kW)
	75	VFAS1-4750PL		–	–	–	–	–	–		
	90	VFAS1-4900PC	–	DGP600W-B2 (3.7Ω-7.4kW)	DGP600W-C2 (3.7Ω-7.4kW)	–	–	–	–	–	DGP600W-B3/C3 (2.5Ω-10.5kW)
	110	VFAS1-4110KPC	–			–	–	–	–	–	
	132	VFAS1-4132KPC	–			–	–	–	–	–	
	160	VFAS1-4160KPC	–			–	–	–	–	–	
	200	VFAS1-4200KPC	–	PB7-4200K DGP600W-B3	PB7-4200K DGP600W-C3	–	–	–	–	–	PB7-4200K DGP600W-B4/C4 (1.7Ω-10kW)
	220	VFAS1-4220KPC	–			–	–	–	–	–	
	280	VFAS1-4280KPC	–	PB7-4200K DGP600W-B4	PB7-4200K DGP600W-C4	–	–	–	–	–	–
	355	VFAS1-4355KPC	–	PB7-4400K DGP600W-B3 ×2並列	PB7-4400K DGP600W-C3 ×2並列	–	–	–	–	–	–
	400	VFAS1-4400KPC	–			–	–	–	–	–	–
	500	VFAS1-4500KPC	–	PB7-4400K DGP600W-B4 ×2並列	PB7-4400K DGP600W-C4 ×2並列	–	–	–	–	–	–

注1)　　：注文対応製品です。
注2)　400V　200kW以上の機種で外部に制動抵抗器（DGP600シリーズ）と組み合わせる場合には、制動抵抗駆動回路を内蔵した制動ユニット（PB7）が別途必要になります。
注3)　表内の（　　）内は、合成抵抗値（Ω）と連続回生電力許容容量（ワット）を示します。
注4)　標準タイプの最大制動（非繰り返し減速）の目安

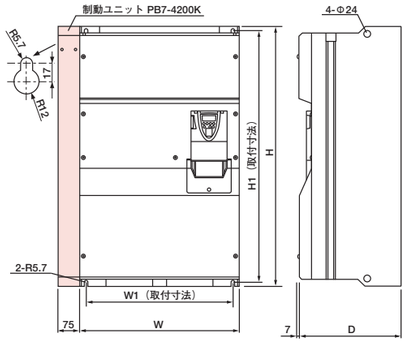
適用モータ（kW）	最大制動	制動時間
0.4~1.5	150%	6秒
2.2	100%	6秒
3.7~55	100%	3秒
75	100%	2秒

注5)　負荷の慣性が、電動機の回転子慣性の10倍あるものとして、120秒／サイクル中1回30秒で60Hz運転から減速した場合の必要容量です。
負荷の慣性が大きい場合や減速時間が短い場合には、別途ご相談ください。
注6)　制動抵抗器は屋内仕様ですが、鉛直方向から同方向に水滴などの落下のある場合には、ドリップカバー付きをご使用ください。なお、防滴保護にはなっておりません。

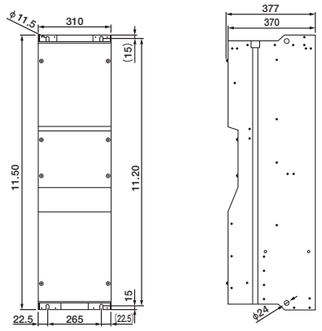
■ 制動ユニット

形　式	PB7-4200K	PB7-4400K
制動開始電圧	785V　±1%	
最大直流電流	850V	
最大制動容量（785V時）	420kW	750kW

外形寸法
PB7-4200K：インバータの左側面に取り付けます。
概略質量 30kg



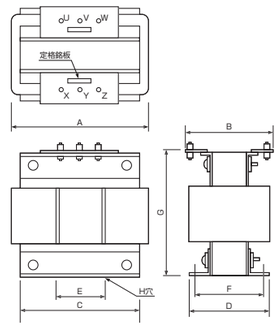
PB7-4400K
概略質量 80kg



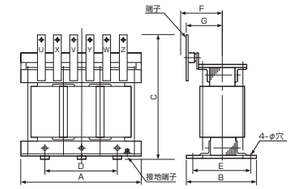
モータ騒音低減リアクトル（大容量のみ）

■ 外形図

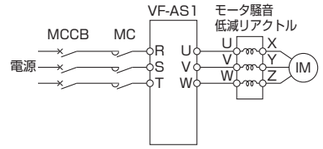
A図



B図



■ 接続図



形　式	定格電流（A）	適用インバータ形式	寸　法（mm）								概略質量 (kg)	図
			A	B	C	D	E	F	G	H		
NRL2220	220	VFAS1-2550P	310	250	250	230	150	180	350	12	70	A
NRL2300	300	VFAS1-2750P	470	330	595	290	290	195	170	15	170	B
NRL4230	230	VFAS1-4750PL、4900KPC、4110KPC	500	400	660	320	350	220	195	15	230	B
NRL4300	300	VFAS1-4132KPC	500	420	695	320	370	230	205	15	280	
NRL4350	350	VFAS1-4160KPC	500	420	710	320	370	230	205	15	280	
NRL4460	460	VFAS1-4200KPC、4220KPC	700	420	835	450	370	230	205	19	435	
NRL4550	550	VFAS1-4280KPC	700	420	840	450	370	230	205	19	450	

モータ端サージ電圧抑制オプション（400V系のみ）

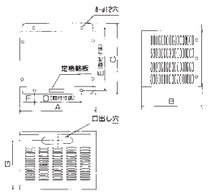
■モータ端サージ電圧対策

400V級モータを、超高速スイッチングデバイス（IGBTなど）使用の電圧形PWM方式インバータで運転するシステムでは、電源電圧、モータケーブル長さ・布設方法・種別などに依存するサージ電圧がモータ巻線の絶縁劣化を引き起こす場合があります。このため、モータ容量が75kW以下の場合はモータ端サージ電圧抑制フィルタMSFを、モータ容量が90kW以上の場合はモータ端サージ電圧抑制正弦波フィルタSWFをそれぞれご使用ください。
SWFの場合、モータ容量に対して適用インバータを1ランクアップしてください。

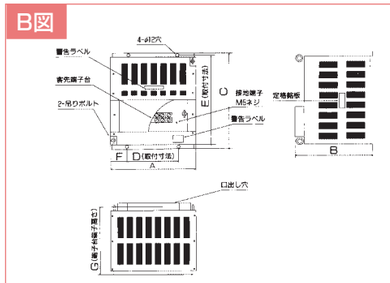
（1）モータ端サージ電圧抑制フィルタ　MSF

■ 外形図

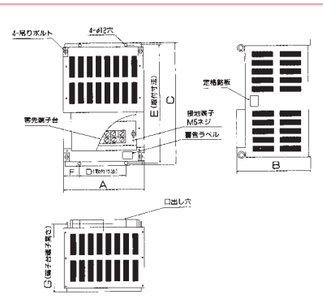
A図



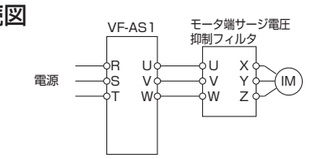
B図



C図



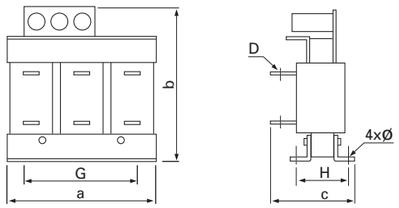
■ 接続図



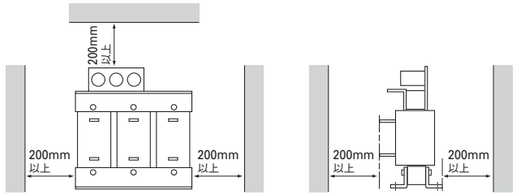
モータ端サージ電圧抑制フィルタ	適用モータ容量（kW）	寸　法（mm）							図	端子ネジ	接地ネジ	概略質量（kg）
		A	B	C	D	E	F	G				
MSF-4015Z	0.4、0.75、1.5	310	255	300	200	270	55	189	A	M4	M4	12
MSF-4037Z	2.2、3.7	310	255	300	200	270	55	209		M4	M4	20
MSF-4075Z	5.5、7.5	310	315	350	200	320	55	249		M5	M4	30
MSF-4150Z	11、15	330	350	400	200	370	65	289		M6	M5	40
MSF-4220Z	18.5、22	330	400	400	200	370	65	279		M6	M5	52
MSF-4370Z	30、37	426	375	512	260	490	83	350	B	M8	M5	75
MSF-4550Z	45、55	450	395	632	260	610	95	365	C	M10	M5	110
MSF-4750Z	75	450	415	700	260	678	95	385		M10	M5	120

(2) モータ端サージ電圧抑制正弦波フィルタ　SWF

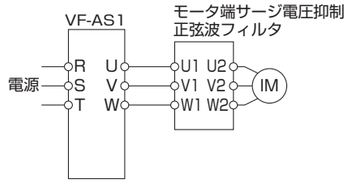
外形図



取付方法



接続図

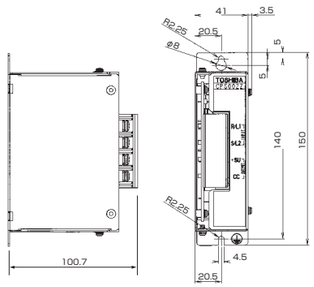


モータ容量(kW)	適用インバータ形式　注)	フィルタ形式	寸法(mm) a	b	c	G	H	Ø	D	概略質量(kg)
90	VFAS1-411OKPC	SWF-4160K	420	590	310	370	231	11×15	Φ11	140
110	VFAS1-4132KPC									
132	VFAS1-4160KPC									
160	VFAS1-4200KPC	SWF-4220K	480	630	320	430	238	13×18	Φ11	165
200	VFAS1-4220KPC									
220	VFAS1-4280KPC	SWF-4355K	480	810	340	430	258	13×18	Φ14	215
280	VFAS1-4355KPC									
355	VFAS1-4400KPC	SWF-4630K	550	1000	500	525	352	13×22	4×φ11	481
400	VFAS1-4500KPC									

注) SWFを使用する場合、モータ容量に対して適用インバータ容量を1ランクアップしてください。
SWF使用時は、インバータのキャリア周波数の設定を4k～8kHzに設定してください。ベクトル制御は使用できません。

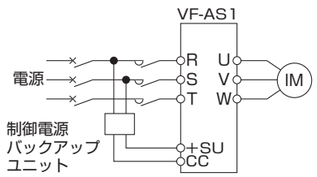
制御電源バックアップユニット

外形図

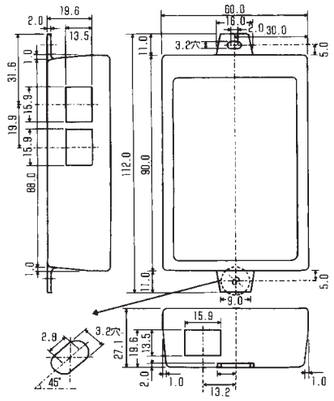


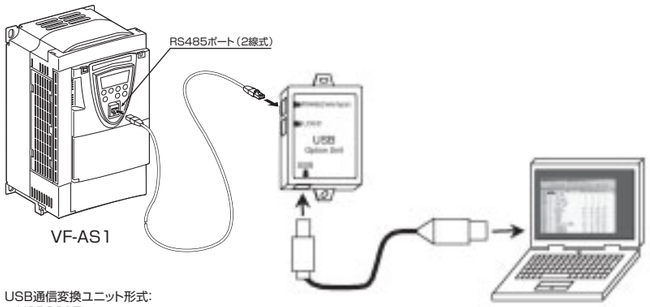
制御電源バックアップユニット形式:CPS002Z
*200V/400V共用です。

接続図



USB通信変換ユニット



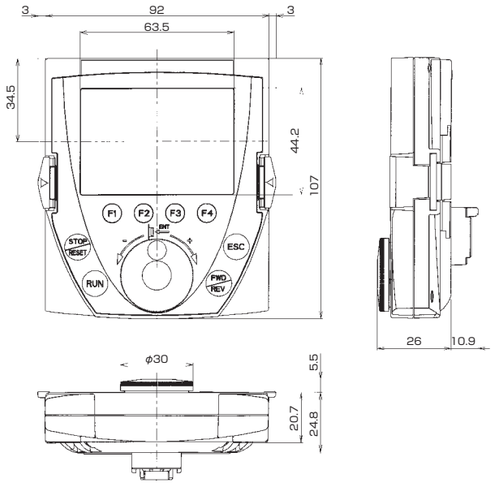


USB通信変換ユニット形式:
USB001Z
USB通信変換ユニット用ケーブル
形式(インバータ側):CAB0011(1m)
CAB0013(3m)
CAB0015(5m)
パソコン側のケーブルはUSBケーブル
(USB1.1/2.0適合のA-B接続タイプ)を御使用ください。

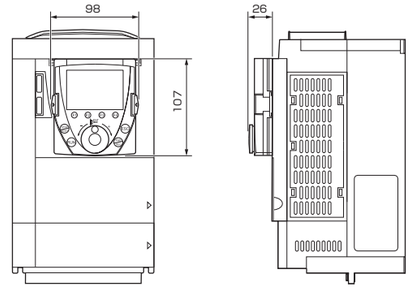
通信ソフトウェア：PCM001Z
パソコンからパラメータの編集、モニタ、データトレースができ、インバータのセットアップやメンテナンスが簡単にできます。
PCM001Zは、ホームページから無料でダウンロードできます。※会員登録が必要です。

LCD延長パネル

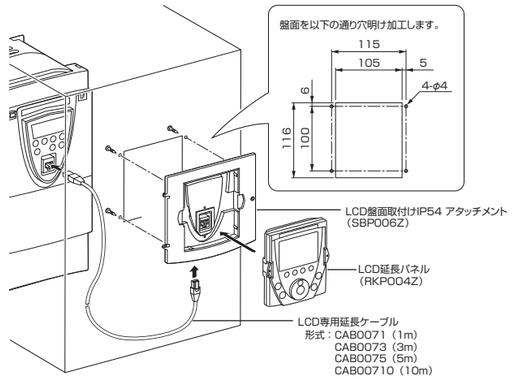
外形図



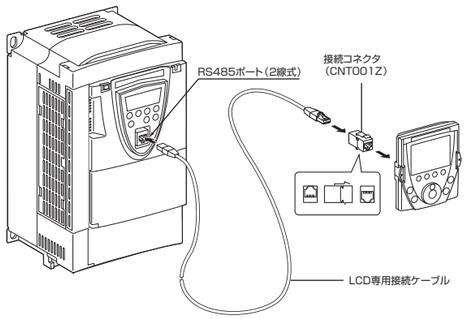
本体装着例



盤面取付例



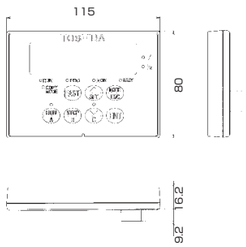
手持ち操作例



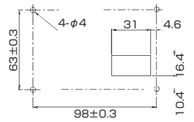
LED延長パネル

形式：RKP002Z

外形図



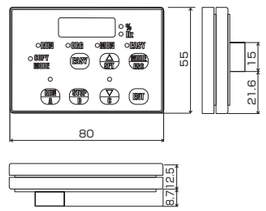
パネルカット寸法



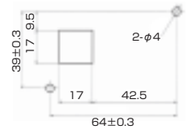
*パラメータライタ機能もついています。

形式：RKP006Z　アール・ビー・コントロールズ株式会社製

外形図



パネルカット寸法



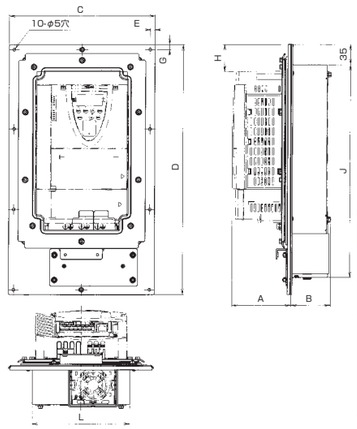
*パラメータライタ機能もついています。

LED延長パネル用ケーブル形式:CAB0011(1m)、CAB0013(3m)、CAB0015(5m)　※ケーブルはRKP002Z、RKP006Z共通です。

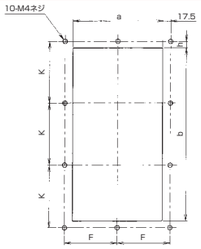
フィン外出しオプション

インバータを盤内に収納する場合、発熱量の多いインバータ背面部にあるフィン部分を盤外に出すことで、収納盤内部の発熱量を低減することができ、全閉収納盤等の小型化に有効です。

A図



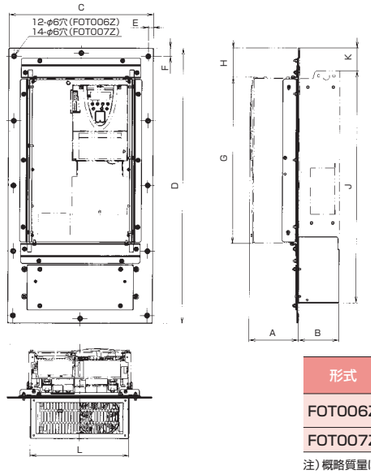
■ パネルカット寸法



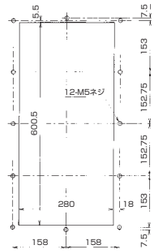
形式	適用インバータ形式	寸法(mm) a	b	h	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	概略質量(kg)注)
FOT001Z	VFAS1-2004PL,2007PL,2015PL VFAS1-4007PL,4015PL,4022PL	170	351	15	103	54	222	397	8.5	102.5	8	47	327.5	127	138.6	2.3
FOT002Z	VFAS1-2022PL,2037PL VFAS1-4037PL	198	384.5	14	101	68	250	430	8.5	116.5	8.6	46.5	365.5	137.5	166.6	2.9
FOT003Z	VFAS1-2055PL VFAS1-4055PL,4075PL	215	419	14.5	98	73	268	465	9	125	8.5	46	400.5	149.5	183.6	3.2
FOT004Z	VFAS1-2075PL VFAS1-4110PL	250	438	13	101	95	303	482	9	142.5	8.5	45.7	419	155	220.2	4.1
FOT005Z	VFAS1-2110PM,2150PM VFAS1-4150PL,4185PL	270	537.5	15.5	98	99	325	585	10	152.5	8	45	520.5	189.5	240.2	4.8

注) 概略質量は、フィン外出しオプションのみの値です。

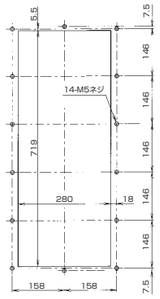
B図



■ パネルカット寸法



FOT006Z用

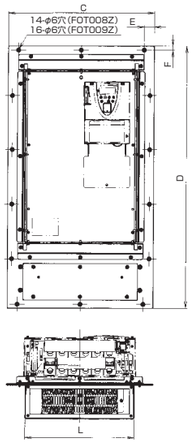


FOT007Z用

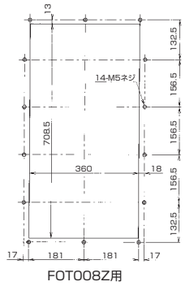
形式	適用インバータ形式	寸法(mm) A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	概略質量(kg)注)
FOT006Z	VFAS1-2185PM,2220PM VFAS1-4220PL	117	95	340	649	12	19	391	68.7	547.3	53.6	232	4.1
FOT007Z	VFAS1-4300PL,4370PL	144	97.5	340	768	12	19	508.5	69	677	51	232	4.4

注) 概略質量は、フィン外出しオプションのみの値です。

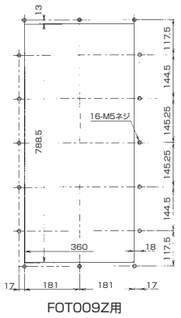
C図



■ パネルカット寸法



FOT008Z用

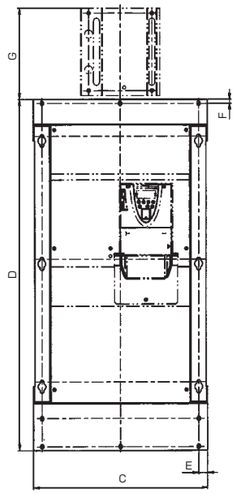


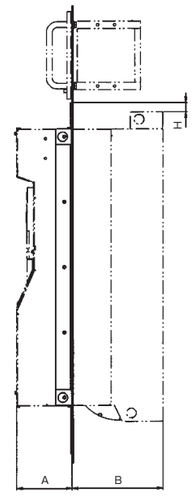
FOT009Z用

形式	適用インバータ形式	寸法(mm) A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	概略質量(kg)注)
FOT008Z	VFAS1- 2300PM,2370PM,2450PM	143.5	98	420	757.5	29	11.5	498	69	673.5	44	313.2	5.1
FOT009Z	VFAS1- 4450PL,4550PL,4750PL	182.5	112	420	837.5	29	11.5	578	69	753.5	44	313.2	5.4

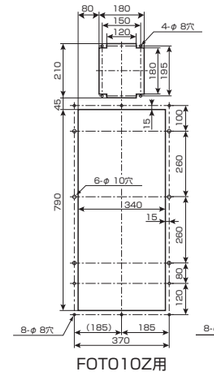
注) 概略質量は、フィン外出しオプションのみの値です。

D図

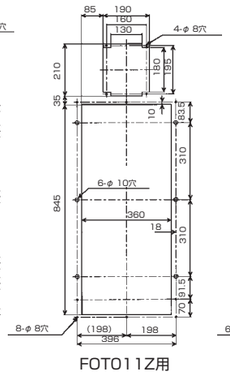




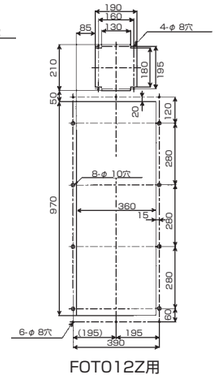
■ パネルカット寸法



FOT010Z用



FOT011Z用

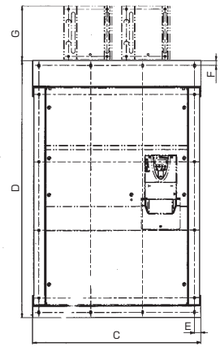


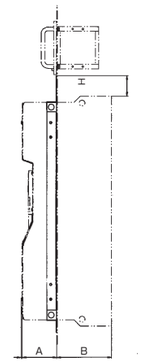
FOT012Z用

形式	適用インバータ形式	寸法(mm) A	B	C	D	E	F	G	H	概略質量(kg)注)
FOT010Z	VFAS1-2550P VFAS1-4900PC	250	165	420	850	25	15	230	50	5.1
FOT011Z	VFAS1-2750P VFAS1-4110KPC	145	230	440	885	22	10	230	23	3.6
FOT012Z	VFAS1-4132KPC	150	227	442	1061	26	20.5	224.5	85.5	4.3

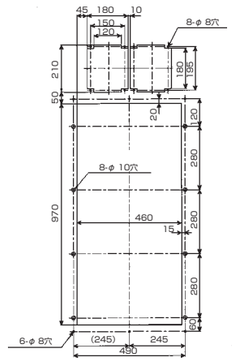
注) 概略質量は、フィン外出しオプションのみの値です。

E図

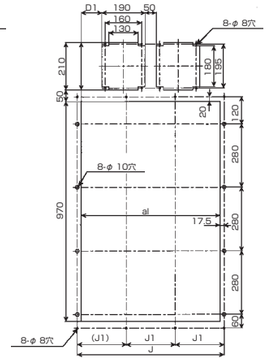




■ パネルカット寸法



FOT013Z用



FOT014Z用
FOT015Z用

形式	適用インバータ形式	寸法(mm) A	B	C	D	E	F	G	H	概略質量(kg)注)
FOT013Z	VFAS1-4160KPC	150	227	542	1061	26	20.5	224.5	85.5	4.4
FOT014Z	VFAS1- 4200KPC,4220KPC,4280KPC	150	227	697	1061	26	20.5	224.5	85.5	4.7
FOT015Z	VFAS1-4200KPC,4220KPC,4280K とPB7-4200Kを組合せて使用する場合	150	227	772	1061	26	20.5	224.5	85.5	4.9

形式	寸法(mm) D1	a1	J	J1
FOT014Z	90	610	645	215
FOT015Z	165	685	720	240

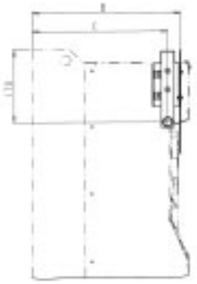
注) 概略質量は、フィン外出しオプションのみの値です。

直流リアクトル接続端子外出しキット

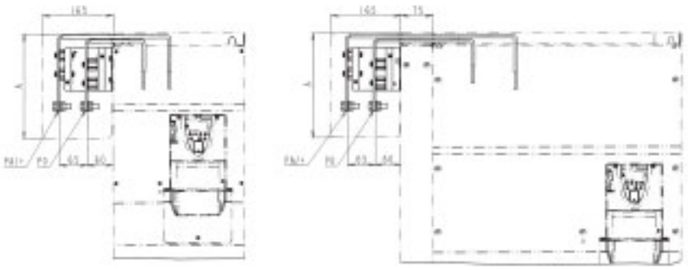
直流リアクトル接続端子外出しキットは、インバータ側面に直流端子台（PA、PO）を配置するためのオプションです。盤上部スペースが確保できず、上部取付け形の専用直流リアクトル（DCL1-＊＊＊＊）を取付けできない場合は、別置き形の直流リアクトル（DCL-＊＊＊＊）と本オプションの組合せで対応が可能となります。この場合、上部取付け形の専用直流リアクトル（DCL1-＊＊＊＊）は不要となりますので、ご購入時にはご注意ください。フィン外出しオプションとの併用はできません。

■ 外形寸法

BAR101Z～BAR105Z



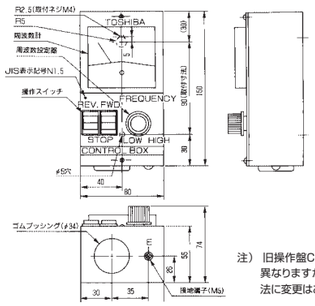
BAR106Z



形式	適用インバータ形式	寸法（mm）			概略質量（kg）
		A	B	C	
BAR101Z	VFAS1-2550P,VFAS1-4900PC	245	350	320	2.2
BAR102Z	VFAS1-2750P,VFAS1-4110KPC	255	350	320	2.7
BAR103Z	VFAS1-4132KPC	245	360	325	2.4
BAR104Z	VFAS1-4160KPC	245	360	325	2.7
BAR105Z	VFAS1-4200KPC,4220KPC,4280KPC	245	360	325	2.9
BAR106Z	VFAS1-4200KPC,4220KPC,4280KPCと PB7-4200Kを組合せて使用する場合	245	360	325	3.2

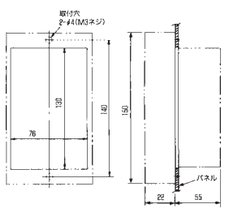
操作盤（形式CBVR-7B1）

■ 外形図



注） 旧操作盤CBVR-7Bとメータが異なりますが、外形寸法、取付寸法に変更はありません。

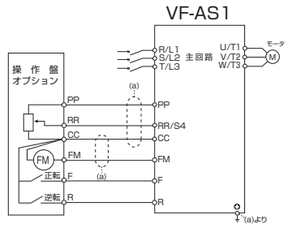
パネル穴説明図



塗装：JIS表示企記号5Y7/1（パネル面N1.5）

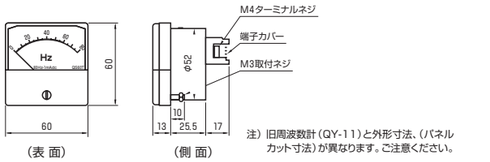
質量：0.7kg

■ 接続図



注）インバータと操作盤の配線長は30m以下としてください。

周波数計〈QS-60T（80Hz-1mAdc）〉

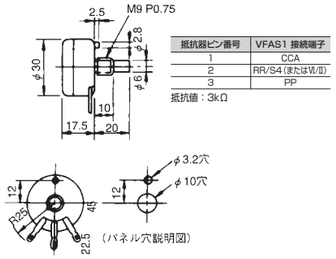


（表 面）　（側 面）　（裏 面）

注）旧周波数計（QY-11）と外形寸法、（パネルカット寸法）が異なります。ご注意ください。

FRH-KIT

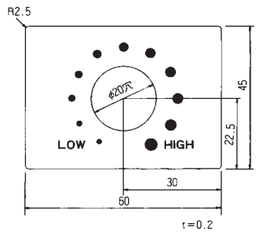
周波数設定用抵抗器〈RV30YN-20S-B302〉



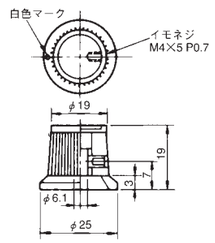
抵抗器ピン番号	VFAS1 接続端子
1	CCA
2	RR/S4（またはVI/II）
3	PP

抵抗値：3kΩ

周波数設定抵抗器用具目盛板



周波数設定抵抗器用 ツマミ〈K-3〉



VFモートル　インバータ専用に設計された定トルクモータです。0.2kW～55kWまで即納品です。

一般のインバータは、既設や新設の汎用モータと組み合わせて可変速運転ができますが、低速時には負荷を軽減する必要があり、機械の設計や運転に不便がありました。この問題を解決する、低速でも100%一定のトルクが得られるインバータ専用定トルクモータ・VFモートルをシリーズ化しています。

東芝産業機器製造（株）製

■1：10定トルク（55KW以下）です。
定格速度から1/10まで定トルク運転ができますので、コンベヤ、フィーダ、工作機械の送りなど、定トルク用途に使用できます。

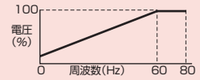
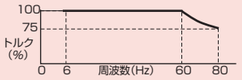
■低騒音タイプです。
独自の設計により磁気音が低減しました。

■標準モータと取り付け方法が同じです。
標準モータと取り付け寸法が同一。機械の設計変更の必要がなく、既設モータとの置き換えも簡単です。

■全閉外扇形構造です。
全閉構造のため、雰囲気の悪い場所でも使用できます。

※東芝ゴールドモートル（東芝産業機器製造（株）製）も可変速範囲1:10（6～60Hz）の100%定トルク運転（4.6極で対応）が可能です。

■ 機種および標準仕様

項目	内容															
出力(kW)	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	55
定格トルク(N·m)	1.08	2.15	4.02	8.04	11.77	19.61	29.22	39.81	58.45	79.73	98.08	116.7	159.9	196.2	239	292
形式	IK-FBKK8		IK-FBK8				IKK-FBK8			TIKK-FBK8	TIKK-FBK21A					
外被構造	全閉外扇形															
極数	4極															
電源	インバータ入力電源　三相200Vクラス										インバータ入力電源　三相200Vクラス/400Vクラス					
電圧・周波数トルク特性																
始動トルク	125%以上						100%以上									
耐熱クラス	F種															
時間定格	連続															
周囲条件 温度	-20～40°C															
周囲条件 湿度	100%以下															
準拠規格	JIS C 4210：2001														JEC-2137-2000	

注1）容量(kW)は1800min^{-1}を基準とした時の出力で表しています。回転速度が変わった場合の出力はP(kW)=0.1047×定格トルク(N·m)×回転速度(min^{-1})×10^{-3}となります。

■ 外形寸法

図1

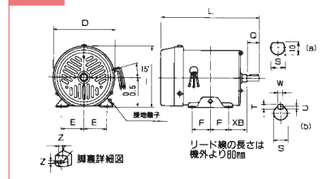


図2

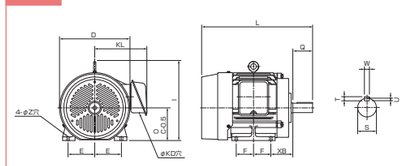
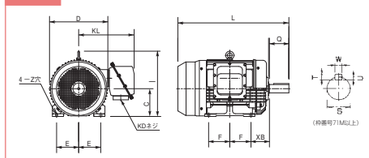


図3



枠番号	容量(kW)	図番号	主要寸法(mm)										軸端寸法(mm)					ベアリング番号		概略質量(kg)
	4極		C	D	E	F	I	L	Z	XB	KD	KL	Q	S	W	T	U	負荷側	反負荷側	
63M	0.2	1(a)	63	135	50	40	130.5	232	7×8	40	-	-	23	11	-	-	-	6202Z Z	6202Z Z	5.2
71M	0.4	1(b)	71	150	56	45	146	261	7×8	45	-	-	30	14	5	5	3	6203Z Z	6203Z Z	7.6
80M	0.75	2	80	170	62.5	50	165	273	10	50	22	142	40	19	6	6	3.5	6204Z Z	6204Z Z	18.5
90L	1.5		90	202	70	62.5	191	327	10	56	27	156	50	24	8	7	4	6205Z Z	6205Z Z	26.5
100L	2.2		100	202	80	70	239	366	12	63		161	60	28	8	7	4	6206Z Z	6205Z Z	34
112M	3.7		112	243	95	70	274	383	12	70		177	60	28	8	7	4	6207Z Z	6206Z Z	47
132S	5.5		132	285	108	70	320	449	12	89	35	212	80	38	10	8	5	6308Z Z	6208Z Z	71
132M	7.5		132	285	108	89	320	487	12	89		212	80	38	10	8	5	6308Z Z	6208Z Z	85
160M	11		160	324	127	105	368	603	14.5	108	52	280	110	42	12	8	5	6310Z Z	6208Z Z	120
160L	15		160	324	127	127	368	647	14.5	108		280	110	42	12	8	5	6310Z Z	6208Z Z	143
180M	18.5	3	180	382	139.5	120.5	431	671.5	14.5	121	60	335	110	48	14	9	5.5	6310Z ZC3	6210Z ZC3	160
180M	22		180	382	139.5	120.5	431	671.5	14.5	121	60	335	110	48	14	9	5.5	6310Z ZC3	6210Z ZC3	170
180L	30		180	382	139.5	139.5	431	709.5	14.5	121	91	335	110	55	16	10	6	6312Z ZC3	6210Z ZC3	200
200L	37		200	420	159	152.5	470	799.5	18.5	133	91	355	140	60	18	11	7	6313Z ZC3	6312Z ZC3	255
200L	45		200	420	159	152.5	470	799.5	18.5	133	91	355	140	60	18	11	7	6313Z ZC3	6312Z ZC3	270
225S	55		225	464	178	143	517	812.5	18.5	149	91	425	140	65	18	11	7	6315Z ZC3	6312Z ZC3	340

高速モートル　最高12,000min^{-1}シリーズ、21,600min^{-1}シリーズ

インバータ駆動により、商用電源より高い周波数が容易に得られるようになりました。高速運転による高精度加工への導入ニーズも高まっています。
このようなニーズに応えて、小形で保守の容易なインバータ用高速モートルをシリーズ化しました。
VF-AS1との組み合わせで最高12,000min^{-1}および21,600min^{-1}の最高運転が可能です。

12,000min^{-1}シリーズ

■VF-AS1と組み合わせることにより、キー操作一つで最高12,000min^{-1}まで定トルク・可変速運転ができます。

■全閉外扇形構造です。
全閉外扇形で自冷式。特殊な冷却装置はいっさい不要です。また全閉構造のため雰囲気の悪い場所でも使用できます。

■メンテンナンスフリーです。
電源はインバータのため、高周波発電機のように回転部分がありません。
またモータはグリース潤滑方式を採用しているため特別な潤滑装置は不要です。

東芝産業機器製造(株)製

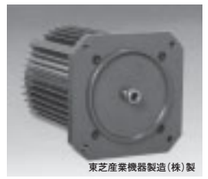
21,600min^{-1}シリーズ

■VF-AS1と組み合わせることにより、キー操作一つで最高21,600min^{-1}まで定トルク・可変速運転ができます。

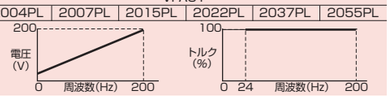
■全閉外扇形構造です。
全閉外扇形で自冷式。特殊な冷却装置はいっさい不要です。また全閉構造のため雰囲気の悪い場所でも使用できます。

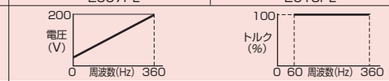
■グリース潤滑です。

■機械に精度良く取り付けができるように角形フランジ取付、軸端はネジ穴形状による負荷直結構造です。
（フランジ寸法は日本工作機械工業会規格MA-S402に準拠しています。）


東芝産業機器製造(株)製

■ 機種および標準仕様

項目	内容					
容量(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5
定格トルク(N·m)	0.3187	0.5972	1.196	1.755	2.951	4.383
形式	IK-FCK8					
外被構造	全閉外扇形					
極数	2極					
電源	インバータ入力電源 三相 200～240V-50/60Hz					
適用インバータ形式	VFAS1-					
	2004PL	2007PL	2015PL	2022PL	2037PL	2055PL
電圧・周波数トルク特性						
周波数範囲	24～200Hz					
始動トルク	100%以上(10Hz)					
耐熱クラス	E種					
時間定格	連続					
潤滑方式	グリース潤滑					
負荷との連結方式	直結					
周囲条件 温度	-20～40°C					
周囲条件 湿度	100%以下					
準拠規格	JEC-2137-2000					

項目	内容	
容量(kW)	0.4	0.75
定格トルク(N·m)	0.1775	0.3324
形式	IK-ECKL	
外被構造	全閉自冷形	
極数	2極	
電源	インバータ入力電源 三相 200～240V-50/60Hz	
適用インバータ形式	VFAS1-	
	2007PL	2015PL
電圧・周波数トルク特性		
周波数範囲	60～360Hz	
始動トルク	100%以上(30Hz)	
耐熱クラス	E種	
ベアリング	C3スキマ精密級深ミゾ形玉軸受	
潤滑方式	グリース潤滑	
口出線方式	キャノンプラグ方式	
負荷との連結方式	軸端ネジ穴形状による負荷直結方式	
時間定格	連続	
周囲条件 温度	-20～40°C	
周囲条件 湿度	100%以下	
準拠規格	JEC-2137-2000	

注1）容量(kW)は12,000min^{-1}または21,600min^{-1}を基準とした時の出力で表わしています。回転速度が変った場合の出力はP(kW)=0.1047×定格トルク(N·m)×回転速度(min^{-1})×10^{-3}となります。
注2）インバータの最高周波数、出力電圧/周波数特性は標準出荷設定と異なりますので、調整が必要になります。
また、パラメータ始動時短絡検出選択F613=2,3を設定してください。

■ 外形寸法

図1

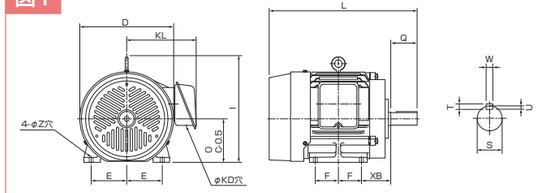
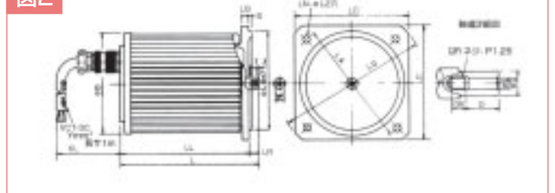


図2



枠番号	容量(kW)	図番号	主要寸法(mm) C	D	E	F	I	L	Z	XB	KD	KL	軸端寸法(mm) Q	S	W	T	U	ベアリング番号 負荷側	ベアリング番号 反負荷側	概略質量(kg)
80M	0.4	図1	80	170	62.5	50	165	273	10	50	22	142	40	19	6	6	3.5	6204Z C3	6204Z C3	18.5
90L	0.75		90	202	70	62.5	191	327	10	56	27	156	50	24	8	7	4	6205Z C3	6205Z C3	26.5
	1.5																			
	2.2																			
	3.7																			
112M	5.5		112	243	95	70	274	383	12	70	27	177	60	28	8	7	4	6207Z C3	6206Z C3	47

枠番号	容量(kW)	図番号	寸法(mm) D	L	LL	LR	KL	Y	フランジ LA	LB	LC	LD	LG	LN	LZ	軸端 Q	QK	QR	S	U	W	T	ベアリング番号 負荷側	ベアリング番号 反負荷側	概略質量(kg)
71T	0.4	図2	165	190	178	12	100	0.75	215	180	200	250	15	4	14	17	15	M10	11	20	17	8	B20-128	B17-93	11.5
71T	0.75		165	230	218	12	100	0.75	215	180	200	250	15	4	14	17	15	M10	11	20	17	8	B20-128	B17-93	12

電源回生ユニットRC7　省エネ、そして優れた制動特性…

回生エネルギーを有効活用します。

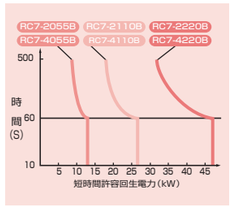
誘導電動機とインバータを組み合わせて運転している状態では、負荷の慣性モーメントが大きい負荷を短時間で減速する場合や、昇降機やラインドライブ装置のような負荷が運転中に連続回生状態になる場合に、回生エネルギーがインバータ側に返還されることになります。この回生エネルギーの処理方式として制動抵抗器を接続してエネルギーを抵抗消費する方法が多く使われています。電源回生ユニットRC7は、インバータに返還された回生時のエネルギーを電源側へ返還する装置です。回生エネルギーを抵抗消費する方法よりも、省エネルギーがはかれます。

省エネ
回生エネルギーを電源に返還するので、制動抵抗器で熱消費する方式よりも省エネルギーがはかれます。また制動抵抗器を使用した場合に比べ、発熱量が少なく周囲環境に安心です。

回生量に応じたユニット選定
必要制動トルクに応じてユニット選定ができるので、無駄がありません。

優れた制動力
100%トルクの連続回生運転で優れた制動力を発揮します。（最大で150%トルク60秒の短時間回生運転もできます。）昇降装置やラインドライブ装置などの連続回生運転に効果的です。

■回生制動トルク特性



省スペース化
特に連続回生の場合は、大きな容量の抵抗器と放熱スペースを必要とする抵抗消費方式に比べ省スペース化がはかれます。

簡単操作・簡単取付け
取付けて、電源電圧スイッチを設定するだけ。簡単です！
放熱を考えたフィン外出し構造に対応します。オプションで防塵タイプのアタッチメントも用意しています。

注）本ページのRC7の写真は開発中のユニットです。

■ 容量選定

電源回生ユニットは、モータ容量を基本に必要な制動トルクを得られる定格を選定してください。
回生負荷時間率%ED=tb/tc×100

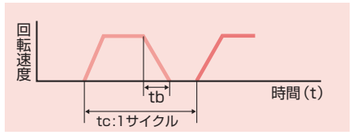
連続運転時の制動トルク

モータ容量(kW)	RC7-2055B/4055B	RC7-2110B/4110B	RC7-2220B/4220B
3.7	100%	——	——
5.5	100%	——	——
7.5	100%	——	——
11	80%	100%	——
15	59%	100%	——
18.5	48%	95%	100%
22	40%	80%	100%
30	——	58%	100%
37	——	47%	85%
45	——	39%	70%
55	——	——	57%
75	——	——	42%

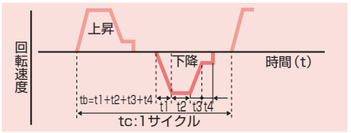
50%ED60秒での短時間定格時の制動トルク

モータ容量(kW)	RC7-2055B/4055B	RC7-2110B/4110B	RC7-2220B/4220B
3.7	200%	——	——
5.5	200%	——	——
7.5	170%	——	——
11	120%	200%	——
15	85%	175%	——
18.5	70%	140%	200%
22	60%	120%	200%
30	40%	85%	155%
37	——	70%	125%
45	——	55%	105%
55	——	45%	85%
75	——	——	63%
90	——	——	52%
110	——	——	43%

運転パターン例1：走行運転



運転パターン例2：昇降運転



■ 別置品選定表

※詳細は専用カタログ（CKVJ-9103）にてご確認ください。

電圧クラス	電源回生ユニット形式	回生リアクトル形式 注1)	初期充電抑制電磁接触器 注2)	サージアブソーバー
200Vクラス	RC7-2055B	R7L-2055	CA35	VCR1006
	RC7-2110B	R7L-2110	CA65	
	RC7-2220B	R7L-2220	CA125	
400Vクラス	RC7-4055B	R7L-4055	CA20	VCR1005
	RC7-4110B	R7L-4110	CA35	
	RC7-4220B	R7L-4220	CA65	

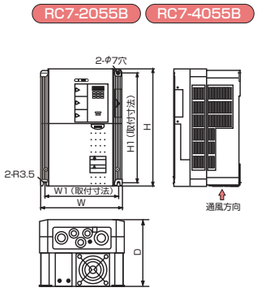
注1）回生リアクトル（形式:R7L）及びサージアブソーバー（ VCR ）は必ず取付けてください。
注2）RC7のU、V、W接続には、初期充電抑制用電磁接触器(MC2)の外付けが必要です。MC2の励磁シーケンスには、本ユニット（RC7）のMS操作用リレー出力を使用してください。
注3）VFAS1をRC7と接続する場合、弊社工場での改造が必要になる組合せがあります。

電圧クラス	RC7	インバータ形式
200Vクラス	RC7-2055B	VFAS1-2075PLY-A3, VFAS1-2110PMY-A3, VFAS1-2150PMY-A3
	RC7-2110B	VFAS1-2150PMY-A3
400Vクラス	RC7-4055B	VFAS1-4075PLY-A3, VFAS1-4110PLY-A3, VFAS1-4150PLY-A3, VFAS1-4185PLY-A3
	RC7-4110B	VFAS1-4150PLY-A3, VFAS1-4185PLY-A3

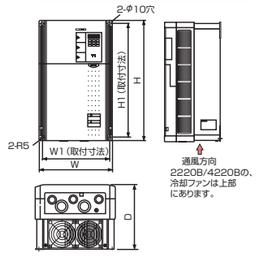
■ 外形寸法

RC7本体

RC7-2055B　RC7-4055B



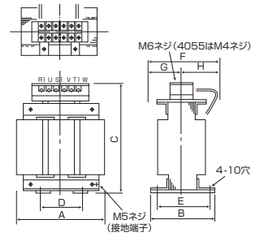
RC7-2110B　RC7-2220B
RC7-4110B　RC7-4220B



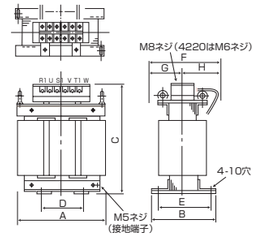
RC7形式	寸法(mm) W	H	D	W1	H1	概略質量(kg)
RC7-2055B	210	300	173	190	280	6.6
RC7-4055B						7.0
RC7-2110B	245	390	190	225	370	11
RC7-4110B						
RC7-2220B			207			15.4
RC7-4220B						

回生リアクトル（専用品）

R7L-2055　R7L-2110
R7L-4055　R7L-4110

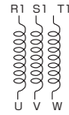


R7L-2220　R7L-4220



リアクトル形式	定格	寸法(mm) A	B	C	D	E	F	G	H	概略質量(kg)
R7L-2055	0.76mH-25A	200	140	230	110	110	155	70	85	13
R7L-4055	2.91mH-13A			220						
R7L-2100	0.39mH-49A	245	156	260	130	125	175	78	97	24
R7L-4110	1.51mH-25A									
R7L-2220	0.21mH-88A	280	176	280	145	145	210	88	122	39
R7L-4220	0.86mH-44A									

端子記号



PWMコンバータ 高調波抑制ユニットSC7

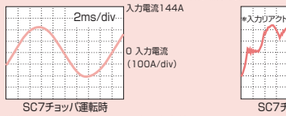
電源側の高調波トラブルを解決します。

高調波抑制ユニットSC7は弊社独自の方法（特許:第P2857094号）で入力電流を正弦波に近くなるように制御する高力率PWMコンバータです。インバータと組み合わせて使用することにより、電源側の高調波問題を解決します。また入力電圧と入力電流が同相（力率＝1）となるように制御していますので、高力率運転ができます。

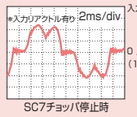
入力電流が正弦波

通産省のガイドラインやIECの高調波規制値もクリアします。また、力率1制御により、入力電源容量を小さくすることができます。さらに、力率改善により一部の機種は入力電線サイズを細くできます。

入力電流波形



SC7チョッパ運転時



SC7チョッパ停止時

弊社インバータ組み合わせ時の実力値

簡単操作・簡単取付け

取付けるだけ。複雑なパラメータ設定は一切不要です!!
1）搬送波フィルタを内蔵、外部取り付け不要です。
2）取付脚の位置を変更して、標準品でフィン外出しが可能です。
（防塵タイプはオプション対応）
3）直流入力が可能なタイプであれば弊社以外のインバータにも取り付けできます。

新方式で高効率

従来方式に比べ、使用パワースイッチング素子数が半分。しかも、中性点方式のため、印加電圧が半分、制御する電流も小さく、素子のスイッチング損失を大幅に低減します。装置全体の損失は半減またはそれ以下です。

高調波ガイドラインへの適用

SC7は等価容量を求める6パルス換算関数KiをO.1として計算できます。回路分類・回路種別はその他となりますので、詳細はお問合せ願います。

回路種別　高調波発生量

	5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
インバータ単体（リアクトルなし）	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
入力リアクトル（ACL）付	38	14.5	7.4	3.4	3.2	1.9	1.7	1.3
直流リアクトル（DCL）付	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
入力・直流リアクトル（ACL、DCL）付	28	9.1	7.2	4.1	3.2	2.4	1.6	1.4
高調波抑制ユニット（SC7）	0.57	0.20	0.05	0.53	0.44	0.13	0.15	0.27

長寿命化を実現

インバータ直流コンデンサの脈動電流が減り長寿命化を実現します。
コンデンサ寿命はインバータ単体使用の約2倍です!
＊コンデンサ寿命は使用環境により上記と異なる場合もあります。

周辺機器にも安心

・リアクトル挿入方式のような電圧低下がありません。モータ最大電圧が安定しモータ効率が向上します。
・低ノイズです。
・直流電圧脈動によるモータの振動を防止します。

■ 東芝インバータ組合わせ

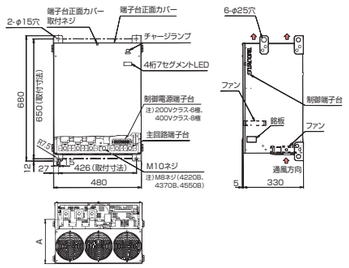
電圧クラス	適用モータ（kW）	SC7	インバータ形式+オプション 注1）
200Vクラス	15	SC7-2220B	VFAS1-2150PM+CPS002Z
	18.5		VFAS1-2185PM+MCR-2550+CPS002Z
	22		VFAS1-2220PM+MCR-2550+CPS002Z
	30	SC7-2370B	VFAS1-2300PM+MCR-2550+CPS002Z
	37		VFAS1-2370PM+MCR-2550+CPS002Z
	45	SC7-2550B	VFAS1-2450PM+MCR-2550+CPS002Z
	55		VFAS1-2550P+MCR-2550+CPS002Z
	75	SC7-2370B 2台並列接続	VFAS1-2750P+MCR-2550×2台+CPS002Z

電圧クラス	適用モータ（kW）	SC7	インバータ形式+オプション 注1）
400Vクラス	15	SC7-4220B	VFAS1-4150PL+CPS002Z
	18.5		VFAS1-4185PL+CPS002Z
	22		VFAS1-4220PL+MCR-2550+CPS002Z
	30	SC7-4370B	VFAS1-4300PL+MCR-2550+CPS002Z
	37		VFAS1-4370PL+MCR-2550+CPS002Z
	45	SC7-4550B	VFAS1-4450PL+MCR-2550+CPS002Z
	55		VFAS1-4550PL+MCR-2550+CPS002Z
	75	SC7-4750B	VFAS1-4750PL+MCR-2550+CPS002Z
	90	SC7-4110KB	VFAS1-4900PC+MCR-2550+CPS002Z
	110		VFAS1-4110KPC+MCR-2550+CPS002Z
	132	SC7-4750B×2台並列接続	VFAS1-4132KPC+MCR-2550×2台+CPS002Z
	160	SC7-4110KB ×2台並列接続	VFAS1-4160KPC+MCR-2550×2台+CPS002Z
	200		VFAS1-4200KPC+MCR-2550×2台+CPS002Z
	220		VFAS1-4220KPC+MCR-2550×2台+CPS002Z
	280	SC7-4110KB×3台並列接続	VFAS1-4280KPC+MCR-2550×3台+CPS002Z
	355	SC7-4110KB×4台並列接続	VFAS1-4355KPC-A5+MCR-2550×4台+CPS002Z
	400		VFAS1-4400KPC-A5+MCR-2550×4台+CPS002Z
	500	SC7-4110KB×5台並列接続	VFAS1-4500KPC-A5+MCR-2550×5台+CPS002Z

注1）特殊仕様（内蔵オプション）のインバータにおいては、本表記載のインバータ形式とは異なる場合があります。
注2）入力リアクトル（形式:SCL）は必ず取付けてください。直流リアクトルは不要です。
注3）適用モータが11kW以下の場合は、インバータを複数台並列接続として使用してください。
（入力電流15%以上でチョッパ運転します。）
注4）標準三相トランスからなる電源であることを確認してください。
（電源がV結線で構成されている場合は使用できません。）

■ 外形寸法

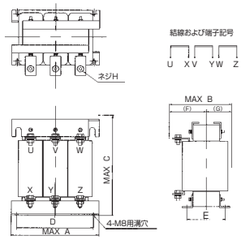
SC7本体



塗色：JIS表示記号　5Y8/0.5（半艶）

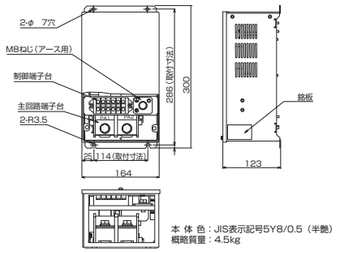
高調波抑制ユニット形式	A	概略質量（kg）
SC7-2220B	238	89
SC7-2370B	238	95
SC7-2550B	238	107
SC7-4220B	233	93
SC7-4370B	233	99
SC7-4550B	233	110
SC7-4750B、4110KB	238	110

入力リアクトル（専用品）



リアクトル形式	定格	適用高調波抑制ユニット形式	A	B	C	D	E	F	G	ネジJ	概略質量
SCL-2220	0.18mH-110A	SC7-2220B	263	220	205	230	105	140	80	M8	22kg
SCL-2370	0.11mH-180A	SC7-2370B	303	210	280	270	100	140	70	M10	32kg
SCL-2550	0.072mH-275A	SC7-2550B	303	250	280	270	130	160	90	M10	49kg
SCL-4220	0.72mH-55A	SC7-4220B	263	220	205	230	105	140	80	M8	22kg
SCL-4370	0.44mH-90A	SC7-4370B	303	210	280	270	100	140	70	M8	32kg
SCL-4550	0.29mH-137A	SC7-4550B	303	250	280	270	130	160	90	M8	47kg
SCL-4110K	0.1mH-260A	SC7-4750B、4110KB	293	225	370	260	145	135	90	M10	57kg

初期充電オプション　MCR-2550



本 体 色：JIS表示記号5Y8/0.5（半艶）
概略質量：4.5kg

標準価格／納期（価格・納期は変更される場合があります。）

	名　称	形　式	標準価格（円）	納期
インバータ本体	200Vクラス　注3）	VFAS1-2004PL	116,000	◎
		VFAS1-2007PL	138,000	◎
		VFAS1-2015PL	178,000	◎
		VFAS1-2022PL	210,000	◎
		VFAS1-2037PL	242,000	◎
		VFAS1-2055PL	327,000	◎
		VFAS1-2075PL	370,000	◎
		VFAS1-2110PM	440,000	◎
		VFAS1-2150PM	510,000	◎
		VFAS1-2185PM	725,000	◎
		VFAS1-2220PM	918,000	◎
		VFAS1-2300PM	1,290,000	◎
		VFAS1-2370PM	1,690,000	◎
		VFAS1-2450PM	2,010,000	◎
		VFAS1-2550P	2,490,000	◎
		VFAS1-2750P	3,530,000	◎
	400Vクラス　注1）注3）	VFAS1-4007PL	220,000	◎
		VFAS1-4015PL	252,000	◎
		VFAS1-4022PL	310,000	◎
		VFAS1-4037PL	342,000	◎
		VFAS1-4055PL	401,000	◎
		VFAS1-4075PL	505,000	◎
		VFAS1-4110PL	565,000	◎
		VFAS1-4150PL	730,000	◎
		VFAS1-4185PL	972,000	◎
		VFAS1-4220PL	1,145,000	◎
		VFAS1-4300PL	1,510,000	◎
		VFAS1-4370PL	1,920,000	◎
		VFAS1-4450PL	2,282,000	◎
		VFAS1-4550PL	2,720,000	◎
		VFAS1-4750PL	3,486,000	◎
		VFAS1-4900PC	4,060,000	◎
		VFAS1-4110KPC	4,670,000	◎
		VFAS1-4132KPC	5,470,000	◎
		VFAS1-4160KPC	6,040,000	◎
		VFAS1-4200KPC	8,050,000	△
		VFAS1-4220KPC	8,800,000	△
		VFAS1-4280KPC	11,000,000	△
		VFAS1-4355KPC	14,000,000	△
		VFAS1-4400KPC	15,800,000	△
		VFAS1-4500KPC	19,800,000	△
内蔵オプション	拡張端子台オプション1	ETB003Z	35,000	◎
	拡張端子台オプション2	ETB004Z	50,000	◎
	CC-Link オプション	CCL001Z1	50,000	◎
	DeviceNetオプション	DEV002Z	45,000	◎
	PROFIBUSオプション	PDP002Z	50,000	◎
	PGフィードバックオプション	VEC004Z	24,000	◎
		VEC005Z	24,000	◎
		VEC006Z	24,000	◎
		VEC007Z	24,000	◎
別置形オプション	LED延長パネル　注2）	RKP002Z	20,000	◎
	USB通信変換ユニット　注2）	USB001Z	18,000	◎
	ケーブル　1m	CAB0011	5,000	◎
	ケーブル　3m	CAB0013	7,000	◎
	ケーブル　5m	CAB0015	10,000	◎
	LCD延長パネル　注2）	RKP004Z	52,000	◎
	LCDパネル専用ケーブル　1m	CAB0071	5,000	◎
	LCDパネル専用ケーブル　3m	CAB0073	7,000	◎
	LCDパネル専用ケーブル　5m	CAB0075	10,000	◎
	LCDパネル専用ケーブル　10m	CAB00710	12,000	◎
	LCDパネル専用コネクタ	CNT001Z	5,000	◎
	LCDパネル専用盤面取付キット	SBP006Z	10,000	◎
	制御電源バックアップオプション	CPS002Z	20,000	◎
別置形オプション	入力リアクトル	PFL2005S	23,000	◎
		PFL2011S	25,000	◎
		PFL2018S	36,000	◎
		PFL2025S	41,000	◎
		PFL2050S	65,000	◎
		PFL2100S	98,000	◎
		PFL2150S	168,000	◎
		PFL2200S	186,000	◎
		PFL2300S	257,000	◎
		PFL2400S	290,000	◎
		PFL4012S	34,000	◎
		PFL4025S	65,000	◎
		PFL4050S	98,000	◎
		PFL4100S	186,000	◎
		PFL4150S	257,000	◎
		PFL4300S	290,000	◎
		PFL4400S	310,000	◎
		PFL4600S	600,000	△
		PFL4800S	800,000	△
		PFL4450S	570,000	△
		PFL4613S	750,000	△

	名　称	形　式	標準価格（円）	納期
別置形オプション	直流リアクトル　注3）	DCL2-2004	22,000	◎
		DCL2-2007	23,000	◎
		DCL2-2015	24,000	◎
		DCL2-2022	25,000	◎
		DCL2-2037	36,000	◎
		DCL2-2055	40,000	◎
		DCL2-2075	50,000	◎
		DCL2-2110	60,000	◎
		DCL2-2150	70,000	◎
		DCL2-2185	80,000	◎
		DCL2-2220	90,000	◎
		DCL2-2300	110,000	◎
		DCL2-2370	130,000	◎
		DCL2-2450	170,000	◎
		DCL1-2550	180,000	◎
		DCL1-2750	182,000	◎
		DCL2-4007	23,000	◎
		DCL2-4015	24,000	◎
		DCL2-4022	25,000	◎
		DCL2-4037	36,000	◎
		DCL2-4055	60,000	◎
		DCL2-4075	50,000	◎
		DCL2-4110	60,000	◎
		DCL2-4150	70,000	◎
		DCL2-4185	80,000	◎
		DCL2-4220	90,000	◎
		DCL2-4300	110,000	◎
		DCL2-4370	130,000	◎
		DCL2-4450	170,000	◎
		DCL2-4550	250,000	◎
		DCL2-4750	260,000	◎
		DCL1-4900	228,000	◎
		DCL1-4110K	247,000	◎
		DCL1-4132K	273,000	◎
		DCL1-4160K	308,000	◎
		DCL1-4200K	533,000	△
		DCL1-4220K	682,000	△
		DCL1-4280K	682,000	△
	高減衰形 ラジオノイズ 低減フィルタ	NF3005A-MJ	22,300	◎
		NF3015A-MJ	28,600	◎
		NF3020A-MJ	35,000	◎
		NF3030A-MJ	45,000	◎
		NF3040A-MJ	80,000	◎
		NF3050A-MJ	111,000	◎
		NF3080A-MJ	216,000	◎
		NF3100A-MJ	286,000	△
		NF3150A-MJ	382,000	△
		NF3200A-MJ	477,000	△
		NF3250A-MJ	573,000	△
		NF3010C-MJ	47,700	◎
		NF3015C-MJ	54,000	◎
		NF3020C-MJ	64,000	◎
		NF3030C-MJ	83,000	◎
		NF3040C-MJ	111,000	◎
		NF3050C-MJ	153,000	△
		NF3060C-MJ	191,000	△
		NF3080C-MJ	255,000	△
		NF3100C-MJ	382,000	△
		NF3150C-MJ	430,000	△
		NF3200C-MJ	636,000	△
		NF3250C-MJ	727,000	△
	零相リアクトルコア形 ラジオノイズ低減フィルタ	RC9129	30,000	◎
		RC5078	10,000	◎
	EMC指令適合EMCフィルタ	VW3A4401	39,500	△
		VW3A4402	52,500	△
		VW3A4403	66,500	△
		VW3A4404	83,500	△
		VW3A4405	120,000	△
		VW3A4406	175,000	△
		VW3A4407	188,000	△
		VW3A4408	385,000	△
		VW3A4410	570,000	△
		VW3A4411	830,000	△
	EMCプレート	EMP101Z	7,200	◎
		EMP102Z	7,200	◎
		EMP103Z	13,200	◎
		EMP104Z	13,200	◎
		EMP105Z	16,800	◎
		EMP106Z	16,800	◎
		EMP107Z	42,800	◎
		EMP108Z	42,800	◎

	名　称	形　式	標準価格（円）	納期
別置形オプション	制動抵抗器	PBR3-2055	39,800	◎
		PBR3-2075	56,600	◎
		PBR3-2110	67,500	◎
		PBR3-2150	78,000	◎
		PBR3-2220	116,700	◎
		PBR3-4055	39,800	◎
		PBR3-4075	56,600	◎
		PBR3-4110	67,500	◎
		PBR3-4150	78,000	◎
		PBR3-4220	116,700	◎
	制動ユニット	PB7-4200K	850,000	△
		PB7-4400K	1,900,000	△
	モータ端サージ電圧 抑制フィルタ	MSF-4015Z	90,000	◎
		MSF-4037Z	130,000	◎
		MSF-4075Z	160,000	◎
		MSF-4150Z	300,000	◎
		MSF-4220Z	450,000	◎
		MSF-4370Z	580,000	◎
		MSF-4550Z	850,000	◎
		MSF-4750Z	1,100,000	◎
	モータ端サージ電圧 抑制正弦波 フィルタ	SWF-4160K	1,800,000	△
		SWF-4220K	2,480,000	△
		SWF-4355K	3,600,000	△
		SWF-4630K	6,300,000	△
	モータ騒音低減 リアクトル	NRL2220	254,500	△
		NRL2300	471,400	△
		NRL4155	317,100	△
		NRL4230	590,500	△
		NRL4300	716,700	△
		NRL4350	875,600	△
		NRL4460	1,092,000	△
		NRL4550	1,253,700	△
	フィン外出しアタッチメント	FOT001Z	28,000	△
		FOT002Z	30,000	△
		FOT003Z	51,000	△
		FOT004Z	54,000	△
		FOT005Z	57,000	△
		FOT006Z	72,000	△
		FOT007Z	92,000	△
		FOT008Z	92,000	△
		FOT009Z	95,000	△
		FOT010Z	95,000	△
		FOT011Z	140,000	△
		FOT012Z	140,000	△
		FOT013Z	170,000	△
		FOT014Z	170,000	△
		FOT015Z	170,000	△
	直流リアクトル接続 端子外出しキット	BAR101Z	54,000	◎
		BAR102Z	60,000	◎
		BAR103Z	60,000	◎
		BAR104Z	70,000	◎
		BAR105Z	73,000	◎
		BAR106Z	73,000	◎
	操作盤	CBVR-7B1	15,000	◎
	周波数計	QS-60T	4,800	◎
	FRH キット	FRH KIT	1,800	◎

＊価格には消費税は含まれていません。
納期：　◎見込み生産機種　△注文対応機種

注1）VFAS1-4355KPC、4400KPC、4500KPCは直流リアクトルを付属しています。（直流リアクトルの価格を含んでいます。）
注2）ケーブルは別売りですので、使用の際にはケーブルとセットでご購入ください。
注3）200V-55kW以上、400V-90kW以上の機種には必ず直流リアクトルを接続してください。

インバータをお使いになるお客様へ

お求めのインバータは、一般産業用の三相誘導電動機の可変速用途にご使用いただけます。

⚠ 安全上のご注意

▼本製品の故障や誤動作が直接人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れがある装置（原子力制御用、航空宇宙用、交通機器用、生命維持や手術用、各種安全装置用など）に本製品を使用することはできません。本装置を特殊用途にご使用の場合には、事前に販売担当まで相談ください。
▼本製品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、重要な設備への適用に際しては、例えば、インバータの故障信号出力の不動作が発生しても重大事故にいたらないように、設備側に安全装置を設置してください。
▼一般産業用の三相誘導電動機以外の負荷には使用しないでください。
▼本製品をご使用の前には、必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
▼本製品に起因する事故があっても、装置・接続機器の異常・故障に対する損害・その他二次的な波及損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

ISO-9001認定取得

ISO-14001認定取得

［販売元］ **東芝産業機器システム株式会社**　　ホームページ　http://www.toshiba-tips.co.jp

お問い合わせ営業窓口

本社	**TEL:03-5644-5502**	**〒103-0023**	**東京都中央区日本橋本町4-9-11（第9中央ビル8F）**
関東支社	**TEL:03-5644-5524**	**〒103-0023**	**東京都中央区日本橋本町4-9-11（第9中央ビル7F）**
西東京支店	TEL:042-333-2921	〒183-8511	東京都府中市東芝町1番地（東芝府中事業所内　#4004A）
神奈川支店	TEL:045-651-5161	〒231-0032	横浜市中区不老町1-1-5（横浜東芝ビル3F）
北海道支店	**TEL:011-214-2567**	**〒060-0003**	**札幌市中央区北三条西1丁目（東芝札幌ビル2F）**
東北支店	**TEL:022-296-2270**	**〒984-0051**	**仙台市若林区新寺1-4-5（ノースピア3F）**
関信越支社	**TEL:027-265-6000**	**〒371-0814**	**前橋市宮地町6-5**
埼玉支店	TEL:048-631-1048	〒330-0835	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-323
栃木支店	TEL:028-634-0261	〒321-0925	宇都宮市東梁瀬1-26-14
新潟支店	TEL:025-241-1418	〒950-0087	新潟市中央区東大通り1-4-2（COI新潟ビル6F）
信州支店	TEL:0263-35-5021	〒390-0815	松本市深志1-2-11（昭和ビル5F）
中部支社	**TEL:052-551-1835**	**〒450-0003**	**名古屋市中村区名駅南3-7-20（第二ワカサビル）**
三重支店	TEL:059-377-4318	〒510-8101	三重県三重郡朝日町縄生2121（東芝エンジニアリングスクール3F）
静岡支店	TEL:055-922-8926	〒410-0057	沼津市高沢町3-19（1019ビル4F）
浜松支店	TEL:053-458-1048	〒430-0929	浜松市中区中央3-9-3（UNビル3F）
北陸支店	TEL:076-432-7121	〒930-0004	富山市桜橋通り2-25（第一生命ビル8F）
福井支店	TEL:0776-24-3330	〒918-8231	福井市問屋町2-46
関西支社	**TEL:06-4704-1602**	**〒541-0059**	**大阪市中央区博労町4-2-15（ヨドコウ第2ビル10F）**
京都支店	TEL:075-316-2248	〒950-0087	京都市右京区西院平町25（東芝京都ビル7F）
姫路支店	TEL:079-226-0222	〒390-0815	姫路市豊沢町140（新姫路ビル5F）
中四国支社	**TEL:082-263-0325**	**〒732-0052**	**広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル5F）**
岡山支店	TEL:086-231-1048	〒950-0087	岡山市柳町1-5-5（平田興産ビル2F）
四国支店	TEL:087-811-5883	〒390-0815	高松市朝日町2-2-29（東芝高松ビルB棟2F）
九州支社	**TEL:092-525-8113**	**〒810-0013**	**福岡市中央区大宮1-3-10（日吉第3ビル3F）**

サービスネットワーク

関東・関信越サービス担当	TEL:03-5644-5518	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町3-8-4（第二東硝ビル2F）
北海道サービス担当	TEL:011-214-2567	〒060-0003	札幌市中央区北三条西1丁目（東芝札幌ビル2F）
東北サービス担当	TEL:022-292-2422	〒984-0051	仙台市若林区新寺1-4-5（ノースピア3F）
中部サービス担当	TEL:052-551-1837	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南3-7-20（第二ワカサビル）
関西サービス担当	TEL:06-4704-1663	〒541-0059	大阪市中央区博労町4-2-15（ヨドコウ第2ビル10F）
中四国サービス担当	TEL:082-263-0361	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル5F）
九州サービス担当	TEL:092-525-8104	〒810-0013	福岡市中央区大宮1-3-10（日吉第3ビル3F）

取扱店

■インバータQ&Aダイヤル

機械との組合せ・インバータの使い方についてのお問い合わせは・・・

TEL：0120-76-0016　FAX：0120-76-0028

携帯電話・PHSからおかけの場合は、059-376-2832をご利用ください。
受付9:00～12:00、13:15～17:45 月曜～金曜（土曜・日曜・祝日は除きます）

■インターネットによる製品技術サービス
■インターネット登録による保証期間延長サービス

ホームページにアクセスし、アンケートにお答えの上、製品登録していただくと、保証期間を延長することができます。製品使用登録の対象機種、および詳細についてはホームページにてご確認ください。

ホームページ　http://www.inverter.co.jp

●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用します。
●利用目的の範囲内で、該当製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

●資料の内容はお断りなしに変更することがありますので、ご採用の節には各製品の詳細仕様、制約事項等についてご確認ください。　●このカタログは2009年5月発行です。

［製造元］　東芝シュネデール・インバータ株式会社

2009-05　AB